

活動報告書

令和5年4月 → 令和6年3月

- 特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて
- 環境学習交流センター
- 岩手県地球温暖化防止活動推進センター



i n d e x

● 特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて

01 自主事業 1 ページ

● 環境学習交流センター

02 情報誌環境ねほりはほり／いわて環境情報板 5 ページ

03 環境学習交流センター内での展示／特別企画展示 7 ページ

04 環境学習講座 12 ページ

05 アイーナ入居施設との団体協力 15 ページ

06 訪問学習の受け入れ 16 ページ

07 いわてこどもエコクラブ等ネットワークの構築 19 ページ

08 環境アドバイザーの派遣 20 ページ

09 エコカーゴによる出張環境学習会 34 ページ

10 流域活動支援 39 ページ

● 岩手県地球温暖化防止活動推進センター

11 いわてわんこ節電所 44 ページ

12 省エネ・節電キャンペーン 46 ページ

13 岩手県地球温暖化防止活動推進員の派遣 47 ページ

● 森のゼミナール

14-1・14-2 いわて森のゼミナール業務 66 ページ

●特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて

●環境パートナーシップいわて 自主事業

01

会員はもとより、一般市民が気軽に参加できる事業を展開しています。

	事業名	着物のリメイク支援プロジェクト
	活動期間・日時	令和5年10月14日
	場所	いわて県民情報交流センター 4階 アイーナスタジオ
	協力	久慈市、紫波町、雫石町の支援者の皆さん
内容	<p>環境パートナーシップいわて会員の小赤澤直子さんが、復興支援として全国からいただいた着物を使った着物リメイク講座を開催。10月14日アイーナ4Fアイーナスタジオで開催された。着物リメイクファッションショーも11回目を迎え、完成した洋服を着てファッションショーが行われた。</p>	
	事業名	いわてSDGsカフェ
	活動期間・日時	令和5年4月～令和6年3月(毎月第3水曜日18:00～20:00)令和5年度は12回開催。
	場所	環境学習交流センター
	協力	SDGsカフェ実行委員会
内容	<p>「持続可能ないわて」を目指し、SDGsに関心を持つ方々が集い、気軽に真面目な対話を楽しみながら学び合う場として、平成31年7月より開催。参加者は延べ500名以上。様々な情報が集まっており、岩手県におけるSDGsプラットフォームの役割を担っている。また、参加者の方々の積極的な関わりや交流から、岩手県内外で様々な取組が生まれるきっかけとなり、令和5年度は地域版SDGsカフェ、企業版SDGsカフェも開催された。</p>	
	事業名	エコアートサークル活動
	活動期間・日時	令和5年4月～令和5年3月(火曜日と金曜日の月4回)
	場所	環境学習交流センター
	協力	環境学習交流センター
内容	<p>2011年の震災後、被災者の方々の心と体の癒しの場の提供として環境学習交流センターのミーティングスペースを提供して開催。現在は被災者以外の方の参加も増え交流の場となっている。</p>	
	事業名	「森と海のわIwate」内陸と沿岸地域をつなぎ、未来世代により良い環境を引き継ぐ
	活動期間・日時	通年
	3者締結	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人環境パートナーシップいわて ・盛岡市動物公園 ・東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センター
内容	<p>「森と海のわIwate」は、東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センター、株式会社もりおかパークマネジメント及び特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてで締結する連携協定です。令和3年度から開催してきた「森と海をつなぐプロジェクト」が発展しました。「森と海のわIwate」では、3者が連携し、強みを活かした活動を通して、内陸と沿岸地域をつなぐ環境パートナーシップ構築とその強化に取り組むことで、未来世代により良い環境を引き継ぐことを目指します。</p>	

令和5年度 森と海のわIwate 連携実績

番号	1	イベント名	森と海のわIwate 盛岡市動物公園ZOOMO展		
	日時	令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)			
	開催場所	環境学習交流センター			
	対象者	一般			
	参加人数	※自由閲覧形式			
	対応スタッフ	森・田近・大石			
					
内容	<p>■特別巡回展示 10/19(木)-11/14(火) 「ZOOMO写真展 —貴重な写真で目指す動物病院の思いを市民へ—」 盛岡市動物公園ZOOMOの園内に建設する新たな動物病院のため、普段見ることのない動物の治療の様子などに焦点を当てた写真展を開催。</p> <p>■常時展示(展示内容は適宜入れ替え) ・動物の写真パネル展示・動物の剥製・動物のフン(実物)</p>				
番号	2	イベント名	水彩画サークル エコアート作品展 巡回展		
	日時	令和5年4月1日(土)9:00～7月31日(月)15:00			
	開催場所	環境学習交流センター・大槌町(東京大学大気海洋研究所センター・大槌町文化交流センター「おしゃっち」)・釜石市「いのちをつなぐ未来館」			
	対象者	一般			
	参加人数	※自由閲覧形式			
	対応スタッフ	森・大石			
					
内容	<p>■目的 「エコアート」は、東日本震災の翌年(2012年)から、被災者の居場所づくりとして、復興支援の意味合いで始まった水彩画サークルで、現在でも沿岸出身の被災者が在籍し、継続的に心の復興を後押しするサロンの役割を果たしています。今年で結成12年目となり、この作品展を沿岸地域へも巡回展示し、震災後から親睦を深めてきた会員の描いた作品を、沿岸地域の多くの方々にもご覧いただくことを目指しています。東日本大震災からの復興支援の一助とし、「エコアート」は被災者の居場所づくりとして活動しています。</p> <p>■スケジュール詳細</p> <p>①盛岡展 会場 環境学習交流センター 日時 2023年4月1日(土)～4月30日(日)9:00～19:00</p> <p>②大槌展—1 会場 東京大学大気海洋研究所センター ロビー 日時 2023年5月2日(火)～5月31日(水)9:30～17:30 毎週土日は休館 (※最終日15:00まで)</p> <p>③大槌展—2 会場 大槌町文化交流センター おしゃっち ロビー 毎週火曜日は休館 日時 2023年6月2日(金)～6月30日(木) 10:00～18:00 (※最終日15:00まで)</p> <p>④釜石展 会場 いのちをつなぐ未来館 日時 2023年7月1日(土)～7月31日(月) 9:30～17:30 毎週水曜日は休館 (※最終日15:00まで)</p> <p>■入場料金:無料 ■対象:一般県民 ■展示内容:水彩画をメインとした絵画 約20点 ■主催:環境パートナーシップいわて ■共催:いのちをつなぐ未来館 ■協力:東京大学大気海洋研究所・大槌町文化交流センター おしゃっち・環境学習交流センター</p>				

番号	3	イベント名 東京大気海洋研究所主催 「第22回漂着物学会 岩手・大槌/釜石大会」サテライト企画展示
	日時 令和5年11月18日(土)9:00~17:00	開催場所 大槌町文化交流センター「おしゃっち」
	対象者 学会出席者および	参加人数 115名
	対応スタッフ 森・坂下・田近・大石	
	  	
	内容 ■内容:漂着物学会サテライト企画「研究発表交流会:岩手の海、岩手の力」への展示協力。 ・牛乳パックを使った紙すき体験コーナー・新聞バック作り体験コーナー・エコチェックアンケート・環境学習交流センターのPRなど・大ザリガニ釣り大会の紹介展示・川上塗装の活動紹介展示。	
番号	4	イベント名 日時 ①ツキノワグマと私たちの暮らしinZOOMO 令和6年2月12日(月・祝)13:00~ ②ツキノワグマに関する研修会 令和6年2月23日(金)13:00~16:30 ③シリアスボードゲーム・内部研修会 令和6年2月16日(金)13:30~
	開催場所 盛岡市動物公園ZOOMOと環境学習交流センター	対象者 一般親子と環境アドバイザー他関係者
	参加人数 ①親子11組 23名 ②5名 ③31名	対応スタッフ 森・坂下・田近・大石
	 	
	内容 ①ツキノワグマと私たちの暮らしinZOOMO 小学3年生~6年生とそのご家族を対象としたイベント。 冬眠中のクマを観察する貴重なプログラムもあり、テレビ・新聞の全報道陣が取材に詰めかけた。 ②シリアスボードゲーム・内部研修会 ・「シリアスボードゲームのレクチャー」盛岡市動物公園ZOOMO 荒井雄大氏 県の関係者と森・田近・大石が参加。2/23のイベントでゲームマスターを務めるための研修会。 ③ツキノワグマに関する研修会 環境アドバイザー・盛岡広域管内流域協議会会員・鳥獣保護監視員を対象とした、大人向けの内部研修会。 ・講演「ツキノワグマの生態について」岩手大学農学部准教授 山内貴義氏 ・「シリアスゲームにチャレンジ!!」盛岡市動物公園ZOOMO 荒井雄大氏	

番号	5	イベント名	バイオリギングinZOOMOに挑戦しようぜ！！
	日時	令和6年3月19日(火)9:50～3月20日(水・祝)12:00	
	開催場所	盛岡市動物公園ZOOMO	
	対象者	一般親子および関係者	
	参加人数	一般参加者 6名 ほかZOOMOおよび東京大学関係者 約10名	
	対応スタッフ	森・坂下・大石	
  			
内容	<p>バイオリギング(bio-logging)は、「Bio(生物)」と「Log(記録する)」からなる造語で、主に生態学の分野で発達した調査手法です。今回のイベントでは盛岡市動物公園・ZOOMOでヤギのバイオリギングを行った。</p> <p>■講師: 東京大学大気海洋研究所の佐藤克文教授 中学2年生の教科書(光村図書)に登場する「生物が記録する科学 バイオリギングの可能性」の著者であり、情熱大陸に出演した、世界的な権威のある有名な先生。</p> <p>■スケジュール 3月19日(火) 1日目 13:00 開会式 13:30 講義「ヤギについての説明」&「バイオリギング紹介」「バイオリギングの可能性について」 14:30～16:30 実習① 3月20日(水) 2日目 9:30 盛岡市動物公園 ZOOMO入口改札前集合 10:00～12:00 実習②</p>		

●環境学習交流センター



環境学習交流センターのイベント、岩手県で環境活動している人・企業の取組を年に1回お届けするニュースペーパー「環境ねほりはほり」。従来の定期刊行情報紙「てとて」と「いわてこどもエコクラブNews」をひとつにまとめ、今まで以上にカラー写真をふんだんに使用し、親子で楽しむことができる明るい紙面にリニューアルいたしました。今号の特集では「こどもエコクラブ交流会」について イベントレポートをお送りします！
ねほりはほりは、みんなが知らないけど、知ったらちょっと楽しい情報をお伝えしていきます。



環境学習交流センターのイベント
岩手県で環境活動している人・企業の取組を年に1回お届けするニュースペーパー「環境ねほりはほり」。

環境ねほりはほり
これまで以上にカラー写真をふんだんに使用し、親子で楽しむことができる明るい紙面にリニューアルいたしました。

今号の特集
「こどもエコクラブ交流会」について イベントレポートをお送りします！

ねほりはほりは
みんなが知らないけど、知ったらちょっと楽しい情報をお伝えしていきます。

環境学習交流センターの代表
渋谷さんのお話し

環境学習交流センターの代表、渋谷さんのお話し。環境学習交流センターの活動について、渋谷さんの思いや、環境学習交流センターの役割についてお話しします。

いわて環境学習応援隊紹介
「森の中に作った虫の HOTEL、その名は「インセクトホテル」」

「インセクトホテル」は、昆虫が安心して暮らせるように作られたホテルです。森の中に作られた「インセクトホテル」は、昆虫が安心して暮らせるように作られたホテルです。

1 インセクトホテルって何？
昆虫が安心して暮らせるように作られたホテルです。森の中に作られた「インセクトホテル」は、昆虫が安心して暮らせるように作られたホテルです。

2 どんな種類の虫が住むの？
様々な種類の昆虫が住むことができます。森の中に作られた「インセクトホテル」は、昆虫が安心して暮らせるように作られたホテルです。

特集：こどもエコクラブ交流会
芸術・食・エネルギー問題
について考える1日

1 大迫力の天舞舞にビックリ!
大迫力の天舞舞にビックリ! 大迫力の天舞舞にビックリ!

2 本物のウミガメにさわって、みんな大ごっこ!
本物のウミガメにさわって、みんな大ごっこ! 本物のウミガメにさわって、みんな大ごっこ!

3 海の勉強では「オサダメ(はくさい) がお出でよ!
海の勉強では「オサダメ(はくさい) がお出でよ! 海の勉強では「オサダメ(はくさい) がお出でよ!

4 使用済み天ぷら油で車が走る?! そんなことあるんだね!!
使用済み天ぷら油で車が走る?! そんなことあるんだね!! 使用済み天ぷら油で車が走る?! そんなことあるんだね!!

No1
令和6年
3月発行

01 環境学習交流センターの代表
渋谷さんのお話し

02 環境にやさしい食と自然
皆川千里さんの取り組み

03 イベントレポート
森に行こう! 森で遊ぼう!

04 いわて環境学習応援隊の紹介
「森の中に作った虫の HOTEL、その名は「インセクトホテル」」

05 【特集】こどもエコクラブ交流会
芸術・食・エネルギー問題
について考える日

06 環境学習交流センター・
温暖化防止活動推進センターの紹介

環境にやさしい食と自然

皆川千里さんの取り組み
環境にやさしい食と自然。皆川千里さんの取り組み。環境にやさしい食と自然。皆川千里さんの取り組み。

環境アドバイザー派遣
環境アドバイザー派遣。環境アドバイザー派遣。環境アドバイザー派遣。

お弁当プロジェクト
お弁当プロジェクト。お弁当プロジェクト。お弁当プロジェクト。

真に行こう! 森で遊ぼう!
真に行こう! 森で遊ぼう! 真に行こう! 森で遊ぼう!

水を使ってトイレを作ること
水を使ってトイレを作ること。水を使ってトイレを作ること。水を使ってトイレを作ること。

水を使うのは大事だよ
水を使うのは大事だよ。水を使うのは大事だよ。水を使うのは大事だよ。

森で遊ぶと楽しいよ
森で遊ぶと楽しいよ。森で遊ぶと楽しいよ。森で遊ぶと楽しいよ。

五感を使って森を楽しめるよ
五感を使って森を楽しめるよ。五感を使って森を楽しめるよ。五感を使って森を楽しめるよ。

みんなのメッセージ
みんなのメッセージ。みんなのメッセージ。みんなのメッセージ。

地球温暖化について知り、行動してみませんか?
地球温暖化防止活動推進センター

いわたねこ 節電
いわたねこ 節電。いわたねこ 節電。いわたねこ 節電。

いわたねこ 節電
いわたねこ 節電。いわたねこ 節電。いわたねこ 節電。

いわたねこ 節電
いわたねこ 節電。いわたねこ 節電。いわたねこ 節電。

環境学習交流センター
環境学習交流センター。環境学習交流センター。環境学習交流センター。

環境学習交流センター
環境学習交流センター。環境学習交流センター。環境学習交流センター。

こどもエコクラブとは
こどもエコクラブとは。こどもエコクラブとは。こどもエコクラブとは。

環境アドバイザー派遣
環境アドバイザー派遣。環境アドバイザー派遣。環境アドバイザー派遣。

環境学習講座
環境学習講座。環境学習講座。環境学習講座。

協働学習
協働学習。協働学習。協働学習。

出張環境学習会
出張環境学習会。出張環境学習会。出張環境学習会。

【内容】

- ・環境学習交流センター代表渋谷さんの話
- ・特集：こどもエコクラブ交流会
- ・森にいこう! 森であそぼう! (2023in遠野に行ってきました!)
- ・いわて環境学習応援隊の紹介(盛岡セイコー工業株式会社)
- ・環境にやさしい食と自然(環境アドバイザー皆川千里さんの取り組み)
- ・環境学習交流センターの紹介
- ・岩手県地球温暖化防止活動推進センターの紹介

掲載URL
https://www.co2-diet.com/topics/detail.php?id=759

●いわて環境情報板

岩手県や県内自治体の環境情報、関連イベント情報などを中心にホームページにてお知らせしています。環境という広範囲な話題を皆さんにとって身近に感じられるように、その時々タイムリーな情報と切り口でお届けします。毎月末更新。

4月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ~1月分~3. 環境保健研究センター新着情報4. 県境産廃いわてだより 第140号5. おすすめメールマガジン6. 県内のイベント情報7. 助成金情報
5月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ~2月分~3. おすすめメールマガジン4. 県内のイベント情報5. 助成金情報
6月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ~3月分~3. おすすめメールマガジン4. 県内のイベント情報5. 助成金情報
7月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ~4月分~3. 岩手県環境保健研究センター新着情報4. おすすめメールマガジン5. 県内のイベント情報6. 助成金情報
8月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ~5月分~3. 岩手県環境保健研究センター新着情報4. おすすめメールマガジン5. 県内のイベント情報6. 助成金情報
9月号	1.「環境学習交流センター」からのお知らせ2. 県内各市町村のごみ排出量(速報値) ~6月分~3. 岩手県環境保健研究センター新着情報4. おすすめメールマガジン5. 県内のイベント情報6. 助成金情報
10月号	<10月号からリニューアル>・岩手県、県内各市町村からの環境ニュース ・県内各市町村からのニュース ・岩手県内企業からの環境ニュース ・県内先進企業取材レポート(<第一回目>株式会社吉田測量設計) ・岩手県環境保健研究センター新着情報 ・環境学習交流センター/岩手県地球温暖化防止活動推進センター ・環境学習交流センター 展示・イベント情報 ・県内のイベント情報(いわてわんこ節電所HP) ・助成金情報
11月号	・岩手県、県内各市町村からの環境ニュース ・県内各市町村からのニュース ・岩手県内企業からの環境ニュース ・県内先進企業取材レポート(<第二回目>盛岡セイコー工業株式会社) ・岩手県環境保健研究センター新着情報 ・環境学習交流センター/岩手県地球温暖化防止活動推進センター ・環境学習交流センター 展示・イベント情報 ・県内のイベント情報(いわてわんこ節電所HP) ・助成金情報
12月号	・岩手県、県内各市町村からの環境ニュース ・県内各市町村からのニュース ・岩手県内企業からの環境ニュース ・県内先進企業取材レポート(<第三回目>滝ノ上温泉/滝ノ上地熱バイナリー発電所) ・岩手県環境保健研究センター新着情報 ・環境学習交流センター/岩手県地球温暖化防止活動推進センター ・環境学習交流センター 展示・イベント情報 ・県内のイベント情報(いわてわんこ節電所HP) ・助成金情報
1月号	・岩手県、県内各市町村からの環境ニュース ・県内各市町村からのニュース ・岩手県内企業からの環境ニュース ・県内先進企業取材レポート(<第四回目>一般社団法人ゴジョる) ・岩手県環境保健研究センター新着情報 ・環境学習交流センター/岩手県地球温暖化防止活動推進センター ・環境学習交流センター 展示・イベント情報 ・県内のイベント情報(いわてわんこ節電所HP) ・助成金情報
2月号	・岩手県、県内各市町村からの環境ニュース ・県内各市町村からのニュース ・岩手県内企業からの環境ニュース ・県内先進企業取材レポート(<第五回目>株式会社篠崎運送倉庫) ・岩手県環境保健研究センター新着情報 ・環境学習交流センター/岩手県地球温暖化防止活動推進センター ・環境学習交流センター 展示・イベント情報 ・県内のイベント情報(いわてわんこ節電所HP) ・助成金情報
3月号	・岩手県、県内各市町村からの環境ニュース ・県内各市町村からのニュース ・岩手県内企業からの環境ニュース ・県内先進企業取材レポート(<第六回目>株式会社田澤洋紙店) ・岩手県環境保健研究センター新着情報 ・環境学習交流センター/岩手県地球温暖化防止活動推進センター ・環境学習交流センター 展示・イベント情報 ・県内のイベント情報(いわてわんこ節電所HP) ・助成金情報

令和5年度環境学習交流センター内での展示／特別企画展示

03

アイーナ5階の展示スペースを利用し、県内企業の取組や生活に役立つエコな情報等、環境・地球温暖化に関する情報発信を行っています。

－企業展示－

No	1	展示名	もりおか星空ギャラリー＆一戸町観光天文台
	協力	一戸町観光天文台	
	展示期間	令和5年4月1日～4月23日	
	内容	環境学習講座に合わせて「もりおか星空ギャラリー」を開催。星空環境企画写真展示及び光害についての展示を行った。	
No	2	展示名	花王企業展示
	協力	花王グループカスタマーマーケティング株式会社	
	展示期間	令和5年6月1日～7月29日	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・花王グループの新たな挑戦 ・花王が2030年までにめざす姿 ・アタックZEROの挑戦 ・プラスチックボトルレス化の取り組み(スマートホルダー) 	
No	3	展示名	未来を塗り替える塗料の紹介
	協力	川上塗装	
	展示期間	令和5年8月1日～8月27日	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未来を塗り替える塗料の紹介。 ・ミニモデルハウスの展示(ガイナ塗装している家と塗装していない家の比較) ・インソールボードにガイナを使用したサッカーシューズの展示(人工芝の熱から足を守る) 	
No	4	展示名	【homespun】株式会社みちのくあかね会
	協力	株式会社みちのくあかね会	
	展示期間	令和5年9月1日～9月30日	
	内容	ホームスパンとは？ ホームスパンの歴史 羊毛について ストール・マフラー等の展示	
No	5	展示名	川上塗装リンクウエスアップ「いらぬ布を福祉の仕事へ そして世界へ」
	協力	川上塗装工業株式会社	
	展示期間	令和5年10月2日～10月31日	
	内容	2021年に始めたSDGs目標に達成に向けた取り組み。地域から不要な布を集めて福祉作業所に裁断を依頼し、清掃用の布ウエスとして活用しています。 リンクアップウエスの目指す成果とリンクアップウエス導入のメリット展示。 裁断された商品の展示等	

No	6	イベント名	環境保健研究センターパネル展示
		実施日	令和5年10月1日～10月31日
		内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保健研究センターについて紹介パネル ・R4年度調査や監視データについてのパネル ・自動測定機による大気常時監視データパネル PM2.5って何？ ・国内で調査している主な環境放射能について(岩手県で測定しているもの) ・ゲルマニウム半導体検出器による核種分析結果 ・GPSテレメトリー首輪を活用したツキノワグマの生態に関する研究 ・岩手県におけるニホンジカの分布と生息密度指標の調査
No	7	展示名	岩泉ホールディングスの地域資源の活用について
		協力	岩泉ホールディングス
		展示期間	令和5年11月2日～12月28日
		内容	<ul style="list-style-type: none"> ・岩泉ヨーグルトの紹介 ・町のたからもの(まちの90%以上が森林が占める自然豊かな岩泉町 明治28年に岩手で初めてホルスタイン種が導入され岩手酪農発祥の地の紹介。 ・岩泉ホールディングスが行う酪農振興の紹介。 ・日本三大鍾乳洞の龍泉洞の紹介。 ・森と水のシンフォニー環境基金について ・龍泉洞の水売り上げの一部をこども園や学校等の環境教育や食育に活用。
No	8	展示名	岩手銀行レンガ館を活用した事業のご案内
		協力	マノルダいわて株式会社
		展示期間	令和6年1月5日～3月31日
		内容	デザインとイノベーションで新たな価値を生み出すマノルダいわて 国の重要文化財である岩手銀行赤レンガ館を活用し街中の賑わい創出・地域の物づくり産業の支援事業の紹介展示。
No	9	展示名	愛鳥週間ポスターコンクール作品展示
		協力	岩手県環境生活部自然保護課
		展示期間	令和6年1月4日～2月28日
		内容	令和5年度愛鳥週間ポスターコンクールに応募した作品展示 岩手県内の小中学校生徒及び児童
No	10	展示名	いわてクリーンセンターの事業紹介展示
		協力	一般社団法人クリーンいわて事業団いわてクリーンセンター
		展示期間	令和6年3月1日～5月9日
		内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設全体 ・最終処分場: 地下水の汚染防止と豊かな環境との調和 ・水処理施設 ・防災調整池 ・ビオトープなど

令和5年度環境学習交流センター内での展示・イベントの工夫

センター内の業務を効果的に展開できるよう工夫します。(自主的に展開)

-展示の工夫-

No	1	展示名	盛岡市動物公園連携企画 動物たちのフンの展示とパネル展示
		展示期間	令和5年4月1日～10月18日
		内容	盛岡市動物公園リニューアル工事中期間に情報発信としてセンター内で動物たちの写真パネル展示を行った。オープン後も継続して展示中。
No	2	展示名	朝顔&フウセンカズラのグリーンカーテン成長の様子
		展示期間	令和5年4月15日～10月末
		内容	4月15日:朝顔の種まきしてみようイベント実施。 アサガオとフウセンカズラが立派なグリーンカーテンに成長する様子をブログで随時発信。 種の採取は9月頃から適宜翌年度の種まきに活用する。 10月には大きめの種がたくさんなり乾燥した順に採取。
No	3	展示名	水彩画サークル エコアート作品展【盛岡展】
		展示期間	令和5年4月1日～4月30日 会場:環境学習交流センター
		内容	エコ・アート会員の方々の作品展示
No	4	展示名	水彩画サークル エコアート作品展【大槌展】
		展示期間	令和5年5月2日～5月31日 会場:東京大学海洋研究所
		内容	エコ・アート会員の方々の作品展示
No	5	展示名	花王国際子ども環境絵画展示
		展示期間	令和5年6月1日～6月30日 環境学習交流センター
		内容	花王グループでは、世界の子どもたちが地球の環境・未来について真剣に考えて絵画として表現した作品を募集し、その作品と思いを多くの人たちに伝えることで世界中の人々がサステナブルな環境に向けて行動するきっかけとなることを願い2010年から実施しています。環境学習交流センターでは子どもたちの地球を大切に思う気持ちや未来へとつながるエネルギー溢れるこれまで受賞された子供たちの作品を展示した。

No	6	展示名	水彩画サークル エコアート作品展【大槌展】
	展示期間	令和5年6月2日(金)～6月30日(金) 会場:大槌町文化交流センター おしゃっち	
	内容	エコ・アート会員の方々の作品展示	
No	7	展示名	水彩画サークル エコアート作品展【釜石展】
	展示期間	令和5年7月1日(土)～7月31日(月) 会場:いのちをつなぐ未来館	
	内容	エコ・アート会員の方々の作品巡回展示	
No	8	展示名	紙は本当に環境に悪いのか？
	協力	株式会社田澤洋紙店	
	展示期間	令和5年7月13日～8月31日	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・紙は本当に環境に悪いのか！？ ・時代は変わっても紙はリサイクルの優等生 ・紙パルプ産業とSDGs ・田澤洋紙店の取り組み(岩手循環物語) 	
No	9	イベント名	第73回 全国植樹祭いわて2023 開催報告展示
	実施日	令和5年9月4日～9月30日	
	内容	第73回 全国植樹祭いわて2023が5年6月4日に開催された。開催当日の様子の写真展示。	
No	10	イベント名	動物病院写真展示(ZOOMO)
	実施日	令和5年10月19日～継続中	
	内容	<p>ZOOMOの理念 貴重な写真で目指す動物病院の思いを市民へ伝えるため写真展示を開催。 動物の健康を守る、新たな“拠点”あらたな“役割”をつくる。 「あらたな“拠点”となるために。あらたな“役割”を果たすために。」 命の現場を知り、共感する 命を伝える 死もつたえる 動物病院を建設するために皆様に寄付をお願いしたい。</p>	
No	11	イベント名	岩手山の四季～水彩画展示～
	実施日	令和5年11月1日～12月28日	
	内容	岩清水 敬悦氏の岩手山の四季をモチーフとした水彩画の展示。	

No	12	イベント名	動物病院写真・剥製展示(ZOOMO)
	実施日	令和5年11月14日～3月末	
	内容	ZOOMOの楽しみ方十人十色 ZOOMOの生き物写真と剥製各種展示 動物病院を建設するために寄付のお願い	
No	13	イベント名	ザリガニ釣り大会の様子
	実施日	令和6年1月5日～2月末	
	内容	とんぼとりから始まった大ザリガニ釣り大会 ザリガニ釣り大会を始めるきっかけとなったトンボとりの研究とザリガニ釣り第1回～第3回までの様子を展示。	

-イベントの工夫-

No	1	イベント名	エコ・アート「サークル会員」
	実施日	令和5年4月～令和6年3月火曜日と金曜日【通年】	
	内容	エコアートサークル会員の水彩画活動	

令和5年度環境学習講座実施一覧

04

県民が環境問題を「感じ、考え、行動する」きっかけとなるような環境学習講座としてお話から体験型のイベント、工作など様々な内容やテーマで開催しています。

番号	1	講演タイトル	アサガオの種まきしてみよう！
	日時	令和5年4月15日(土)13:00～14:00	
	講師	スタッフ:齊藤 富美子・記録係:坂下 慶夏	
	参加者数	9名	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の様子 ・アサガオの種の観察 ・アサガオ・フウセンカズラの種まき・水やり ・POPの作成・設置 ・記念撮影 		
番号	2	講演タイトル	もりおか星空セミナー
	日時	令和5年4月15日(土)13:30～15:00	
	講師	吉田 偉峰氏:環境アドバイザー・岩手県地球温暖化防止活動推進員・盛岡市環境審議会委員 賛助出演:盛岡第一高等学校天文部2名 賛助出演:岩手大学教育学部付属小学校6年生 吉田 穹矢君	
	参加者数	13名	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な星空環境の現状・星空環境保全の最新情報 ・盛岡一高天文部の光害研究報告・県内の星空環境報告 ・小学生の光害自由研究発表 ・質疑応答 		
番号	3	講演タイトル	岩手県の野生生物について
	日時	令和5年5月20日(土)13:30～15:00	
	講師	岩手県環境生活部自然保護課 主任主査:菊地 賢氏	
	参加者数	19名	
内容	<p>I 岩手の自然と生き物 岩手の自然環境、野生生物の紹介</p> <p>II 生き物と人を取り巻く問題 希少動植物の現状、鳥獣による被害や対策、外来種の問題</p>		
番号	4	講演タイトル	「みんなが幸せになる原料調達」
	日時	令和5年6月24日(土)13:30～14:15	
	講師	花王グループカスタマーマーケティング株式会社:小笠原 明美氏	
	参加者数	5名	
内容	<p>講座内容</p> <p>①世の中で起こっていること/SDGsとは？ ワークシートにそれぞれ記入</p> <p>②みんなが幸せになるフェアトレードとは？ フェアトレード認証には3つの基準がある(経済的基準・社会的基準・環境的基準) チョコレートや紅茶についている認証マークを実際に見せて説明 RSPO認証(持続可能なパーム油のための円卓会議)認証について</p> <p>③花王の取り組み(小規模パーム農園の支援活動/洗剤の開発)</p>		

番号	5	講演タイトル	自分に合った電気・ガス・灯油・水道代の節約術！！
	日時	令和5年7月9日(日)13:30～15:00	
	講師	花澤 淳氏：うちエコ診断士・岩手県地球温暖化防止活動推進員・環境アドバイザー	
	参加者数	7名	
内容	<p>①うちエコ診断とは ②うちエコ診断の5大メリット ③診断の流れ ④WEB診断体験スマホで実施 ⑤うちエコ診断士へ各自データ送信</p> <p>今年度は環境学習講座でうちエコ診断体験会を実施。7名の方にご参加いただきWEB診断を実施しました。初めてのことでスムーズに進むのか多少心配な面もありましたが参加者同士のサポートもあり、データ送信まで到達することができました。自身が改善できそうなところを修正することによってCO₂削減量や金額の違いなど実際にどのような変化があるのか参加者の皆さんが知る機会となったようです。</p>		
番号	6	講演タイトル	身近な生活から考える環境のこと
	日時	令和5年7月29日(土)13:30～15:00	
	講師	花王グループカスタマーマーケティング株式会社 ①小笠原 明美氏 ②千葉 範子氏	
	参加者数	高校生3名 一般5名 合計8名	
内容	<p>①「プラスチック容器包装と花王の取組」 増え続けるプラスチックごみの課題と自分ができることを学ぶ ②「洗剤をつくる責任！つかう責任！」 つくる責任と使う側の工夫の紹介</p>		
番号	7	講演タイトル	～花王エコラボミュージアムを覗いてみよう！～
	日時	令和5年8月8日(火)13:30～14:30	
	講師	協力：花王グループカスタマーマーケティング株式会社	
	参加者数	小学生3名 中学生1名 大人11名 合計15名	
内容	<p>オンラインで和歌山にあるエコラボミュージアムと環境学習交流センターをつなげ地球環境と花王のエコ技術“一緒にeco”を知る、体験。エコラボミュージアムの方にご案内をいただいた。プログラムの中で3Rクイズがあり小学生の児童が活発に答えるなど有意義な学習会となった。質疑応答では参加者より様々な質問が出されエコラボミュージアムの方よりその回答をいただき理解を深めることができた。</p>		
番号	8	講演タイトル	未来に続く家づくり リサイクルエコハウス工作教室 part10
	日時	令和5年8月19日(土)10:00～12:00	
	講師	長澤 紗織(長澤紗織設計室)	
	参加者数	子ども11名 大人9名 合計20名	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家づくりのプロである長澤紗織氏より、家づくりで大切なこと、エコハウスのポイント、夏涼しく暮らす工夫、岩手県産材を使うことのメリットを説明。 ・設計図を描く ・木材や段ボールなど廃材を使って家づくり 		

番号	9	講演タイトル	「おしたらヒントdeビンゴクイズ」青少年活動交流センター親子フェスティバルとの連携イベント
	日時	令和5年10月9日(月・祝)10:00～15:00	
	講師	協力:花王グループカスタマーマーケティング株式会社	
	参加者数	親子334名	
内容	「おしたらヒントdeビンゴクイズ」体験ツール(花王グループカスタマーマーケティング株式会社様ツールを環境学習交流センター内に設置し、日常でできるエコ活動について、楽しくクイズで学ぶイベントを開催した。		

番号	10	講演タイトル	ウガンダの暮らしから考える日本のゴミ問題
	日時	令和5年11月26日(日)13:30～15:00	
	講師	JICA岩手デスク 市川 雅美氏	
	参加者数	高校生1名・一般10名 合計11名 岩手日報取材(1名)	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●ウガンダでの活動(環境教育隊員) ・技術協力・有償資金協力・無償資金協力・市民参加協力・民間連携 ●ウガンダ共和国について ・ウガンダの人々の暮らしについて・ルテンベ湿地の保全・観光業の発展・メンバーの収入向上・教育 ・水資源が豊かなのでpearl of Africa(アフリカの真珠)と言われている ●ウガンダと日本のゴミ事情についてワークショップ(5名×2グループに分かれて実施) ・村、市街地の写真から気づいたことを付箋に書いていく作業を行い、ふせんにかかっている疑問や気づきについて講師より説明していただいた。ウガンダの暮らしの現状について理解を深めることができた。 ・日本の場合ごみに関するシステムは構築されているが、廃棄量も多く分別していてもリサイクル率は低いなど課題が多いことを知り、本日の学びから行動変容へとつながる環境学習講座となった。 		

番号	11	講演タイトル	みんなあつまれ～！～エネルギーを使わない遊び～
	日時	令和5年12月24日(日)13:00～15:30	
	講師	すすき鉄砲:高橋 功氏、けん玉:城内 大作氏 マジック:岩清水 敬悦氏 エアカーリングセンター対応	
	参加者数	25名 (取材:盛岡タイムス 高村 明彦氏)	
内容	<p>オープニング:マジックショー 協力:すすきてっぽう・クリスマスバージョンハウス型風力発電(高橋 功氏 地球温暖化防止活動推進員) 協力:けん玉(城内 大作氏花巻市おもちゃ美術館学芸員) マジック(岩清水 敬悦氏 マジシャン協会) センター:エアカーリング材料等一式</p> <p>エネルギーを使わない遊びをとおしてエネルギーについて考えるきかいとした。オープニングにマジックを組み込んだことにより子供だけではなく大人の参加者もおおく、楽しみながら環境について考える機会となった。</p>		

●令和5年アイーナ入居施設との連携協力実施状況

05

アイーナ館内の各センターと連携し、イベント等を効果的に開催しています。

<p>1</p> 	<p>イベント名</p>	<p>アイーナ内運営協議会・SDGsワーキング会議の参加</p>
	<p>日時</p>	<p>令和5年4月～令和6年3月</p>
	<p>場所</p>	<p>アイーナ内会議室</p>
	<p>連携団体</p>	<p>アイーナ指定管理・入居施設</p>
<p>内容</p>	<p>①アイーナ内運営協議会 ・指定管理からの毎月の情報を入手するとともにセンターからの情報提供の場となっている。4月～3月迄 ・アイーナ内防災訓練(6/30)、アイーナ周辺草取り・ごみ拾い活動協力(9/12)連携協力を行っている。 ②SDGsワーキング会議:アイーナ運営協議会後毎月実施(現在はHP上でSDGsを発信している)</p>	
<p>2</p> 	<p>イベント名</p>	<p>「環境の日」グリーンライトアップキャンペーン</p>
	<p>日時</p>	<p>令和5年6月1日～6月7日 19:00～22:00</p>
	<p>場所</p>	<p>アイーナ6階ラウンジライト</p>
	<p>連携団体</p>	<p>NPO活動交流センター</p>
<p>内容</p>	<p>6月の「環境月間」「環境の日」に合わせて環境のテーマカラーであるグリーンのカラーで6階のラウンジライトをライトアップし、SNS等で発信することで環境への関心を高める機会とした。</p>	
<p>3</p> 	<p>イベント名</p>	<p>いわて親子フェスティバルinアイーナ～おしたらヒントdeビンゴクイズ～</p>
	<p>日時</p>	<p>令和5年10月9日(月・祝)10:00～15:00</p>
	<p>場所</p>	<p>環境学習交流センター</p>
	<p>連携団体</p>	<p>青少年活動交流センター・岩手県青少年育成会議</p>
<p>内容</p>	<p>親子フェスティバル実行委員会第1回・2回・3回出席 青少年活動交流センターのいわて親子フェスティバル開催に合わせて環境学習交流センターでは～おしたらヒントdeビンゴクイズ～イベントプログラムを提供。おしたらヒントdeビンゴクイズは花王グループカスタマーマーケティング株式会社様のツールを活用し、身近な生活のエコな取り組みについて親子で楽しく学ぶことができた。</p>	
<p>4</p> 	<p>イベント名</p>	<p>アイーナ内施設JICA連携事業 環境学習講座</p>
	<p>日時</p>	<p>令和5年11月26日(日)13:30～15:00</p>
	<p>場所</p>	<p>環境学習交流センター</p>
	<p>連携団体</p>	<p>JICA東北岩手デスク</p>
<p>内容</p>	<p>環境学習講座としてJICA岩手デスクと協力を事業を展開。 講師をJICA岩手デスクの市川雅美氏にお願いし青年海外協力隊としてウガンダで行った環境活動やウガンダの暮らしなどをお話いただきウガンダと日本の違いやゴミ問題について考える講座を行った。</p>	

令和5年度訪問学習実施一覧 ※許可をいただいた団体のみ写真掲載

06

環境学習交流センターの展示等を活用した学習プログラムにより、随時学校や市民団体等の訪問学習を受け付けています。展示や体験キットを使った学習のほか、クイズや工作など、楽しみながら環境について学べるプログラムを用意しています。

番号	1	団体名	ガールスカウト岩手県 第5団(花巻)
	学年	小学4年生～大人	
	日時	令和5年6月18日(日)10:30～13:20	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	子供5名 引率4名 計9名	
	対応スタッフ	櫻井 則彰・大石 光子・田近 志保子	
内容	・SDGsについて・世界と日本の海ごみ問題・マイクロプラスチック問題・驚異の旅(水の分子となって地球上を旅する学習プログラム)・海ゴミクイズ		
番号	2	団体名	花巻市立湯口中学校
	学年	中学2年生	
	日時	令和5年7月6日(木)14:30～15:00	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	生徒23名 引率3名 計26名	
	対応スタッフ	櫻井 則彰・大石 光子・田近 志保子	
内容	エネルギーのかばん「もてるかな」・手回し発電体験・風力発電コーナー体験・自転車発電体験		
番号	3	団体名	認定NPO法人インクルいわてインクルこども食堂
	学年	幼児・小学生	
	日時	令和5年7月9日(日)10:30～11:15	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	児童13名 保護者8名 計21名	
	対応スタッフ	大石 光子・田近 志保子・齊藤 富美子	
内容	環境紙芝居「ちきゅうをすくえ」(幼児向け環境紙芝居)・発電体験・自由見学		
番号	4	団体名	岩手大学人文社会科学部
	学年	大学3年生～4年生	
	日時	令和5年7月27日(木)10:30～11:20	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	生徒17名 引率1名 計18名	
	対応スタッフ	森 一夫・大石 光子	
内容	「特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて」と「環境学習交流センター」「岩手県地球温暖化防止活動推進センター」についての話・センター内の自由見学		

番号	5	団体名	盛岡市立城北小学校 特別支援学級
	学年	小学2年生～6年生	
	日時	令和5年9月15日(金)10:15～11:45	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	児童15名 引率5名 合計20名	
	対応スタッフ	大石 光子・田近 志保子	
内容	・環境紙芝居「ももたろう」の読み聞かせ・新聞バッグづくり・発電体験と自由見学		
番号	6	団体名	奥州市立胆沢第一小学校
	学年	小学4年生	
	日時	令和5年9月20日(土)10:00～11:40	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	1組児童25名 引率2名 2組児童24名 引率2名 合計53名	
	対応スタッフ	大石 光子・田近 志保子	
内容	・環境紙芝居「地球が大変だ～」・発電体験と自由見学		
番号	7	団体名	釜石市唐丹中学校
	学年	中学2年生	
	日時	令和5年9月26日(火)13:00～16:00	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	生徒1名 引率2名 合計3名	
	対応スタッフ	大石 光子・田近 志保子・坂下 慶夏	
内容	「SDGsカードゲーム X」・リサイクル工作(新聞バック作り)・水の循環についてのワークショップ(驚異の旅)・センター内の自由見学		
番号	8	団体名	岩手大学教育学部附属中学校
	学年	中学1年生	
	日時	令和5年10月6日(木)10:30～11:30	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	9名	
	対応スタッフ	櫻井 則彰・田近 志保子・大石 光子	
内容	・温暖化についての講話・生徒からの質問の対する返答・エコチェックアンケートの実施・センター内自由見学		

番号	9	団体名	盛岡市立下小路中学校
	学年	中学2年生	
	日時	令和5年10月19日(木)10:00～11:30	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	10名	
	対応スタッフ	櫻井 則彰・齊藤 富美子	
内容	<p>冒頭アンケート・温暖化する地球環境をどの程度関心を持ち心配しているか？英国の大学が実施した調査と日本の現状を比較。アンケートにその場で答えてもらう。このアンケートの意味を解説。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの内容説明、何故1番に「貧困をなくそう」が来ているのか。次いで2番、3番、4番と続く意味、2015年採択に至った経緯、今後の取り組み、今後どうしなければならないのか。社会活動に関する意識調査からみた日本の若者の状況。 ・プラスチックの海洋汚染、便利なプラスチックが人間、他の生物に与える影響、人間の健康、生態系に与える影響、環境中で分解しないプラスチックの未知の部分が多い悪影響を中心に話す。 ・地球温暖化により変わる地球環境と私たちの暮らし等を動画を交えて解説。途中中学生の意見を求めながら進める。 ・センター内自由見学 		
番号	10	団体名	久慈市衛生班連合会
	学年	大人	
	日時	令和6年1月17日(水)13:30～15:00	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	衛生班連合会会員22名+環境学習応援隊企業花王2名 合計24名	
	対応スタッフ	齊藤 富美子・阿部 絃衣・森一夫	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習交流センター/温暖化防止活動推進センターの取り組み/環境パートナーシップの取り組みについて説明 ・花王グループカスタマーマーケティング(株):環境学習応援隊企業の環境学習 ・企業の取り組み・②プラスチック容器包装とつくる責任使う責任について 		
番号	11	団体名	東松園小学校(支援学級)
	学年	小学1年生～6年生	
	日時	令和6年2月2日(金)13:00～13:50	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	児童15名 引率5名 合計20名	
	対応スタッフ	田近・大石・坂下・齊藤	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境紙芝居「ももたろう」の読み聞かせ ・牛乳パックでリサイクルハガキ工作体験 ・発電体験と自由見学 		
番号	12	団体名	盛岡みたけ支援学校
	学年	高等部2年生	
	日時	令和6年2月8日(木)10:00～11:00	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	児童15名(高等部2年生) 引率8名 合計23名	
	対応スタッフ	田近・大石	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐についての説明 ・工作体験(森の木の実は段ボールを使ったフォトフレーム) ・発電体験と自由見学 		

●こどもエコクラブ交流会

07

各団体の活動内容を共有することにより、活動が深化することを目的として、小学生及び保護者(サポーター)等を対象とした交流会を開催すること。

	事業名	子どもエコクラブ交流会
	開催日時	令和5年9月16日(日)8時20分～17時40分
	場所	東京大学大気海洋研究所・国際沿岸海洋研究所 おおつち海の勉強室 釜石根浜海岸・オーガニックフェスタin いわて2023@釜石
	参加者	こども7人、大人6人 合計13名
	対応スタッフ	櫻井 則彰、森 一夫、大石 光子、田近 志保子



内容

- ・東京大学大気海洋研究所・国際沿岸海洋研究所
 - ・玄関の天井画観賞
- 大小島真木さんは、この場所に来て、脚立を使って、直に描いたそうです。描きながら、センターのスタッフがここを通る度に、会話をし、新たな想いも描き加えて大槌の海を表現したそうです。
- ・2階、3階の研究室の見学
 - ・うみの勉強室の見学
 - ウミガメと対面
 - ・オーガニックフェスタinいわて2023@釜石会場
- ①各自自由見学・買い物
 - ②オーガニックフェスタ実行委員長の日野さんよりオリエンテーション
有機自然農業を応援するゆるやかなネットワークで活動している団体であること、農業、環境、福祉をテーマに、人と人、人と自然の関係を深める活動であることなど。
 - ③山田周生さんのブースの前で、BDFのことや、自給自足的な生活についてのお話しとBDF車見学。地球温暖化が進んでいるため、燃料をCO₂がでないよう工夫していることに参加者は感動したようです。

令和5年度岩手県環境アドバイザー派遣実施状況 《写真提供のあった団体のみ掲載》

県民の皆様が環境問題に関する研修会等を開催する場合に、その研修会の講師として環境アドバイザーを派遣しています。主催者報告書のとおり記載

実施日	4月22日	主催者	奥州市環境市民会議「奥州めぐみネット」	アドバイザー	藤原 正
		対象	参加者20名、スタッフ4名 合計24名		
研修会			春の自然観察会～となりのまちの草花篇～		
テーマ			自然保護・自然観察		
内容			国見山の歴史について学びながら、春山の新緑の中で草花や木等の自然観察会を行った。幅広い年代(4歳～80代)の参加者が互いに交流を深めることができた。		
実施日	4月25日	主催者	一関市巖美市民センター	アドバイザー	千田 典文
		対象	一般14名		
研修会			巖美市民センター女性教室「いきいき生活塾」 春の里山ウォーキング		
テーマ			自然観察会		
内容			蘭梅山は手入れが行き届いており、散策しながら自然観察を行うには絶好の場所。エゾタンポポや黒サンショウウオの卵の観察から始まり、講師が持参した双眼鏡でナツウダイという植物の小さな黄色い花も観察したりしながら、1時間半かけて森の中を散策した。近年は蝶などの昆虫や鳥などを見かけることが少なくなっている気がするという心配な話も講師から伺った。参加者は普段は見過ごしてしまう植物をじっくり観察することができた。		
実施日	5月10日	主催者	リメイクサークル	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	雫石町内在住または雫石町内勤務者12名		
研修会			環境対策勉強会		
テーマ			着物リメイク		
内容			小さくなって着れなくなった服に新たな布を足して着れるようにした。違う柄の布を足す事で継ぎ接ぎになるのではと思ったが、オシャレに仕上がりたいへん勉強になった。		
実施日	5月13日	主催者	岩手県立県南青少年の家	アドバイザー	大友 晃
		対象	応募者20名職員9名 合計29名		
研修会			令和5年度 大人ワンダークラブ～春山トレッキング編～		
テーマ			トレッキングガイド		
内容			大友氏のガイドにより、ゆとりのあるペース配分で、全員が安全に楽しくトレッキングに臨むことができた。また、動物の爪痕やコース上に繁殖する植物の紹介を通じて、自然の素晴らしさや面白さを幅広く解説していただき、参加者が十分満足のできる充実したトレッキングの内容であった。		
実施日	5月13日	主催者	特定非営利活動法人おはなしころりん	アドバイザー	本多 サト子
		対象	大人8人・サポート2名 合計10名		
研修会			着物リフォーム裁縫教室(つんぬぎ半纏づくり)		
テーマ			着物リメイク		
内容			市民から要望の多かった裁縫教室を開催できた。講師のファンも少なくない。丁寧な指導と楽しい語り口で、参加者は皆、指導内容に熱心に取り組んでいた。和やかな雰囲気の中での学びは好評だった。参加者からは、着物の古着をほどいて、新しい洋服にリフォームする楽しさ、再利用の素晴らしさを感じする声が聞かれた。流れとしては、参加者全員が自己紹介をした後、針の種類や布の裁断方法など先生からアドバイスを受け、最後に感想発表して終了。		

実施日	5月21日	主催者	盛岡市環境部環境企画課	アドバイザー	大友 晃
		対象	公募の親子8名		
研修会	盛岡市環境学習講座「ecoキッズ春の区界高原を探検しよう！」				
テーマ	散策及び自然観察				
内容	<p>天候にも恵まれ、講師の先導により、植物や野生動物について説明を受けながら、安全に源流までの沢登りや兜明神岳の登山など自然体験を楽しんだ。</p> <p>途中でクマのものらしきフンを発見し、野生動物の営みを知る機会となった。</p> <p>沢登りで足が濡れたり、岩場にしがみついたり、親子一緒に普段味わうことのできない自然体験を満喫している様子があった。</p>				
					
実施日	5月22日	主催者	巖美市民センター	アドバイザー	千田 典文
		対象	一般参加者13名 センター職員2名		
研修会	春の徳仙丈山ハイキング ～ツツジ咲く春の徳仙丈山自然観察会～				
テーマ	自然観察会				
内容	<p>今年は花の咲く時期が早く、ツツジも見頃を過ぎ、黄砂の影響もあり、絶景とまではいかなかったが、十分に登山を楽しめた。ツツジ以外の植物も豊富で、講師の説明を聞き、植物の観察と鳥やカエルなどの鳴き声を聞きながら、ゆっくりと登山を行った。</p>				
					
実施日	5月26日	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	内田 尚宏・佐井 守 木幡 英雄
		対象	3年生児童95名 教師4名 合計99名		
研修会	総合的な学習総合的な学習の時間「中津川探検隊」				
テーマ	中津川の植物や生き物について				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンを使っての学習では、中津川の長さや中津川に生息する生物の種類などをクイズ形式で進めていただき、児童が興味をもって学習することができた。 ・河川敷では川原に落ちている石の種類と歴史、木と生き物との関係等を話していただき、中津川の様子を通して自然のつながりについて関心を高めることができた。 				
					
実施日	5月26日	主催者	浄土ヶ浜ビジターセンター	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	一般20名		
研修会	浄土ヶ浜 春の星空観察会				
テーマ	星・天体の観察				
内容	<p>当日の天気が曇りだったため、屋内で天体の解説を中心に行った。雨雲レーダーを確認しながら屋外に2度出ることができ、雲の合間に月を観察することができた。実際の空の明るさの違いから、浄土ヶ浜の自然の暗さ、町からくる光害についても解説していただいた。</p>				
					
実施日	5月30日	主催者	和賀地区自治協議会	アドバイザー	佐井 守
		対象	北上市立和賀西小学校4年生児童8名 大人14名 合計22名		
研修会	水生生物調査				
テーマ	自然の大切さやすばらしさ				
内容	<p>水生生物の種類が多く、児童が採取した生物のほとんどが I きれいな水にいる生き物だった事で、鈴鴨川が改めてきれいな川だと気づくことができた。</p> <p>幼虫と成虫の違い等を講師がわかりやすく教えてくれました。</p>				
					
実施日	6月2日	主催者	盛岡市西部公民館	アドバイザー	大友 晃
		対象	受講者14名 公民館職員2名 合計16名		
研修会	自然環境講座「安比高原ブナ二次林観察」				
テーマ	安比高原ブナ二次林観察				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講座当日は、大友様、受講者14名と公民館職員2名が参加した。雨天ではあったが、大友様の的確なガイド、臨機応変な対応により、スケジュールどおり行動することができた。 ・受講者へのアンケートの結果、コース設定、講師のガイドや説明等、大変満足したとの感想が多数だった。 ・参加者の中には、高齢の方・山歩きが初心者の方もいたが、講師の大友様が、参加者の健康状況を十分配慮し、どなたも満足のできる体験をさせてくれた。 				
					

実施日	6月6日	主催者	岩手県立県北青少年の家	アドバイザー	大友 晃
		対象	一般15名		
研修会		主催事業	「レッツ！トレッキング①」		
テーマ			安全に登山事業を成功させる		
内容			過去2年間、八幡平を会場にした「レッツ！トレッキング」は、天候に恵まれない中での開催であったが、今年度天候に恵まれたこともあり、参加者により八幡平の自然や景色を楽しんでいただけるよう黒谷地への縦走ルートに変更しての実施となった。澄み渡る青空のもと、残雪歩き、両側に高山植物を楽しめる木道歩き、雪解け水の流れる登山道歩き等、変化に富んだコース設定で参加者を大いに満足させて頂いた。高山植物・樹木・小動物等の紹介も大変分かり易く、参加者の八幡平の自然への興味・関心を高めることに繋がった。また、安全面にも配慮していただき、ゆとりを持った疲れのないペースで案内して頂いたことにより、体調不良者や怪我等もなく、無事事業を終えることができた。		
実施日	6月10日	主催者	岩手県立県南青少年の家	アドバイザー	大友 晃
		対象	応募者34名 職員9名 合計43名		
研修会			ファミリートレッキング		
テーマ			トレッキングガイド		
内容			大友氏のガイドにより、ゆとりあるペース配分で、安全に登山することができた。途中では、けもの道や倒木の上を歩くなど、変化に富む案内をしていただいた。また、動物の爪痕や糞の観察、カモシカとの遭遇を通して、野生動物の生態や面白さを分かりやすく解説していただいた。参加者は、変化のある登山道や野鳥との出会いにより、自然を満喫した様子だった。		
実施日	6月12日	主催者	一関市大東支所市民福祉課	アドバイザー	多門 真咲
		対象	大原市民32名		
研修会			特定外来生物・オオハングソウぜんぶ抜く大作戦		
テーマ			オオハングソウの特徴と駆除方法		
内容			パワーポイントで写真などの視覚的な資料を使いながら、ポイントを押さえた説明で、参加者からも好評だった		
実施日	6月14日	主催者	遠野市立附馬牛小学校	アドバイザー	藤原 正・櫻井 則彰
		対象	3・4年生児童10名 引率2名 合計12名		
研修会			水生生物調査		
テーマ			水生生物調査		
内容			講師の先生方から、川の中にある生物を教えていただき、その後実際にとってみました。また、水生生物の種類で川がきれいであることが分かるので、児童にとってもいい経験となっていました。ありがとうございました。		
実施日	6月16日	主催者	大東町自治会等連絡協議会	アドバイザー	多門 真咲
		対象	40名		
研修会			大東町自治会等連絡協議会研修会		
テーマ			特定外来植物の繁殖状況や生活への影響、対策等について		
内容			一関市自治会等活動費総合補助金の補助対象に新たに特定外来生物駆除のための活動費が加わったことから、主な特定外来植物の生態や駆除の方法について、自治会長を対象とした研修会を実施しました。		
実施日	6月17日	主催者	おいまつ・のびのびっ子クラブ「ホタルの観察」	アドバイザー	川田 昌代
		対象	5家族13名・高校生ボランティア7名 合計20名		
研修会			おいまつ・のびのびっ子クラブ「ホタルの観察」		
テーマ			ホタルの一生(講話)と観察		
内容			<ul style="list-style-type: none"> 講師オリジナルのホタルに関する紙芝居及びクイズでホタルの一生を学んだ。 藤田川へ出かけホタルを観察。あいにく3〜4匹くらいしかいなかったが、紙芝居で学んだ雄雌の見分けなどを実際にできた。 藤田川がホタルにとっては絶好の場所であることをみんなで確認できた。 		

実施日	6月25日	主催者	(株)展勝地	アドバイザー	佐井 守
		対象	大人18名子ども22名(幼児10名、小中学生12名)合計40名		
研修会			結っこ田んぼ 第2回 除草 水の中の生き物調査		
テーマ			田んぼや池の生き物調査		
内容			農作業体験で草取りを行った後に講師の指導により、お父さん方の協力を得て園内池には網カゴを投入し、子どもたちはタモ網を使用して田んぼ脇の水路で生き物採集を行った。約30分後、講師とカゴ投入したお父さん方で網カゴを回収し、子ども達が採った生き物を集め、講師により分類。大きな分類ごとにそれぞれ生息する場所や変態の過程、食性などを説明いただき、各個体についても分類や特徴などについてご説明頂いた。結果として、自然が多いと感じる民俗村だが、生き物調査によってその生息種類の数を見ると人工のつくられた自然であることが分かる。ただし、その分危険な生き物などはなく、安心安全という観点からは素晴らしいところと言えるという結果を得た。		
実施日	7月2日	主催者	盛岡市環境部環境企画課	アドバイザー	木幡 英雄
		対象	児童と保護者19名		
研修会			環境学習講座「ecoキッズ外山森林公園で森づくり！赤ちゃん苗木を植えよう」		
テーマ			植樹及び自然観察		
内容			森の木々について、人が植えた木々と自然の森になった木々の様子を観察したあと、日の当たらないエリアに芽生えた幼木を日当たりの良い場所に植え替えた。人・動物と植物の違いを子どもたちに考えてもらい、自分では動くことのできない植物たちが種を落とした場所で根付き成長することがいかに大変かお話し、広葉樹を中心に日当たりの良い場所に親子でそれぞれ植えた。		
実施日	7月4日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	アドバイザー	川田 昌代
		対象	衣川小4学年13名 教師2名		
研修会			奥州市環境学習事業(水生生物調査)		
テーマ			水生生物調査		
内容			水生生物採取では、積極的に取り組む児童が多く、数人ごとに班編成の上、協力しながら生物を採取していた。当日、炎天下であり児童の体調が心配されたことと、アブ等の害虫によるケガが心配されたことから、捕獲作業後、衣川ふるさと自然塾に移動。同施設の屋内で分類、観察を行った。 生物の分類・水質判定では、講師に質問するなどして真剣に分類していた。 分類後、水質判定等、講師の指導を受けながら班ごとに協力して行った。		
実施日	7月4日	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	内田 尚宏・佐井 守 吉田 美幸
		対象	児童95名 教師4名		
研修会			総合的な学習の時間「中津川探検隊」		
テーマ			中津川の水生生物について		
内容			中津川の水生生物調査を行った。水生生物の採取方法、調査中の安全などについて指導いただいた後、学年を3つのグループに分けて実際に中津川に入り、水生生物調査を行った。採取した生物についての質問などに答えていただきながらグループ毎に分類していった。最後に学級毎に採取した生物を発表し、中津川の水質判定の仕方を教えていただいた		
実施日	7月4日	主催者	一関市立大東小学校	アドバイザー	多門 真咲
		対象	3学年児童37名		
研修会			3年生 総合的な学習の時間「水生生物調査」		
テーマ			水生生物調査		
内容			開会行事・調査についての説明(千田先生より) 水生生物調査 閉会行事 天候に恵まれ、調査にあたる子どもたちも気持ちよく活動することができました。		
実施日	7月7日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	アドバイザー	花澤 淳
		対象	羽田小学校3学年14名 教師3名		
研修会			奥州市環境学習事業(水生生物調査)		
テーマ			水生生物調査を活用した水質調査		
内容			最初に、講師が調査をする際の注意事項をお知らせ。水中の虫よりも、川の流れやクマやハチなどの危険が大きいことを伝えた。児童に水生生物調査をなぜするのかの問いかけ、科学的調査との違いなどを説明して調査を開始。今年もサワガニを見つけて児童が大喜びしていた。生物の分類・水質判定では、真剣に生物を分類し数えていた。最後に、講師から食物連鎖の仕組みについての話あり。また、水生昆虫が成長するとどんな姿になるのか、ヘビトンボの羽化後の写真を見せられて皆驚いていた。		

実施日	7月8日	主催者	老松みどりの連絡協議会	アドバイザー	川田 昌代
		対象	小学生10名		
研修会	のびのびっ子クラブ「水生生物調査」				
テーマ	水生生物調査				
内容	<p>野外活動にはギリギリの降雨量だったが、着替え等の準備ができていたので、水生生物の捕獲を子どもたち自身ができ、満足していた。持ち帰った生物を調べる時は、講師が準備して下さった容器や虫眼鏡で、じっくり観察ができ、立派な調査員になったようだった。保護者も可能な範囲で参加してくれ、とても良い活動ができた。</p>				
					
実施日	7月11日	主催者	一関市立猿沢小学校	アドバイザー	千田 典文
		対象	4年生児童11名 引率1名 合計14名		
研修会	水生生物調査				
テーマ	水生生物調査				
内容	<p>猿沢川に入り水生生物の採取の方法 サワガニやスジエビ等の水生生物を実際に採取して見せてくださいました。棲息場所を実際に教えていただき、児童の意欲をかき立ててください、児童は非常に活発に活動できました。児童はわからない生物を見つけると「千田先生！」と積極的に呼びかけ、生物の名前や生態を詳しく教えていただきました。アオハダトノボの幼虫と成虫を並べて示して下さい、サワガニの雄と雌の違いを見せてくださったり、より詳しい学習ができました。学校に戻り、採取した生物を分類する方法を教えてくださいました。まずは児童がやってみよう助言をして下さったのではじめは見守ってくださいました。その後児童はアドバイスをいただきながら分類しました。結果から、児童は猿沢川がきれいな川だと知り、満足げでした。</p>				
					
実施日	7月11日	主催者	盛岡市都南公民館	アドバイザー	櫻井 則彰
		対象	公募の親子26名		
研修会	親子ホタル観察講座				
テーマ	ホタルの生態など基礎知識の学習と現地観察				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・18:30～19:10 第1研修室にて講話 ・19:15 大ケ生へバスにて移動 ・19:40 大ケ生到着後、大ケ生金山前にて下車。下流に向かって徒歩にて観察。・昼過ぎまでの激しい雨もやみ気温も湿度も上昇したが、ヘイケホタルとヒメボタルを観察することができた。地元の方から今年はヒメボタルがたくさん観察できるとの話もあり、少しずつ大ケ生にホタルが戻ってきていると感じた。今後も希少な場所であることを認識するとともに、はじめての感動を多くの子ども達に伝えていきたい。 ・アスバラでホタルをつかまえ、習字用紙で作った入れ物で観察するスタイルが大変好評だった。 ・親子とも関心が高く、講師の講話も、ホタルの生態と同時に豊かな自然を守ることの大切さも学ぶことができ大変有意義であった。 ・昼過ぎまでの雨もやみアスバラを使用し観察。飛び交うヘイケボタルを全員が観察できた。 ・20:30 都南公民館へ出発 21:00 解散。 				
 					
実施日	7月14日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	アドバイザー	花澤 淳・川田 昌代
		対象	3学年児童21名 教師3名 合計24名		
研修会	奥州市環境学習事業(水生生物調査)				
テーマ	水生生物調査				
内容	<p>講師が水生生物調査の説明を最初に行い、参加者が調査の意味を理解した上での調査を行った。 実際に川に入ると、参加者は夢中になって生物を探す様子が見られた。生物の分類・水質判定では、講師作成の絵入りシートにまとめたため、やりやすかった模様。真剣に分類していた。水質は、水質階級Ⅰのきれいな水という判定になった。調査後に、講師が食物連鎖の仕組みについての話や、自然を守ることの大切さについての話をすると、真剣に話を聞いていた。</p>				
					
実施日	7月22日	主催者	岩谷堂地区振興会 生涯学習部	アドバイザー	小沢 宗
		対象	小学生以下9名、保護者7名、中学生6名、事務局等4名の合計26名参加		
研修会	水質調査と水生生物の観察会				
テーマ	水生生物				
内容	<p>増水の為、当初予定していた水辺ではなく岩谷堂地区センターで座学となった。 環境アドバイザーの小沢さんに川や田んぼで水と生き物(カワゲラ等の虫や小魚やドジョウ、タニシ等)を持ってきていただき、試薬を使い検査した。CODが3～4でPHが7～7.5の「ややきれいな水」だった。 その後、小学校から借りてきていた解剖顕微鏡で生き物を観察しながらスケッチした。 参加した子供たちは皆、生き物に興味津々で解剖顕微鏡のそばを離れようとしなかった。</p>				
					

実施日	7月24日	主催者	宮古市刈屋公民館	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	小学4年生以上15名		
研修会			星空観察会		
テーマ			新里の星空観察		
内容			星を見ながらの解説は地域の良さを知ることができた。また時間の流れを感じた。		
実施日	7月25日	主催者	岩手大学教育学部附属中学校	アドバイザー	安原 昌介
		対象	岩手大学教育学部附属中学校2年D組14名		
研修会			総合的な学習の時間		
テーマ			水芭蕉の生態や保全		
内容			・7/20(木)に、25日の事前学習としてご来校頂きました。10:50～11:40の時間帯で、当日の動きの確認や生徒の質疑にお答え頂きました。特に、「中津川の水芭蕉を守る会」が発足した歴史や、中津川流域の特定外来植物についての話は、生徒の関心を集めていました。 ・7/25(火)は水芭蕉の生息地へ行き、水芭蕉の観察や事前学習で知った特定外来植物の駆除等を安原さんと一緒に行いました。		
実施日	7月25日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	アドバイザー	小沢 宗 川田 昌代
		対象	水沢中学校総合文化部1～3学年23名 教師3名		
研修会			奥州市環境学習事業(水生生物調査)		
テーマ			水生生物調査を活用した水質調査		
内容			暑さが厳しく、最初に橋の下の日陰で講師が川から汲んだ水で化学的水質調査(COD、リン酸、PH)と透視度測定を実施。その後川へ移動し、流速測定後に生物を捕獲した。生物の分類・水質判定は、講師が準備した用紙を活用し、下敷をみたり講師に質問したりして取り組んだ。採取した魚卵が、数百もの稚魚に一齐に孵化したため、皆驚いていた。送迎バス時間により、最終まともは解散後に学校で行っていただいたが、講師の丁寧な指導に教諭より感謝の言葉があった。		
実施日	7月27日	主催者	岩手県立陸中海岸青少年の家	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	小学生35名 ボランティアスタッフ4名 合計39名		
研修会			令和5年度マリンランド陸中自然体験塾①海の子野外教室		
テーマ			星空観察会		
内容			観察の前に12星座の話をしていただき、星座への興味を高めていただいた。空の観察や講話を通して、身近な自然環境の素晴らしさについて考えるよい機会となった。参加者からも「望遠鏡で星や月を見ることができてうれしかった。」との声があった。グループに1台の天体望遠鏡や様々な種類の望遠鏡をご用意いただき、とても満足度が高い研修であった。		
実施日	7月28日	主催者	とうわ野鳥の会	アドバイザー	根子 英郎
		対象	大人子ども		
研修会			川の生き物を調べよう		
テーマ			水生生物調査		
内容			初7月16日に計画していたが、連日の雨と増水のため、延び延びとなり28日ようやく実施できた。水量も例年よりは多かった。田んぼや沼から流れ出たと思われる水生生物も見られた。 なお、当初参加を楽しみにしていた5組の親子家族は延期によりウイークデイ実施となったため参加できず、少人数での調査となった。		
実施日	7月29日	主催者	盛岡市都南公民館	アドバイザー	若生 和江
		対象	公募の親子13名		
研修会			なつやすみ・親子の楽しい環境セミナー「親子で学ぶ食品ロス」		
テーマ			食品ロスについて		
内容			親子向けに、食品ロスの現状を中心に、SDGsやフードマイレージなどについて分かりやすく教えていただきました。		

実施日	7月29日	主催者	八木沢川を守り育てる会	アドバイザー	水木 高志
		対象	こども15名 大人15名 合計30名		
研修会			八木沢川にふれよう2023		
テーマ			水辺の生き物調べ 放流会		
内容			<p>今回の活動は、地元小学生(幼児含む)親子に参加いただき、河川のゴミ拾い、生物調査・講話、ヤマメの放流を実施しました。</p> <p>生物調査では、ヤマメ、イワナ、ウグイ、モクズガニが確認できたほか、水生昆虫も見られ、それらの生態と生物の棲み分けについて講師から説明いただいた。</p> <p>また、人々が生活する上での必要な水としての河川のあり方、地元八木沢川と人との繋がりについて講話いただき、子供たちは真剣に聞き入っていました。</p> <p>放流魚は1年目魚であるヤマメの幼魚を子供たちが放流し、元気に泳ぐ姿に喜んでいました。</p>		
実施日	7月30日	主催者	骨寺村ガイドス運営協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	一般8名		
研修会			水辺の生き物と水遊び		
テーマ			水辺の生き物と水遊び		
内容			<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での開催になってしまったが、参加者は解説を熱心に聞き積極的に質問していました。 ・水遊びの部分では、水の流れや温度を感じながら水中を覗き、水中生物の観察をおこないました。 ・採取した生物をケースに入れて見せてくれたので、観察しやすかったです。 ・気温が高い日でしたので、こまめな水分補給や休憩をとりながらおこないました。 		
実施日	7月30日	主催者	KMYプロジェクト実行委員会	アドバイザー	佐藤 良平
		対象	川遊びまつりin滝沢川」参加者数: 幼児6人 小学生46人 中学生2人 合計54名 (うち水生生物調査参加者数: 幼児6人+保護者)		
研修会			リバーズスクール狐禅寺第1弾「川遊びまつりin滝沢川」		
テーマ			水生生物調査		
内容			滝沢川の川辺で、未就学児6人が水生生物(ハヤ、クチボソ、ヌマエビ、アメリカザリガニなど)の生き物の名前や生態などを教わった。		
実施日	8月2日	主催者	青笹児童館	アドバイザー	藤原 正
		対象	青笹児童館利用の児童22名		
研修会			こどもエコクラブ活動(環境学習会、水生生物調査)		
テーマ			水生生物調査		
内容			環境学習会の後に、中沢川へ移動して水生生物調査をおこないました。		
実施日	8月2日	主催者	一関市立大東中学校文化部	アドバイザー	千田 典文
		対象	生徒数13名、引率教員数 2名 合計15名		
研修会			夏休みの課外活動 ～大東町を流れる川の水質調査～		
テーマ			水生生物調査		
内容			今回、砂鉄川に行き、生息している水生生物を調査し、水質を推測した。この結果を、模造紙にまとめ、学校の廊下に展示することを検討している。水生生物の名前や特徴などを細かく専門的に教えていただき、勉強になりました。この生物がいたから水質の結論がでるわけではなく、今回調査した川と流れる速度が同じ異なる場所を調べ比較したり、生態系や環境問題などを総合的にみたりすることで、判断していかなければならないとお聞きしました。次回、実施する際には、事前調べ等も行い、さまざまな観点から水質を調査できるように指導していきたいと思います。		
実施日	8月5日	主催者	田瀬地域コミュニティ会議	アドバイザー	佐井 守
		対象	15名(内小学生3名、保育園児1名)		
研修会			白土川生態調査		
テーマ			水生生物調査		
内容			子供たちが主体になり、川にはいり、石の下や、川の中の生き物を集めました。それぞれ種類に分けて数を数え、川のきれいさを調べました。講師より、川に住んでいるのは幼虫が多いが、この時期は羽化して成虫になっているので種類は少ない。生き物の種類を見ると、この川は水のきれいな川というのがわかるという感じでしたが、川に入ることも初めての子供たちがほとんどで、最初は恐る恐るという感じでしたが、最後の方は夢中になって洋服の濡れるのも気にすることなく、楽しんでやっていました。大人も童心に帰っていました。今後も季節ごとなど、引き続き調査を行いたいと思います。		

実施日	8月6日	主催者	八幡平市	アドバイザー	高橋 良和
		対象	一般15名		
研修会		オオハンゴンソウ(特定外来生物)駆除活動			
テーマ		オオハンゴンソウ駆除			
内容	高橋氏から、「特定外来生物について」の講義を受講した後、オオハンゴンソウ駆除活動を実施した。参加者からは、「綺麗な花だと思っていた。特定外来生物とは知らなかった。駆除活動を地域に広げて行きたい。」といった話があった。				
実施日	8月7日	主催者	一関市大東支所市民福祉課	アドバイザー	多門 真咲
		対象	一般36名		
研修会		特定外来生物・オオハンゴンソウぜんぶ抜く大作戦			
テーマ		オオハンゴンソウの駆除方法の現地研修			
内容	オオハンゴンソウが大量に繁茂している場所で、スコップや唐鍬を使って実際にオオハンゴンソウを根から掘り起こし除去する方法や、キッチンスポンジを使って除草剤を葉に塗り枯らす方法などについて、講師の指導のもと実際に参加者が現場で作業を行いながら学んだ。				
実施日	8月8日	主催者	一関市小梨市民センター	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	地域の住民11名		
研修会		せんまや里山塾「リフォームコース」			
テーマ		リフォーム			
内容	作品の完成に向けて皆さん頑張っています。				
実施日	8月12日	主催者	碓石海岸集団施設地区運営協議会	アドバイザー	柳谷 信吾
		対象	12名		
研修会		碓石海岸で夏の星空観察会「星空さんぽ」			
テーマ		地域の星空環境や光害等の環境問題に関する講義			
内容	屋外での星空観察を予定していたが、当日の天候状況により室内ラーニングに内容を変更。夏に見られる星や星座・それに関わるお話などについてとレクリエーションを通じて参加くださった方々に星空の魅力をお伝えした。				
実施日	8月18日	主催者	盛岡市立見前中学校文化科学部	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	中学生5名、教員2名 合計7名		
研修会		見前中学校 文化科学部 水生生物調査			
テーマ		水生生物調査			
内容	調査場所は特に危険な箇所もなく、講師先生の指示に従い、安全に行なうことができた。				
実施日	8月22日	主催者	柳沢小学校3・4年	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	小学生7名 職員2名 保護者3名 合計12名		
研修会		水生生物調査による水質調査			
テーマ		水生生物調査による水質調査			
内容	安全指導、調査の仕方を説明していただいた後、実際に調査を開始したところ、たくさんの水生生物を採取し、予想以上の生物を発見したことに歓声をあげながら、楽しく学ぶことができた。				
実施日	8月23日	主催者	大船渡市立日頃市小学校	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	3・4年児童14名・教員6名 合計20名		
研修会		令和5年度岩手県水生生物調査			
テーマ		水生生物調査			
内容	講師の助言のもと、河川にすむ生物観察を通して身近な河川の水質状況を認識した。又、調査活動を通して水質保全意識を涵養した。				

実施日	8月25日	主催者	金ヶ崎小学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	児童13名 教職員2名 行政職員2名 合計17名		
研修会			令和5年度水生生物調査		
テーマ			水生生物調査		
内容			準備から作業まで事故等問題なく終了		
実施日	8月25日	主催者	安代地域多面的機能保全組織	アドバイザー	高橋 良和・櫻井 則彰
		対象	・安代地域多面的機能保全組織荒屋地区構成員 4名 ・安代土地改良区 4名 ・安代小学校生徒 16名 引率者3名 合計27名		
研修会			安比川水生生物・水質調査		
テーマ			水生生物調査		
内容			講師による調査方法の説明後、実際に水生生物を捕獲し川の生き物から安比川の水質判定を行った。 水質の保全や自然保護についての講義を行った。		
実施日	8月29日	主催者	八幡平市立田頭小学校	アドバイザー	高橋 良和
		対象	15名 教員3名 合計18名		
研修会			水生生物調査		
テーマ			水生生物調査		
内容			多くの児童が、初めての水生生物調査であったため、興味・関心をもって意欲的に取り組んだ。 環境アドバイザーの高橋氏のもと、水生生物を採集し、生物を種類ごとに整理しまとめることができた。整理した表をもとに、川の水質についても学習することができた。また、天候の急変時など、地形状況などを考慮した避難のしかたについても、教えていただくことができた。		
実施日	8月30日	主催者	花巻市建設部都市政策課	アドバイザー	多門 真咲
		対象	6名		
研修会			花壇見学ツアー		
テーマ			自然保護・自然観察		
内容			市内の花壇を実践者のお話し(取り組みのきっかけ、管理方法、花壇デザインのポイントなど)を交えながら見学した。 見学先にて多門先生から講評いただいた。花の特徴や、育て方のコツなどをお話しいただき、参加者は興味深そうに耳を傾けていた。		
実施日	9月1日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	江刺東小学校5学年14名 教師3名 合計17名		
研修会			奥州市環境学習事業(水生生物調査)		
テーマ			水生生物調査		
内容			集団宿泊学習の最終日メインイベントとして実施されたが、小さなサワガニや小魚がいて生徒たちはとても楽しんでた。30度越えと暑かったが、水温が17度と冷たく橋下で生物分類作業が出来たので良かった。時期的に生物数は少なかったが、ヒラタカゲロウやヘビトンボ、ヨコエビなどが見付き、生物の分類・水質判定では講師の指導を受け熱心に取り組んでいた。生徒が見つけたプラスチック片を手に、川や海をきれいに保つためには私たちが気を付けなければならないと伝えていた。		
実施日	9月14日	主催者	大船渡市立中央公民館	アドバイザー	佐々木 洋介
		対象	21名		
研修会			赤崎地区生きがいセミナー「更生大学」第3回学習会		
テーマ			「三陸の海の変化について」		
内容			実際に三陸の海を観察されている講師先生でしたので、身近な視点でお話して頂き、高齢者のかたにも解りやすかったと思います。資料にメモを取る様子も見られ、関心も高かったと思います。また、地球規模でみた海の話は新しい発見があり、大変興味深かったです。		

実施日	9月16日	主催者	つちの子アトリエ	アドバイザー	藤原 正
対象	親子5組6名	研修会	葉っぱのかたち(里山植物の観察会)		
テーマ	北上の秋の葉っぱや生き物のこと	内容	里山を散策しながら、葉っぱや木の実(栗、クルミ)を直接拾い、たくさんの発見があったようです。藤原さんから葉っぱのや形や特徴についてお話しがあり、「葉っぱの形合わせ遊び」なども紹介していただき、その後、様々な形の葉っぱを組みあわせて、親子で貼り絵(葉)を楽しみました。		
実施日	9月16日	主催者	岩手山青少年交流の家		アドバイザー
対象	参加者20名、学生ボランティア12名、運営スタッフ2名 合計34名	研修会	テンパーク冒険子ども食堂		
テーマ	星空観察	内容	事前打ち合わせにより服装、準備物、会場の安全についてアドバイスをいただいた。当日は、班ごとに自由に操作できる望遠鏡を用意いただき、全員が操作を体験できた。大型望遠鏡を用いて土星の環まで見えたこと、宇宙ステーション、人工衛星、流れ星などライブならではの天体観測ができ、感動を味わうことができた。また「自然の音」を聞く体験を通して、気持ちを落ち着かせるなど、一日の流れに沿って展開していただいた。子どもたちからは、星がとてもきれいだったという喜びの感想が聞かれた。複数の指導者により、子どものつぶやきに随時対応いただくことができた。		
実施日	9月20日	主催者	大更コミュニティーセンター		アドバイザー
対象	町民25名	研修会	大更婦人学級		
テーマ	SDGsを目指す私たちの暮らし方 気候変動にどう備える? 高齢化地域の環境と防災の取組み	内容	昨今の異常気象は地球温暖化が起因していることを話され、一人ひとりが日々の暮らしの中の省エネを考えることも非常に重要であるという事を話されました。これまで当たり前とされてきた防災意識がだいぶ変わってきている現状から、より実践的で日常的な心構えを教えてくださいました。例として被災者の声を活かし、最悪の事態を考えること、災害時を想定したレシピを普段から考えて作ることなど、被災した時に自分で出来るメンタルケア方法を紹介していただき、避難所で快適に過ごすためのちょっとした工夫等、日ごろから意識しておくことの大切さを痛感致しました。年々規模が大きくなっている自然現象に巻き込まれないよう、地形や天候を意識して行動できるように注意し、共助し合えるコミュニティを作っていきたいです。		
実施日	9月26日	主催者	洋野町立種市小学校		アドバイザー
対象	4年生児童34名	研修会	水生生物調査		
テーマ	水生生物調査	内容	水棲昆虫の生息調査を行った。小学4年生1クラスを17人二班に分け各班にて昆虫を採取分類した。さらに三角網で魚の捕獲を行い川の生きものを探した。魚類はヤマメの稚魚が1・2班とも1尾、ハゼ1尾が採取された。モクズガニ雄と雌各1尾。当日の水量は多く、濁りあり採取のための条件は悪かった。		
実施日	9月29日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課 若柳小学校		アドバイザー
対象	3年生児童21名 教師 3名 合計24名	研修会	奥州市環境学習事業(水生生物調査)		
テーマ	水生生物調査	内容	朝に付近でクマの目撃情報があったことから、室内学習に切り替えることとなり、事前に講師とともに水路から生き物を採取した。時期的に虫の種類は少なかったが、ヨコエビや小さなサワガニがいて生徒たちが喜んでた。カワニナはホタルの餌になることも教えていた。生物の分類・水質判定では、3学年であることも考慮しやさしく指導した。虫は苦手、という子が多かったが、協力して取り組んでいた。終了後に副校長より、生態系ピラミッドのお話良かったとのコメントをいただいた。		
実施日	9月30日	主催者	浄土ヶ浜ビジターセンター		アドバイザー
対象	13名	研修会	浄土ヶ浜 春の星空観察会		
テーマ	春の星空観察会	内容	当日の天気が雨だったため、屋内で天体の解説を中心に行った。雨雲レーダーを確認しながら屋外に出て、天体の観察を試みたが星を観察することはできなかった。実際の空の明るさの違いから、浄土ヶ浜の自然の暗さ、町からくる光害についても解説していただいた。		

実施日	10月4日	主催者	まつるペゴールドスキークラブ	アドバイザー	千田 典文
		対象	23名		
研修会	まつるペゴールドスキークラブ 親睦会				
テーマ	自然観察				
内容	<p>いろいろな草花の説明を受けながら遊歩道を散策。女性陣は始めて見るツリバナに感激していました。今回は初めての企画だったので遊歩道の散策にとどまりましたが、来年は栗駒山トレッキングを考えております。</p>				
実施日	10月4日	主催者	一関市磐清水市民センター	アドバイザー	皆川 千里
		対象	11名		
研修会	みつろうラップづくり				
テーマ	リサイクル				
内容	<p>・「ミツロウについて」・「ミツバチの話」・「エコラップの作り方・特徴・お手入れの方法」について講話。 ・好みの布を選んでみつろうラップづくり</p>				
実施日	10月7日	主催者	岩手山青少年交流の家	アドバイザー	森 敦子
		対象	17家族53名		
研修会	テンパーク・絵本の森(秋編)				
テーマ	自然観察・植物図鑑作成				
内容	<p>自然観察・葉っぱ図鑑づくり・森の宝箱づくりを指導いただいた。まず、ハチの分蜂時季なので飲食物を持ち歩かない、ツタウルシに注意するなど事前指導を受けた。次に、見つけた草花を貼ったり、こすり出したりして気づきを書き込んで図鑑を作った。また、内立体的なものを木の箱に詰めて森の宝箱をつくった。さらに、グループでほめ合う交流場面を行った。子どもも大人も思う存分自然と触れ合うことができた。</p>				
実施日	10月13日	主催者	山田町教育委員会	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	一般大人13名、子ども18名・ボランティア2名、山田町教育委員会職員4名、計37名		
研修会	秋の子ども向け講座「秋の星空観察会」				
テーマ	秋の夜空を観察しよう～星空と私たちの生活とのかかわり～				
内容	<p>春の観察会に引き続き実施した。当日は新月、快晴で観察に非常に適した天候に恵まれた。講師の指示に従って望遠鏡や観察機器を使い、土星やアンドロメダ星雲などを観察し、普段見ることのできない景色に参加者たちは終始楽しんでいった。</p>				
実施日	10月14日	主催者	岩手県立県南青少年の家	アドバイザー	大友 晃
		対象	参加者18名、職員8名 合計26名		
研修会	令和5年度主催事業「大人ワンダークラブ ～登山編～」				
テーマ	トレッキング				
内容	<p>今年度初めて登山をする者もいたが、大友氏のガイドにより、参加者の年齢層に合わせた歩き方やゆとりのあるペース配分で、全員が楽しく終えることができた。また、危険個所では職員を配置してサポートにあたるなど安全にも配慮した結果、秋の自然の素晴らしさ感じると共に、事故なく安全に終えることができ、参加者が十分満足のできる充実した登山の内容であった。</p>				
実施日	10月14日	主催者	八木沢川を守り育てる会	アドバイザー	水木高志
		対象	11名		
研修会	八木沢川にふれよう 2023 秋				
テーマ	水辺の生き物調べ、放流会				
内容	<p>今回の活動は、河川のゴミ拾い、生物調査・講話、ヤマメの放流を実施しました。生物調査では、カジカやモクズガニが確認できたほか、トンボのヤゴも見られ、それらの生態と生物の棲み分けについて講師から説明いただきました。</p>				

実施日	10月18日	主催者	特定非営利活動法人いちのへ文化・芸術NPO	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	10名		
研修会	ごしょのdeまなびプログラム「縄文の星空観察会～秋～」				
テーマ	星空観察				
内容	概要の説明と講師から星空についての解説をした後、遺跡に出て観察会を行った。当日は快晴で、天体望遠鏡で土星のほかアンドロメダ銀河を観察したほか、天の川も視認できた。一戸市街地の看板照明が一部消灯していたこともあり、今までにないコンディションで御所野の自然を感じる事が出来たプログラムとなった。				
実施日	10月31日	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	内田 尚宏・佐井 守 吉田 美幸
		対象	児童95名 教師5名		
研修会	総合的な学習の時間「中津川探検隊」				
テーマ	自然				
内容	河川敷では実際に遡上してきたサケを見ることはできなかったが、どんな所で産卵がされるのか現地学ぶことができた。また例年より遡上してくるサケの数が少ないことを教えていただいた。スクリーンを使った学習では、中津川にサケが遡上してくるまで(サケの一生)について、地図や写真などを使って詳しく説明していただいた。また、中津川が世界とつながっていることだけでなく、食物連鎖や水のつながりについても教えていただいた。そのおかげで、多くの児童が身近な中津川をきれいにしていきたいという思いを抱くことができた。				
実施日	11月3日	主催者	平沢郷づくり協議会	アドバイザー	多門 真咲
		対象	32人		
研修会	平沢自然観察会				
テーマ	自然観察				
内容	主に植物、樹木等の名称やその由来、生態系について詳しい説明を受けながら、地域における自然の姿を学ぶことができた。				
実施日	11月6日	主催者	久慈市立山形図書館	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	小学生～一般26名		
研修会	おらほーる秋の星空観察会				
テーマ	天体観測・星空観察				
内容	星空の基礎知識・秋～冬の星空と星座の探し方 地域の星空環境				
実施日	11月15日	主催者	八幡平市立寺田コミュニティセンター	アドバイザー	粒針 文子
		対象	34名		
研修会	七時雨大学				
テーマ	食の安全と環境問題				
内容	講師のわかりやすい説明で、身の回りの有害化学物質について、代謝をよくすること、また未来の子どもたちのために今、出来ること学んだ。				
実施日	11月17日	主催者	盛岡市乙部地区公民館	アドバイザー	川村 寛晃
		対象	5名		
研修会	乙部地区公民館講座				
テーマ	ミニチュア 箱庭づくり教室				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・石や木の実、コケなどの天然素材を使って箱庭の作り方について説明。 ・箱庭に使う天然素材は、私たちの身近に存在する自然のものを多く使う。 ・身近にそういったものが存在するので、是非、自然の恵みに興味を持ち、ご自分でも今後、作って欲しい。また大きな公園には、利用できる色々な樹木の葉や実があるので、そういった観点から公園に行かれるのも楽しいのではないかと。 ・また、先生が持ってきた材料をどこで探しているかなどの説明を受けた。 ・参加者は興味深く聞きいていた。 ・各自、箱庭づくりの容器と材料を思い思いに持っていき、作業に取りかかった。 ・参加者が作る箱庭は、みなどれも特長的で楽しんで作っているのが印象的であった。 ・できあがった作品を写真撮影のため、随時展示し先生が写真に収めた。 				

実施日	11月26日	主催者	老松みどりの郷協議会	アドバイザー	川田 昌代
		対象	児童2名 大人7名 合計9名		
研修会	おいまつ・のびのびっ子クラブ「野鳥の観察」				
テーマ	野鳥の観察				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・座学で渡り鳥の行動範囲について、また双眼鏡の使い方を教えていただいた。 ・双眼鏡と野鳥観察ビンゴ、講師手作りのハンドブックを持って観察。早速鳥の姿や巣を見つけ、観察した。 ・市民センターに戻り、図鑑で詳しく調べたり、鳥の羽の役割を学んだ。鳥の羽を模した工作を子どもも大人も楽しんだ。 				
					
実施日	12月9日	主催者	矢巾町活動交流センター	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	親子17名		
研修会	2023ウインターフェスティバル「12月星空観察会」				
テーマ	冬の星空観察について				
内容	<p>雨が降っていたが後半になり少しも時間だけ雨がやみ、木星を見ることができた。天文台より持参した望遠鏡で木星を観察した。ほんのわずかな時間だけに見れた星空だったので参加した人は木星を見れて感激した様子だった。</p>				
					
実施日	12月15日	主催者	盛岡市乙部地区公民館	アドバイザー	川村 寛晃
		対象	公募10名		
研修会	ミニ門松 手作り体験教室				
テーマ	自然素材のクラフト				
内容	<p>●門松づくりについて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹や松の葉、木の実などの天然素材を使ってミニ門松の作り方について説明。 ・ミニ門松に使う天然素材は、私たちの身近に存在する自然のものを多く使う。身近にそういったものが存在するので、是非、自然の恵みに興味を持ち、ご自分でも今後、作って欲しい。また大きな公園には、利用できる色々な樹木の葉や実があるので、そういった観点から自然を楽しんでみてはどうか。 ・また、先生が持ってきた材料をどこで探しているのか、どんな意味があるのかなどの説明を受けた。 <p>●門松づくり開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹や松の葉、木の実などの天然素材を使ってミニ門松の作り方について説明。 ・ミニ門松に使う天然素材は、私たちの身近に存在する自然のものを多く使う。身近にそういったものが存在するので、是非、自然の恵みに興味を持ち、ご自分でも今後、作って欲しい。また大きな公園には、利用できる色々な樹木の葉や実があるので、そういった観点から自然を楽しんでみてはどうか。 ・また、先生が持ってきた材料をどこで探しているのか、どんな意味があるのかなどの説明を受けた。 ・参加者は興味深く聞きいていた。 ・各自、材料となる竹や松の葉を思い思いに持っていき、作業に取りかかった。 ・ミニ門松の袴となる、畳表を仕上げるのに各参加者は苦勞していたが、最後にはコツを掴んだようで、きれいに出来上り、かわいらしく立派なミニ門松が出来上がったのが印象的だった。 				
 					
実施日	1月9日	主催者	盛岡市教育委員会 飯岡地区公民館	アドバイザー	川村 寛晃
		対象	17名		
研修会	小学生向けSDGs教室「“SDGs”って なあ～に？」				
テーマ	SDGs・箱庭づくり				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生にSDGsは難しいため、自然素材を使ったゲームやほこ庭工作をした。 ・ほこ庭の材料が良かったため、個性的な作品ができた。 ・自然素材の材料に触れることを通して、環境を考えるきっかけになれた。 				
					
実施日	1月19日	主催者	一関市公衆衛生組合連合会	アドバイザー	若生 和江
		対象	役員25名、事務局7名、合計32名（報道機関2社）		
研修会	公衆衛生組合連合会研修会				
テーマ	海洋ごみ・プラスチックごみ				
内容	<p>海洋ごみ・プラスチックごみについて</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 海洋ごみとは・海洋ごみ(漂着ごみ)の種類 (2) プラスチックごみによる自然環境及び生態系への影響やその 要因 (3) 取り組みの必要性と重要性について・私たちにもできる身近 な取り組み について <p>プラスチックごみについて、初めて学ぶ参加者が多く、熱心に聴講していた。プラスチックごみの減量化や一人一人の分別の重要性について再認識できたようだ。</p>				
					

実施日	2月6日	主催者	NPO法人フォーラム21	アドバイザー	若生 和江
		対象	エコ協力店いわて認定店(事業者)、行政(環境担当)など12名		
研修会	エコ協力店いわて認定制度意見交換会				
テーマ	消費者目線での環境にやさしいお店の利用				
内容	<p>(1) どういうところで、環境に配慮しているお店だなあと感じるか。 →リサイクルコーナーがいつも出しやすい環境に整えられている事や情報が見える化されていることなど →地域からの声を拾いそれにこたえる形での体操着リユースなどローカルで続けられる活動が地域のニーズに合っている点</p> <p>(2) 環境へのもうひと工夫のポイント →買い物や飲食の場面で、意識せずとも行動そのものがエコにつながるような行動変容につながるような取り組みが岩手でますます増えていくことを望む。</p>				
					

実施日	2月17日	主催者	岩手県キャンプ協会	アドバイザー	吉田 美幸
		対象			
研修会	第49回キャンプインストラクター養成講習会④				
テーマ	営火・星空観察・ナイトプログラム				
内容	<p>【吉田 美幸氏】 アウトドア活動における安全管理・刃物や火気の取扱い・野外炊事における衛生管理・夜の自然観察指導・キャンプの安全や夜間の屋外活動について 自然体験活動指導者を対象とした野外活動指導実習として、キャンプにおける夜のアクティビティと安全管理についてご指導頂いた。座学と実技を組み合わせたプログラムをご用意頂き、非常に好評であった。</p> <p>【吉田偉峰氏】 自然体験活動指導者を対象とした野外活動指導実習として、キャンプにおける自然への理解に関する理論講習を行った。自然体験指導に併せた環境教育やSDGsに関連する内容に加えて、近年の地球温暖化に伴う気候の傾向や注意すべき気象現象についても解説して頂いた。</p>				
					

実施日	2月20日	主催者	一戸地区センター	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	23名		
研修会	町民セミナー 一戸コース「古着リメイク講座」				
テーマ	古着リメイク				
内容	<p>講師が着物をリメイクした服をたくさん持ってきてくれたため、製作をしない参加者も各々服を着てみたり体にあてたりして楽しんでいる様子だった。着物を持ってきた人たちは途中まで製作していた。</p> <p>捨てるだけの着物や服をリメイクしてまた着られるようにするのはとても良いことだと研修を見て思った。講義形式よりも体験形式の方が参加者も集中して取り組めること、楽しめること等メリットがあるので大変良かった。</p>				
					

実施日	3月5日	主催者	いちのせき健康の森	アドバイザー	千田 典文
		対象	6名		
研修会	自然観察会「冬芽をみよう」				
テーマ	自然観察				
内容	<p>雪山を参加者とともにスノーシューをはいて散策しました。春を待つ木々の冬芽の観察を行いました。夏山では葉や花で木々の名称を判断できましたが、今回のお題は「冬芽」ですので夏とは違った形で理解を深めることができました。</p>				
 <p>講師はお馴染みの千田さん。(今回で勇退されます。残念)</p>					

令和5年度出張環境学習会実施一覧

環境学習広報車に環境学習キット等を積んで、県内のイベント・地域の学習会に出張しています。

番号	1	イベント名等	釜石自然・環境展
	主催団体	釜石市役所市民生活部生活環境課 環境保全係	
	日時	1日目: 令和5年6月3日(土) 10:00~17:00 2日目: 令和5年6月4日(日) 10:00~15:00	
	場所	イオンタウン釜石 イベントホール	
	参加者数	1日目: 253名 2日目: 108名	
	スタッフ	1日目: 齊藤 富美子・櫻井 則彰・坂下 慶夏 2日目: 齊藤 富美子・大石 光子・白澤 重則	
内容	テーマ: 自然・地球温暖化・エネルギー 内容: ・VRシアターごみについて知ろう! ・パネル展示 & 実物展示・3Rクイズコーナー・発電体験コーナー・森の工作館体験・新聞エコバッグ作り・積木体験・赤ちゃんも木のぬくもりを体験! ・温暖化ポスター掲示		
番号	2	イベント名等	花と緑の祭り
	主催団体	花と緑の祭り実行委員会事務局	
	日時	1日目: 令和5年6月9日(金) 10:00~16:00 2日目: 令和5年6月10日(土) 10:00~16:00 3日目: 令和5年6月11日(日) 10:00~15:00	
	場所	花巻市総合体育館	
	参加者数	6/9: 67名・6/10: 253名・6/11: 108名 合計428名	
	スタッフ	6/9: 齊藤 富美子・大石 光子・阿部 紘衣 6/10: 齊藤 富美子・櫻井 則彰・田近 志保子 6/11: 齊藤 富美子・櫻井 則彰・峠館 絵里	
内容	テーマ: 自然体験・地球温暖化 内容: 森の工作館(木の实を使った工作体験)・エコチェックアンケートの実施		
番号	3	イベント名等	【自主企画①】第69回岩手県公民館大会岩手地区大会
	主催団体	岩手県社会教育連絡協議会(事務局滝沢市)	
	日時	令和5年7月14日(金) 9:00~15:30	
	場所	ビッグルーフ滝沢 ホワイエ	
	参加者数	261名	
	スタッフ	齊藤 富美子・田近 志保子・推進員: 高橋 功氏	
内容	テーマ: 出展・事業説明・相談会 内容: 展示物: 比較発電体験・積木・水素カー・センターパネル・水素エネルギーパネル・木の実の工作・新聞エコバッグ・紙芝居・カードゲームクロスなど 資料の提供: 紙クリアファイルにセット(環境学習交流センター訪問学習・出張環境学習会プログラム・推進員派遣・アドバイザー派遣 ちらし・いわてエコアクション23夏編ちらし・環境学習講座7月・8月ちらし・温暖化センターリーフレット・新月カレンダー) 事業説明・相談会		
番号	4	イベント名等	岩手沿岸南部クリーンセンター令和5年施設見学会
	主催団体	岩手沿岸南部クリーンセンター	
	日時	令和5年7月22日(土) 10:00~15:00	
	場所	齊藤 富美子・櫻井 則彰	
	参加者数	一般97名	
	スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰	
内容	テーマ: ごみ問題・地球温暖化・エネルギー・自然環境・自然体験 間伐材の積み木・木の実の工作・3Rゴミクイズ・発電体験・エコチェックアンケートの実施		

番号	5	イベント名等	五葉湖畔の集い(森と湖に親しむ旬間行事)
	主催団体	沿岸広域振興局保健福祉環境部大船渡保健福祉センター	
	日時	令和5年7月23日(日)10:00~14:00	
	場所	鷹生ダム	
	参加者数	151名	
	スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰・坂下 慶夏	
内容	テーマ:自然環境・自然体験 間伐材の積み木・木の実の工作・3R・エコチェックアンケートの実施		
番号	6	イベント名等	【自主企画②】環境・エネルギー教室
	主催団体	川前学童保育クラブ	
	日時	令和5年7月25日(火)13:00~15:00	
	場所	川前学童保育クラブ	
	参加者数	児童41名 施設職員4名 合計45名	
	スタッフ	齊藤 富美子・坂下 慶夏	
内容	テーマ:地球温暖化・エネルギー 環境紙芝居「地球がたいへんだ〜」もてるかな?エネルギーのカバン・エネルギーを使わない遊び「エアカーリング制作&遊び」		
番号	7	イベント名等	川の楽校
	主催団体	川崎町子ども会育成連合会	
	日時	令和5年7月26日(水)13:00~15:00	
	場所	川崎市民センター	
	参加者数	児童16名・職員4名・図書館の方1名・ボランティア中学生1名・保護者9名・地域の会長1名 合計32名	
	スタッフ	齊藤 富美子・坂下 慶夏・田近 志保子	
内容	テーマ:地球温暖化・エネルギー・自然・3R・紙すき体験 発電体験・積木・紙すき体験・エコチェックアンケートの実施		
番号	8	イベント名等	ジュニア体験広場「こどもSDGs・すごろく体験」
	主催団体	宮古市田老公民館	
	日時	令和5年7月27日(木)14:00~15:30	
	場所	宮古市田老公民館	
	参加者数	児童9名 施設職員3名 合計12名	
	スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰	
内容	テーマ:SDGs・3R SDGsすごろく体験・新聞エコバッグづくり・エコチェックアンケートの実施		

番号	9	イベント名等	夏休★エコ体験教室
	主催団体	一関市環境生活課	
	日時	令和5年7月30日(日)14:00～15:30	
	場所	一関保健センター	
	参加者数	児童9名・保護者8名・一関市職員2名 取材者1名 合計20名	
	スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰	
内容	テーマ:SDGs・地球温暖化・エネルギー・ごみ問題 SDGs概要・環境紙芝居「地球が大変だ〜」・発電体験・3Rごみ問題クイズ・新聞エコバッグづくり・エコチェックアンケートの実施		
番号	10	イベント名等	【自主企画③】環境・エネルギー教室
	主催団体	ひかりの森学童クラブ	
	日時	令和5年8月1日(火)14:00～15:30	
	場所	ひかりの森学童クラブ	
	参加者数	児童40名 施設職員4名 合計45名	
	スタッフ	齊藤 富美子・坂下 慶夏	
内容	テーマ:地球温暖化・エネルギー 環境紙芝居「地球がたいへんだ〜」・もてるかな?エネルギーのカバン・エコチェックアンケートの実施・エネルギーを使わない遊び「エアカーリングを作ってみよう!」		
番号	11	イベント名等	第17回いわてクリーンセンター施設公開希少植物観察会
	主催団体	一般財団法人クリーンいわて事業団	
	日時	令和5年8月5日(土)9:30～13:30	
	場所	いわてクリーンセンター	
	参加者数	児童20名保護者・一般30名 職員15名 合計65名	
	スタッフ	齊藤 富美子・阿部 紘衣	
内容	テーマ:ごみ問題 環境紙芝居「ももたろう」・発電体験・積木エコチェックアンケートの実施		
番号	12	イベント名等	【自主企画④】WEBによるうちエコ診断講座
	主催団体	いわて生協にのへコープ	
	日時	令和5年8月7日(月)10:00～12:00	
	場所	二戸中央コミュニティーセンター(にこランス)	
	参加者数	5名 担当者1名 合計6名	
	スタッフ	齊藤 富美子・推進員花澤 淳氏	
内容	・うちエコ診断士によるWEB診断の実施 ・エネルギーについての体験実施:比較発電体験		
番号	13	イベント名等	いわて銀河フェスタ2023
	主催団体	奥州宇宙遊学館	
	日時	令和5年8月26日(土)10:00～16:00	
	場所	奥州宇宙遊学館屋外テント	
	参加者数	一般239名	
	スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰・阿部 紘衣	
内容	テーマ:地球温暖化・エネルギー・自然体験 内容:積木・発電体験キット一式・自転車発電体験 発電体験と連動した温暖化関連POP・資料の提供・景品の提供		

番号	14	イベント名等	久慈地方産業まつり
	主催団体	久慈市生活福祉部生活環境課	
	日時	令和5年10月14日(土)10:00~16:00	
	場所	久慈市文化会館(アンバーホール1階会議室)	
	参加者数	552名	
	スタッフ	齊藤 富美子・阿部 紘衣・推進員:川邊 弥生氏	
内容	テーマ:ごみ問題・リサイクル 内容:積み木・環境紙芝居・森の工作館・新聞バッグ作り・リサイクル封筒バッグ作り		
番号	15	イベント名等	令和5年度雫石町環境講座2023雫石産業まつり 環境展
	主催団体	雫石町町民環境対策室	
	日時	令和5年10月21日(土)9:30~16:00 令和5年10月22日(日)9:30~15:30	
	場所	雫石町民体育館	
	参加者数	1日目:559名、2日目:521名 合計1,080名	
	スタッフ	齊藤 富美子・櫻井則彰・峠館 絵里・坂下 慶夏・阿部 紘衣	
内容	テーマ:地球温暖化・エネルギー・自然環境・自然体験 内容:自転車発電体験・比較発電一式・エネルギーのかばん・積み木・パネル・エコチェックアンケート		
番号	16	イベント名等	川崎市民センター
	主催団体	川崎町子ども会育成連合会	
	日時	令和5年11月4日(土)13:00~16:00	
	場所	川崎市民センター	
	参加者数	83名	
	スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰	
内容	・テーマ:リサイクル・ごみ問題・地球温暖化・エネルギー・自然 ・内容:新聞エコバッグ作成&川崎町の包装紙の活用 積み木・エコチェックアンケートの実施		
番号	17	イベント名等	第50回ひらびり芸術文化祭
	主催団体	ひらびり地球温暖化対策地域協議会	
	日時	令和5年11月5日(日)9:00~15:00	
	場所	平泉町学習交流施設「エピカ」	
	参加者数	196名	
	スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰	
内容	・テーマ:リサイクル・ごみ問題・地球温暖化・エネルギー ・内容:パネルの展示子ども用3枚・大人用5枚・発電体験一式・エネルギーのかばん・エコチェックアンケートの実施。		

番号	18	イベント名等	小正月行事
	主催団体	前沢地区連合振興会	
	日時	令和56年1月5日(金)9:10~10:15	
	場所	前沢地区センター	
	参加者数	小学生20名	
	スタッフ	齊藤 富美子・櫻井 則彰	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ:リサイクル・ごみ問題・地球温暖化・エネルギー ・内容:環境紙芝居「ももたろう」よみきかせ・クイズラリー「ごみっしょん」・エコチェックアンケートの実施。 ・軽運動場でトランポリン体験エムズスポーツ様対応 ・ミズキ団子飾り付け 		

令和5年度流域活動支援実施状況一覧

10

「岩手県ふるさとの森と川と海の保全及び創造に関する条例」に基づく流域基本計画により、取り組みを推進するためのネットワークづくりや活動のコーディネート及び情報提供を行っています。

番号	1	イベント名等	郷土財活用湧き水エリア活動事業 ミズアオイの生息池をみんなで守りませんか！
	主催・協力	岩手県立大学総合政策学部島田研究室	
	日時	令和5年4月22日(土曜日) 9:30 ~ 12:00	
	場所	大槌町郷土財活用湧き水エリア	
	参加者	・釜石大槌住民・町職員・県沿岸広域振興局・三陸自然学校大槌 県立大槌高校はま研究会・三陸ジオパーク推進協議会・日本ビオトープ協会・県立大学生・岩手日報 など 合計40名	
	対応スタッフ	森 一夫・坂下 慶夏	
内容	<p>【ヤナギグループ】(池の周りにヤナギを植樹する担当)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 昨年根付かなかったヤナギの引き抜き作業 ② 近隣の大きなヤナギの木から枝をもらう ③ 枝の葉払い ④ ヤナギの根を水につける ⑤ ヤナギの枝を指定場所に植樹 ⑥ ヤナギの枝の植樹目印棒設置 <p>【攪乱グループ】(ミズアオイの攪乱担当)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 2つの池に分かれ作業開始 ② ガマを刈る&抜く ③ 攪乱作業 <p>●三陸鉄道大槌駅裏の「大槌町郷土財活用湧き水エリア」には、環境省の準絶滅危惧種に指定されるミズアオイが生息する。震災後、地中で半世紀以上眠っていた農薬耐性を持たない種が発芽した貴重な場所である。ミズアオイは種が土で覆われると発芽しないため、代かきのように人が土を混ぜる“かく乱作業”が必要となる。岩手県立大学総合政策学部島田研究室が主催する「郷土財活用湧き水エリア活動事業」が開かれた。大槌環境保全の会、三陸自然学校大槌、NPO法人日本ビオトープ協会、東京大学大気海洋大槌沿岸センター、多様なメンバー40人が集まり、池の土のかく乱、ミズアオイ観察のための木道作り、池の周辺にヤナギの繁殖地を造るための植樹活動に励んだ。</p>		

番号	2	イベント名等	根浜海岸林再生事業①
 	主催・協力	根浜海岸林再生実行委員会	
	日時	令和5年5月31日(水曜日)13:00～15:30	
	場所	釜石市立釜石東中学校	
	参加者	県立大学 島田先生・釜石東中学校1年生 教員の方・釜石市 産業振興部 商工観光課・環境アドバイザー加藤 直子氏 株式会社かまいしDMC 佐藤氏・釜石市立釜石東中学校 運営委員市川氏 合計50名	
	対応スタッフ	森 一夫・坂下 慶夏	
内容	<p>1年生 島田先生による「岩手の砂浜・根浜の砂浜と海辺の植物～海岸林・海浜植生～」についての講義と、ハマヒルガオの種子を削る作業。 2年生・昨年の振り返り・3グループごとに分かれて作業(ハマヒルガオ班、ハマナス班、ハマエンドウ班の3グループ) 【ハマヒルガオ班】 ①ポットに土を入れる 35ポット×2花かご ②1ポットに2個ずつ種子を蒔く 【ハマナス班】 ①プランター2つに土を入れる ②タネを蒔く 【ハマエンドウ班】 ①爪切りでハマエンドウに傷をつける ②残りの人はポットに土を入れる 35ポット×3花かご ③1ポットに2個ずつ種子を蒔く 【作業終了した人みんなで】 ①プランターから植物をバラバラにする ②残りの人はポットに土を入れて待機 ③残りの人はポットに植え替え ④水まき</p> <p>●島田先生の講義は、1年生が参加。震災当時、1歳・2歳だった彼らが、根浜海岸林再生の歴史を真剣に聞いている姿はとても感慨深い。2年生は、種まきをしました。昨年度の講義の様子を振り返った後、様々な種まきのやり方があり最初は戸惑いつつも、協力をしながら楽しく種まきを実施。プロジェクトが始まったころ、年3回だった根浜海岸林再生事業は、学校側の希望で年4回になった。地域に根差した取り組みが、形となっている。引き続き活動に参加し、根浜海岸林再生の様子、生徒たちの成長を見守りながら、連携し、活動を続け、広げていきたい。</p>		
番号	3	イベント名等	根浜海岸林再生事業②
	主催・協力	根浜海岸林再生実行委員会	
	日時	令和5年6月5日(月)13:00～15:30	
	場所	根浜海岸	
	参加者	釜石東中学校 全校生徒 1年生、2年生、3年生・県立大学 島田先生・教員の方・宝来館の女将・釜石DMC・地域の方(数名)・菊池写真館 合計120名	
	対応スタッフ	森 一夫・坂下 慶夏	
内容	<p>・事前打合せ(前回行った内容の確認や本日の活動内容等) ・生徒到着 スタッフの自己紹介と島田先生からの本日の作業説明 ・松林の草取り作業 ・浜辺のゴミ拾い</p> <p>●2回目の今回は、前半の75分で海岸林の草取り作業、後半の30分で浜辺の清掃活動を行いました。前半の草取りは、1年生、2年生、3年生と各箇所に分かれ作業を行いました。この時期になると、びっちり雑草の根が張り、根から抜くのはなかなか大変でしたが、生徒は3人4人でチームを組み、力を合わせて雑草を一生懸命抜く姿がとても印象的でした。昨年に比べ虫を怖がる生徒が少なく、手のひらに虫を乗せてみたり、虫の種類について話をしている生徒を多く見かけました。生物多様性の重要性に気づき始めている生徒も少しずつ増えてきているのかなと感じ、嬉しく思いました。</p> <p>参加者の皆さんのおかげであつという間に雑草がなくなりました。やはり3年生のエリアが一番綺麗で、さすが根浜海岸林再生事業3年目の実力でした。1年生も2年生も来月は負けないぞと今から気合いが入っていました。後半の浜辺の清掃活動は、地域の方が日常からゴミ拾いをしてくれているお陰で、ゴミはほとんどなく、綺麗な砂浜が保たれていました。それでも学生たちは、直径1cmのゴミでも見つけ、30分集中して海岸清掃に励んでました。</p> <p>東日本大震災で浜辺の9割を失った根浜海岸ですが、地域の方の力で海開きができるまでの海岸に戻り、前よりももっと素敵な場所を創造しようという思いに、毎度感動させられます。微力ながらも、継続的に支援を続けていきたいと強く思った一日でした。</p>		

番号	4	イベント名等	根浜海岸林再生事業③
	主催・協力	根浜海岸林再生実行委員会	
	日時	令和5年7月10日(月)10:00～15:30	
	場所	根浜海岸林	
	参加者	県立大学 島田先生・釜石市役所2名・釜石東中学校 全校生徒 1年生・2年生、3年生・教員の方・宝来館の女将・釜石DMC(数名)・菊池写真館 合計120名	
	対応スタッフ	森 一夫・坂下 慶夏	
内容	<p>・事前打合せ(前回行った内容の確認や本日の活動内容等)</p> <p>・生徒到着 スタッフの自己紹介と島田先生からの本日の作業説明</p> <p>・松林の草取り作業</p> <p>・浜辺のゴミ拾い</p> <p>●3回目の今回は、根浜海岸再生事業の看板設置作業と、松林の草取り作業を行いました。当初、浜辺のゴミ拾いを予定しておりましたが、地域の方が定期的に清掃を行って来たため、とても綺麗な浜が保てていました。</p> <p>午前中には、看板設置の準備作業を大人メンバーで行いました。つるはしで看板を設置する6箇所に30cmの穴を掘りました。箇所によっては石がたくさん敷いてあり、作業にとっても苦労しましたが、なんとかすべて穴を掘り終えることができました。午後は、生徒と一緒に草取り作業と看板設置作業を行いました。看板設置作業では、看板が曲がらないように、割れないように丁寧に作業をし、草取り作業では、普通の雑草と海浜植物が絡まっているのを解くという細かい作業が求められましたが、各自割り当てられた場所を炎天下の中、一生懸命責任をもって作業を行い、いつもより綺麗な根浜海岸になっていました。</p> <p>生徒の感想からも、「この達成感がたまらない!」「海開きが待ち遠しい!」「根浜最高!」という前向きな言葉が溢れ、今回も大人たちも生徒たちも気持ちの良い形で締めくくることができました。</p>		
番号	5	イベント名等	令和5年度盛岡広域管内流域協議会ワーキンググループ会議
	主催・協力	盛岡広域管内流域協議会	
	日時	令和5年8月7日(月)15:00～16:00	
	場所	盛岡地区合同庁舎8階大会議室	
	参加者	10名	
	対応スタッフ	櫻井 則彰	
内容	<p>1パートナー認定者をはじめとする地域活動への参加支援を希望する方への効果的な情報発信をどうするか?</p> <p>2協議会構成団体に関する情報発信の在り方はどうするか?</p> <p>3令和5年度以降の協議会の取り組みをどうするか?</p> <p>●上記3つの課題をテーマに話し合いが行われた。</p> <p>専門家による生態等の講座、シリアスゲームを活用したワークショップ、狩猟免許取得に向けた制度の紹介、アンケートの実施などの案が出された。</p>		

番号	6	イベント名等	根浜海岸林再生事業④
	主催・協力	根浜海岸林再生実行委員会	
	日時	令和5年7月10日(月)10:00～15:30	
	場所	根浜海岸	
	参加者	県立大学 島田先生, 釜石東中学校2年生(22名)校長先生、教員の方・地域の方(数名) 計50名程参加	
	対応スタッフ	森 一夫・坂下 慶夏	
	内容	<p>・スタッフ打合せ(前回行った内容の確認や本日の活動内容等)</p> <p>・生徒到着(スタッフの自己紹介と島田先生からの本日の作業説明)</p> <p>・作業</p> <p>●今年度第4回目の根浜海岸再生事業が終了しました。</p> <p>今回の作業は、草取り、柵のロープの取り付け、海浜植物の苗植えを行いました。常に蒸し暑い天気でしたが、途中途中で吹く浜風に癒されました。</p> <p>夏に2年生自身が種まきを行い、大事に育ててきた海浜植物が芽を出して、生徒自身もとても嬉しい&誇らしげな表情をしていて、スタッフの私たちもほっこりしました。</p> <p>前回までの全学年参加ではなく、今回は2年生のみの参加だったので、作業する範囲が多く大変なはずでしたが、2年生は文句も言わず、楽しくコミュニケーションを取りながら作業を行っていました。先生曰く、今までリードしてくれた3年生がいなくなって、自分たちが頑張っていこう。という責任感が生まれてきたからいつもよりスムーズに終わったのかな?と和かに語っていました。柵のロープの取り付けが大変な場面では、校長先生が一生懸命手伝ってくれる場面もありました。(写真参照) 生徒から「校長先生カッコいい～」と言われ、校長先生も幸せそうに活動を行っていました。</p> <p>今年度もあっという間に、根浜海岸再生事業が終わりました。私がこの事業に携わり始めたばかりの頃の中学1年生はあっという間に3年生になり、後輩に根浜海岸の大切さを伝える姿は非常に感慨深いですし、地域の宝を子供たちはじめ、地域で守っていく根浜海岸林再生事業の取り組みはとても素敵だなと再確認できた回でした。</p>	

番号	7	イベント名等	はまなすプロジェクト
	主催・協力	はまなすプロジェクト実行委員会(協力:岩手県立大学・根浜シーサイドオフィス・環境学習交流センター)	
	日時	令和5年11月3日(金・祝日)10:00~15:30	
	場所	根浜シーサイド・レストハウス&根浜海岸	
	参加者	岩手県立大学 島田先生、・根浜シーサイド・オフィス スタッフ×3名、地域 20名 森一夫 合計25名	
	対応スタッフ	森 一夫	
	内容	<p>1.作業説明 自己紹介および作業項目スケジュール説明を実施。</p> <p>(1)各自自己紹介 (2)作業事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はまなすの苗コンポスト植え替え作業、根浜海岸にはまなすの苗植樹作業、 ・根浜海岸の釜石東中作業エリア杭補強およびロープ敷設作業 <p>2. はまなすの苗コンポスト植え替え作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約30鉢の植え替えを実施。(一昨年苗の植え付けを行った苗の植え替え作業) ・はまなすの苗剪定作業実施。(不要な枝の剪定作業) <p>3. 根浜海岸にはまなすの苗植樹作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生育した苗22本を根浜海岸に植樹を実施。 (1)植え付け用穴掘り作業 (2)植樹作業 (3)水やり作業。 <p>4. 根浜海岸の釜石東中作業エリア杭補強およびロープ敷設作業</p> <ul style="list-style-type: none"> 残っていた一部エリアの杭打ち補強作業およびロープの敷設作業を実施。 (1)旧ロープと杭の撤去作業実施 (2)新杭の補強作業実施 (3)新ロープの敷設作業実施 <p>●今回、釜石根浜地区の住民の方達有志が催したプロジェクトに初めて参加したが皆とスムーズに連携出来た。(かまいたしDMCと連携できているおかげです。)</p> <p>お昼には、ひつまみ汁の炊き出しがありやさしい味付けで美味しくいただきました。御代わり自由も良かったです。参加者の皆さんお代わりしていました。</p> <p>釜石東中の皆さんが一生懸命草むしりして整備したエリアにセイタカアワダチソウが繁殖していたので、おおよそのものを抜き取り作業を行っています。(すぐに繁殖しますが…)</p> <p>一時しのぎですが、スッキリしました。今後も、機会があれば参加を継続したい。</p>	

- 岩手県地球温暖化防止活動推進センター



●いわてわんこ節電所 (<https://www.co2-diet.com/>)

11

「いわてわんこ節電所」とは、2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向けて、エネルギー消費の少ないライフスタイルへの転換を促進することを目的としたサイトです。

* 家庭のエコチェック

<https://www.co2-diet.com/home/>

普段の生活で取り組んだ省エネ行動によるCO₂削減量を、岩手県名物「わんこそば」の「わんこ」に見立てて積み重ねていく参加型の取組です。わんこが重なるほど、より多くのCO₂を減らせたということになります。

令和5年度実績(2023年4月1日～2024年3月31日)

のべ参加者数 10,604名
家庭の二酸化炭素削減数 386,601kg-CO₂

達成度としては、**レベル4「岩手山エリア」**まで到達することができました。



* 地球温暖化について知る

<https://www.co2-diet.com/home/>

地球温暖化のメカニズムや二酸化炭素の排出状況や、気候変動への適応策や、身近な省エネ行動などについて紹介しています。

* 最新情報をチェック！

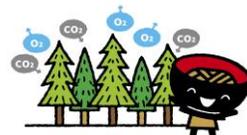
<https://www.co2-diet.com/topics/>

岩手県内外の温暖化に関する情報をお届けしています。

* ツール・ダウンロード

<https://www.co2-diet.com/tool/illustr/>

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向けて、地球温暖化対策を推進する取組について広報する場合に活用いただけるキャラクター「エコわんこきょうだい」や、啓発ポスターなどがダウンロードできます。また、岩手県が制作した地球温暖化などによる気候変動の影響と対策に関する動画も紹介しています。



* 地球温暖化を防ごう隊

<https://www.co2-diet.com/fusegoutai/>

岩手県の小学生が取り組む地球温暖化対策です。隊員に任命された小学生は、隊員ノートを使ってお家でできる身近な省エネなどに取り組みます。いわてわんこ節電所では、隊員の取組事例紹介などを行っています。令和5年度は2校の事例発表をホームページで発表しました。

①地球温暖化を防ごう隊事例発表 花巻市立湯口小学校

⇒<https://www.co2-diet.com/topics/detail.php?id=729>

②地球温暖化を防ごう隊事例発表 二戸市立御返地小学校

⇒<https://www.co2-diet.com/topics/detail.php?id=735>



花巻市立湯口小学校

二戸市立御返地小学校

いわてわんこ節電所『「家庭のエコチェック」プレゼントキャンペーン』2023

<https://www.aiina.jp/site/environment/7868.html>

日頃の省エネ行動によるCO₂削減量を確認できる「家庭のエコチェック」に参加すると、抽選でプレゼントが当たるキャンペーンを実施しました。【2023年7月10日～2024年01月10日 ※この期間で1ヶ月毎に実施・1月分は12月分にまとめました】
※いわてわんこ節電所のプレゼントキャンペーン賞品は、協賛企業提供商品です。
※令和5年度は全6回開催しました。

*いわてわんこ節電所ニュース

毎月15日に配信するメールニュース「いわてわんこ節電所ニュース」では、イベント情報やタイムリーなお知らせ記事を中心に掲載しています。

令和5年度 いわてわんこ節電所メールニューステーマ

4月号	◆《特集》 家庭のエコチェック、新年度スタート！
5月号	◆《特集》 宮古市、久慈市に続き、紫波町が「脱炭素先行地域」になりました！
6月号	◆《特集》 6月は環境月間！「テレビなどを消して読書・読み聞かせに取り組もう！」
7月号	◆《特集》 いわてエコアクション2023夏編「大募集！ エコな川柳 コンテスト」スタート！
8月号	◆《特集》 令和5年度全国型市場公募地方債について(グリーンボンド・5年)
9月号	◆《特集》 いわてプラごみ削減協力店 募集中！
10月号	◆《特集》 家庭のエコチェックプレゼントキャンペーン
11月号	◆《特集》 11月1日より「ウォームビズ」がスタートしました！
12月号	◆《特集》 いわてエコアクション2023冬編 大募集！ エコな川柳 コンテスト
1月号	◆《特集》 いわて脱炭素経営カルテ(地球温暖化対策計画書等)の公表及び優良事例の紹介について
2月号	◆《特集》 【環境省・国土交通省・経済産業省】住宅省エネ2024キャンペーン
3月号	◆《特集》 令和5年版 岩手県環境報告書について

●省エネ・節電キャンペーン

「省エネ・節電キャンペーン」は、岩手のみなさんの省エネ・節電活動を応援するキャンペーンです。

■キャンペーン概要

岩手県地球温暖化防止活動推進センターでは、ご家庭での省エネ行動を促進し、地球温暖化対策につなげるため、県民参加型の省エネ・節電キャンペーンを実施しています。(主催:温暖化防止いわて県民会議/岩手県/岩手県地球温暖化防止活動推進センター)

令和5年度は、県民の皆様にご協力いただき、エコやいわてらしさを込めた川柳を作るアクションをきっかけに啓発活動に取り組んでいただけるよう、「大募集!エコな川柳コンテスト」を夏・冬の合計2回実施しました。

いわてエコアクション2023夏編 大募集!エコな川柳 コンテスト

期間:令和5年7月15日 ~ 令和5年9月30日

応募総数:194作品

(1)作品について

【提出方法】キャンペーン応募フォーム・ハガキ(郵送)・お手紙・FAX・メール・センター内の応募箱

【内訳】

- ・キャンペーン応募フォーム 107作品
- ・ハガキ・お手紙 48作品
- ・FAX 3作品
- ・メール 7作品
- ・センター内の応募箱 29作品

▼Webページ



▼チラシデザイン



最優秀賞 賞品:岩手県産米(県産米 5,000円分)

最優秀賞の選考および優秀賞作品選評は、岩手県川柳連盟理事長/いわて紫波川柳社主幹の熊谷岳郎(くまがいがくろう)様にお願しました。最優秀賞1名様には岩手県産米5,000円分、入賞者10名様にはクオカード1,000円分を差し上げました。

べっこでも(少しでも) みんなでやれば かい(大きい)エコ	号(ニックネームまたは氏名) WEB 藤本 千二 様 <選評> 皆でやればなんとかなで、一人では微々たるものですが、皆でやれば積もり積もるものです。エコ活動も、一人一人の自覚と行動が大事だと思います。
-------------------------------------	---

いわてエコアクション2023冬編 大募集!エコな川柳 コンテスト

期間:令和5年12月1日 ~ 令和6年1月31日

応募総数:476作品

(1)作品について

【提出方法】キャンペーン応募フォーム・ハガキ(郵送)・お手紙・FAX・メール・センター内の応募箱

【内訳】

- ・キャンペーン応募フォーム 333作品
- ・ハガキ・お手紙 62作品
- ・FAX 61作品
- ・メール 6作品
- ・センター内の応募箱 14作品

▼Webページ



▼チラシデザイン



最優秀賞 賞品:岩手県産米(県産米 5,000円分)

最優秀賞の選考および優秀賞作品選評につきましては、岩手県川柳連盟理事長/いわて紫波川柳社主幹の熊谷岳郎(くまがいがくろう)様にお願いたしました。最優秀賞1名様には岩手県産米5,000円分、入賞者10名様にはクオカード1,000円分を差し上げました。

道を歩けば 福寿草	号(ニックネームまたは氏名) WEB かずちゃん 様 <選評> 排気ガスとはさよならし、歩くことになりました。周りが良く見えるようになりました。運転のリスクもありません。「あっ福寿草だ!」歩きは律ばかりではなく心も健康にしてくれそうです。
--------------	--

令和5年度岩手県地球温暖化防止活動推進員派遣状況一覧

地球温暖化防止活動推進員(以下「推進員」という。)が、地域において地球温暖化の現状や地球温暖化防止に関する知識の普及など地球温暖化対策を推進する活動。

実施日	4月8日	主催者	ナチュラルママの会 をむすび	推進員	伊藤 信子
		対象	子育てサークル会員3名		
研修会	環境にやさしい食のお話と料理教室				
テーマ	親世代に伝えたい未来への食				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・食と環境の関係について ・地球にも体にも優しい「ビーガン」とは? ・ビーガンと健康・栄養について ・岩手の伝統食材でもある雑穀を使って簡単に作れるビーガン料理とノーシュガースイーツのデモンストレーションと試食 				
実施日	4月22日	主催者	盛岡市環境部環境企画課	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般36名		
研修会	環境学習講座「春の夜空を観察しようin盛岡星まつり」				
テーマ	光害・星空環境				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の星空環境と季節の星々 ・光害と地域のエネルギー消費 ・地域の星空環境の現状や光害とエネルギー消費の関係について説明。 ・星空観察会にも連携し、盛岡の星空環境を理解する機会となった。 				
					
実施日	4月26日	主催者	一関市食生活改善推進員協議会 大東支部	推進員	若生 和江
		対象	一関市食生活改善推進員協議会大東支部会員40名		
研修会	一関市食生活改善推進員協議会大東支部 全体研修会				
テーマ	食生活を通じたSDGsと食生活改善推進員に期待すること				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについての基本的な理解 ・家庭や地域における取り組み ・食生活改善推進員の活動に活かせるSDGsの視点 <p>身近な事例を組み込みながらSDGsへの理解が深まるようにし、現在の地域の様子やこれまでの活動が今後の活動につながるようきっかけとなる投げかけを行った。今後は、地域の中でつながりあったり話し合える場を作りながら 少しずつでもいいから地域に根差した活動が続くことを期待する。・小さくても、行動する事…の呼び水になればうれしい。</p>				
実施日	5月2日	主催者	岩手県立不來方高等学校	推進員	櫻井 則彰
		対象	2年生273名		
研修会	第2学年総合的な探究の時間 SDGs講習会				
テーマ	SDGs				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・PTTを用い地球温暖化の現状、CO2排出の増大により産業革命以降の世界平均気温の上昇が1.2°Cになり、パリ協定の2.0°C、できれば1.5°Cに抑えたいとする目標が困難になりつつある。同時に生物多様性の喪失、プラネタリーバウンダリを超えた人間の事業活動による影響が地球環境を悪化させている。これらを是正する意味で2015国連がSDGsを採択した。SDGsの眼目、Transform our Worldであり、世界の変革が求められている。担い手は、あなたたち若い人であることを訴えた。 ・SDGsでお話ししようのワークショップ課題を出し4人グループが互いに意見を出し合うワークを実施。時間の関係から5題ほどテーマを出しグループ内で話し合った。 				
実施日	5月7日	主催者	岩手県キャンプ協会	推進員	吉田 偉峰
		対象	11名		
研修会	第49回キャンプインストラクター養成講習会①				
テーマ	自然体験指導・環境教育・温暖化				
内容(推進員より)	<p>自然体験活動における環境教育 自然観察などの体験活動に絡めた気候変動やSDGs要素の導入 自然観察や各種体験活動に併せた環境教育的な導入について、説明し、身近な自然から地球環境を意識する手法について、意見を交わした。</p>				

実施日	5月22日	主催者	矢巾町立徳田児童館	推進員	櫻井 則彰
		対象	小学生20名 児童館職員3名 矢巾町民生児童委員8名 合計31名		
研修会	徳田こどもエコクラブ				
テーマ	SDGs・温暖化				
内容(推進員より)	<p>・SDGsの概要(No.1,2,6,11,12,13)と地球温暖化の現状、私たちが温暖化防止のためにできることは何か？を中心にスライドを交え1時間ほどの講話を行う。私達日本人がいかにお話されているか。世界には、さまざまな条件下で暮らさなければならない人がいることをお話しする。</p> <p>・今回はうんこ先生のお話しを取り入れる。うんこ先生は子どもたちの誰もが知るキャラクターで、先日全国ネットが実施した各地域センターのお知らせしたいアイテムの中で紹介があった。これをさっそく使用した。</p> <p>・発電体験(LED電球と白熱電球の違い)を最後に全員に体験してもらう。大人も夢中になって体験し電力使用量の違いを理解した。</p> <p>・小学校1年生～6年生と年齢幅が広く、話の中心をどこにすべきか。理解が難しい部分があるかと思われた。主催者より低学年に合わせてもらいたいとの要望から、その趣旨に沿ってわかりやすさを心がけた講話を行った。</p>				
					
実施日	6月1日	主催者	奥州市 市民環境部 生活環境課	推進員	若生 和江
		対象	岩手県立水沢工業高等学校 機械科3学年5名 教諭1名 合計6名		
研修会	奥州市環境学習事業「SDGsに関する学習会」				
テーマ	SDGs				
内容(推進員より)	<p>SDGsに関する学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 ・日常の中での関わりと個人としてできること ・水工生としてのスキルを活かしてできること ・地域の人達 とつながり、パートナーシップで課題解決にあたること 				
					
実施日	6月2日	主催者	奥州市 市民環境部 生活環境課	推進員	若生 和江
		対象	奥州市立若柳小学校4学年18名 教諭1名 合計19名		
研修会	ごみ・リサイクルに関する学習会				
テーマ	ごみ・リサイクル				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみとリサイクルの何が課題かを考える ・分別体験を通じ、やってみるにつなげる ・家庭や学校で、リサイクルやごみ減量に取り組むきっかけをつくる 				
					
実施日	6/3・6/4	主催者	奥州いえ博 プロジェクト	推進員	小堀 啓
		対象	一般10組(20名)		
研修会	奥州いえ博6月イベント				
テーマ	環境・省エネなど				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者及び出展者に対する省エネ相談対応 ・ZEH、住宅の外皮性能について ・太陽光発電、蓄電池について ・エコキュートについて ・EV、充電ステーションについて 				
					
実施日	6/7・6/8	主催者	矢巾町 町民環境課	推進員	若生 和江
		対象	矢巾町立煙山小学校4学年1～4組112名		
6月8日	令和5年度環境学習				
テーマ	ごみ・リサイクル				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみってなんだろう？ ごみが増えた背景を知る ・ごみとリサイクルの何が課題かを考える ・分別体験を通じ、やってみるにつなげる ・家庭や学校で、リサイクルやごみ減量に取り組むきっかけをつくる <p>* 矢巾町での今後の活動に結び付けられるよう、役場職員の片山さんのご協力をいただき、町内の分別の方法に従って分別した。</p>				
					

実施日	6月10日	主催者	岩手県キャンプ協会	推進員	吉田 偉峰
		対象	13名		
研修会	第49回キャンプインストラクター養成講習会②				
テーマ	野外活動指導・環境教育・温暖化				
内容(推進員より)	自然体験活動における環境教育 自然観察などの安全管理に関わる気候変動や気象防災				
実施日	6月10日	主催者	七時雨山荘	推進員	吉田 偉峰
		対象	18名		
研修会	星を見る会				
テーマ	星空観察・星空環境・光害・温暖化防止				
内容(推進員より)	地域の星空環境と季節の星々・光害と地域のエネルギー消費等の相関について 春～夏の星空と当日の夜空の暗さ・環境月間について				
実施日	6月17日	主催者	やはぱーくにじいろモール	推進員	柳谷 信吾
		対象	親子15組30名		
研修会	やはぱーくにじいろモール星空観察会				
テーマ	星空環境について				
内容(推進員より)	親子(小学生以下)を対象にイベントを開催し、星座環境を知っていただく。 町が明るいとう星空が見えない。(光害)を含めてお話ししました。				
					
実施日	6月19日	主催者	みんなで防災友の会		粒針 文子
		対象	50代～80代一般県民10名		
研修会	実践SDGs～自分にできることを考えよう～				
テーマ	SDGs				
内容(推進員より)	<p>集合場所から中津川周辺の市内を歩きながらSDGsと書かれたものを探してもらいました。市役所や県庁、県民会館に銀行、コンビニなどどれだけ身近にSDGsを伝えようとするものがあっても実際に何を伝えようとしているかがわからない、それが何よりの問題だからです。まずはただのキャンペーンではなく目標という話をしました。</p> <p>たとえば地球温暖化で大規模災害が頻発しているということ、ロシアとウクライナの戦争が長引き、世界的にエネルギーや食糧の価格が高騰していること、しかも世界の人口は増加していること、それだけでも貧困は増えると誰でも予想はつくと思います。参加した皆さんと歩きながら入手したSDGsのチラシや取り組みの説明文から何が読み取れたかを話してもらったいろいろな感想がありました。</p> <p>経済と気候変動と生態系やインフラ、LGBTQのすべてを一人一人が自分事として考えるのは実はとても大変です。SDGsの示すゴールは結果ではなく目標と翻訳されている意味をよくよく考え、次世代以降への目標が少しでも達成できるようにする大切さをお伝えしました。</p> <p>ちなみに盛岡市がパートナーシップ制度を採択したのは皆さんの発見だったようです。</p>				
実施日	6月21日	主催者	黒沢尻西地区自治協議会		川邊 弥生
		対象	西小学校5年生72名 教職員5名 自治協議会スタッフ3名		
研修会	黒沢尻西小学校 家庭教育学級5年環境学習				
テーマ	SDGsについて				
内容(推進員より)	<p>地球温暖化の現状と対策について。</p> <p>児童は昨年に北上市のエコチャレンジを夏休み中、家族と節電や節水に取り組んでいます。ゴミの減量によるCO2削減や給食の食べ残しもなくする事で食品ロスも減らせる。マイクロプラスチックゴミについて説明。</p> <p>SDGsは17の目標と169の項目があり2030年までに、世界のすべての人が取り残されずに、安全安心な人間らしい暮らしができることや地球に住み続けられるよう環境問題も解決・改善することを目指している。</p>				

実施日	6月21日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	推進員	花澤 淳・若生 和江
		対象	協和学院1学年124名、教諭6名程度		
研修会		奥州市環境学習事業(SDGsに関する学習会)			
テーマ		SDGsに関する学習会			
内容(推進員より)		奥州市環境学習事業「SDGsに関する学習会」のなかで、アクションカードゲームクロス体験学習(40分)の司会進行を担当した。最初にゲームについて10分程解説し、その後15分ゲームを行い、残り15分を発表の時間とした。ゲームは6人1グループの全20グループで行い、ゲーム中に他の推進員1名と主催者側1名の計4名でアドバイス等のサポートを実施した。			
					
実施日	6月21日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	推進員	若生 和江
		対象	奥州市立真城小学校 4学年38名 教諭2名 合計40名		
研修会		奥州市環境学習事業(ごみ・リサイクルに関する学習会)			
テーマ		ごみ・リサイクル			
内容(推進員より)		「ごみ」ってなんだろう？ 「地球」がごみで大変に・・・ 「ごみ」が増えるとなぜ困る？ 「ごみ」を減らすと資源を活かす「リサイクル」 ・分別体験→確かめてみよう。			
					
実施日	6月23日	主催者	花巻市立湯口中学校	推進員	櫻井 則彰
		対象	中学2年生22名		
研修会		SDGs研修会			
テーマ		SDGsについて			
内容(推進員より)		<ul style="list-style-type: none"> ・動画を含むスライドにてSDGsが始まるに至った背景、世界のさまざまな困難な事象を解説。 ・特に地球温暖化、プラスチックの海洋汚染、人口増、エネルギー消費の増大による環境の悪化が重大な課題であることを知らせる。 ・温暖化に対しては適応策が重要であることを話す。 ・エネルギーを大量消費する私たちの暮らしを見直す必要性を訴えた。 			
実施日	6月24日	主催者	岩手県 & 京都の文化交流の KIZUNA 事務局	推進員	櫻井 則彰
		対象	一般県民10名		
研修会		SDGs について(環境問題)			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		<ul style="list-style-type: none"> ・動画を含むスライドにてSDGsが始まるに至った背景、世界のさまざまな困難な事象を解説。 ・特に地球温暖化、プラスチックの海洋汚染、人口増、エネルギー消費の増大による環境の悪化、生物多様性の喪失等が重大な課題で温暖化に対しては適応策が重要であることを話した。 ・エネルギーを大量消費する私たちの暮らしを見直す必要性を訴えた。 ・SDGsトークを実施、身近な行動がSDGsに直結することを参加者に伝えた。 			
実施日	6月28日	主催者	遠野市総務企画部経営企画課	推進員	櫻井 則彰
		対象	遠野市立綾織小学校児童7名+教師3名 合計10名		
研修会		学ぶ・考える・賢く使う！エネルギー学習プログラム			
テーマ		再生可能エネルギーについて			
内容(推進員より)		<ul style="list-style-type: none"> ・メインテーマ：電気は誰がどのような仕組みで作っているのか？ ・発電機とモーターの構造の違い、電池で回るモーター、逆にモーターを回すとどうなるか？手回し発電機の仕組み、手回し発電機を2個つなげた実験とエネルギーのロスとはどういうことか。さまざまな発電の方法を知る。火力発電と温暖化の関係、自然エネルギーは運転中はCO₂を発生させない。遠野市が取り組もうとしている小水力発電、SDGs7番のエネルギーをクリーンにの目標に対してどうすればよいのか。節電、省エネに向けて私たちができることは何か。 ・緩和と適応の考え方と具体的な行動などを実験、画像(動画を交えて)による分かりやすく話す。 ・東北電力から拝借した手回し発電機3台による安定した電気の作り方が難しいことの実験を通して電気エネルギーの大切さ、省エネの大切さを訴えた。 			
					

実施日	7月2日	主催者	老松みどりの郷協議会	推進員	川邊 弥生
		対象	31名		
研修会		生活環境講演会			
テーマ		地球にやさしくお得に暮らすために			
内容(推進員より)		「地球にやさしくお得に暮らすために」をテーマに、ごみ分別と省エネのコツについて講演と風呂敷のさまざまな包み方を教えた。			
					
実施日	7月12日	主催者	花巻市立湯口小学校	推進員	川邊 弥生
		対象	5年生児童36名 教員2名		
研修会		地球温暖化を守り隊事前学習			
テーマ		地球温暖化の仕組みやその影響について			
内容(推進員より)		地球温暖化防ごう隊の事前学習会で地球温暖化への理解を深める。 地球温暖化の最新情報～2100年未来の地球と私たちの暮らし～をパワーポイントで説明。 温暖化とは？世界の平均気温上昇は？温暖化の影響でどんなことが実際に起こっているか？気温上昇を2度未満に抑えるために？温暖化に対して私たちは何が出来るか？ クールチョイスクイズをみんなで考えよう。レジ袋の削減やマイクロプラスチック問題。 はちどりのひとしづく読み聞かせ。			
実施日	7月13日	主催者	就労移行支援事業所ココエール	推進員	櫻井 則彰
		対象	就労移行支援事業所ココエールの利用者とその職員16名		
研修会		SDGs講座			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		<ul style="list-style-type: none"> ・動画を含むスライドにてSDGsが始まるに至った背景、世界のさまざまな課題を解説、特に地球温暖化、パリ協定、各国の温室効果ガス削減目標を合わせた2030年、2050年の世界の気温上昇などを解説。プラスチックの海洋汚染、人口増、エネルギー消費の増大による環境の悪化が重大な局面にさしかかりつつあることを知らせる。 ・温暖化に対しては適応策が重要であることを話す。 ・エネルギーを大量消費する私たちの暮らしを見直す必要性を訴える。 ・SDGsトークの実施によりグループ内で様々な課題を話し合う。 			
実施日	7月14日	主催者	岩手県社会教育連絡協議会	推進員	高橋 功
		対象	岩手県並びに市町村の社会教育・生涯学習担当・地区センター所轄の方261名		
研修会		第69回岩手県公民館大会岩手地区大会			
テーマ		地球温暖化・エネルギー(発電体験・水素エネルギー体験・エコチェックアンケートの実施)			
内容(推進員より)		会場入口前にブースを出展し、来場された方々に水素カーと世界最小のソーラーカーを体験していただき、それぞれの仕組みをはじめ、長所や工夫が必要な点について理解を深めていただいた。水素カーの仕組みやソーラーカーの仕組みについて熱心に質問して下さる方も多くいて、理解を深めていただくためのきっかけづくりができた。			
					
実施日	7月18日	主催者	盛岡市立太田小学校	推進員	櫻井 則彰
		対象	4年生児童11名 教員4名		
研修会		地球温暖化について学ぼう！SDGsについて学ぼう！			
テーマ		地球温暖化・SDGs			
内容(推進員より)		<ul style="list-style-type: none"> ・電気はどうやって作るのか？さまざまな方法があること。 ・電池とモーター、発電機とモーターの関係、電力会社の発電機はどんな方法で回しているのか。水力、風力、バイオマス、火力発電、日本は火力発電が多くを占めるためCO₂が発生する。 ・私たちの便利な暮らしの中でもエネルギーの大量使用によりCO₂が発生している。 ・各種発電キットによる自分で電気エネルギーを作ってみる ・2時間目はSDGsと私たちの暮らし。何故今SDGsなのか？世界の現状はどうなっているのかを解説。 ・水道の水を直接飲める国はいくつあるか？トイレが家がない状態が多くであること、食料のがなく餓死する人が一方、大量の食物が捨てられる現実について。 ・プラスチックの海洋汚染と3Rの大切さなどを動画を交えたスライドで解説。 			

実施日	7月20日	主催者	久慈消費生活センター	推進員	伊藤 信子
		対象	14名		
研修会		消費者力アップ講習会			
テーマ		地球と体にやさしいヴィーガン入門			
内容(推進員より)	『地球と体にやさしいヴィーガン入門』と題して、食と環境や健康との関係、そもそもヴィーガンとは？その歴史的背景、日本型ヴィーガンのすすめ、など、講義の他、試食や短い動画なども交えながらお伝えしました。				
実施日	7月22日	主催者	岩手県企業局	推進員	高橋 功
		対象	公募の施設見学会参加者 14名(高森高原)		
研修会		岩手県企業局施設見学会公募			
テーマ		再生可能エネルギー			
内容(推進員より)	地球温暖化を防ごう隊員ノートと、手づくりのビック本やダンボールで作った道具を使い、温暖化のしくみをはじめ、エアコン、照明器具、テレビ、冷蔵庫などの節電対策についてお話させていただいた。 また、主催者が準備した「風力発電工作キット」を使い、ペットボトル風力発電をつくり、風力発電についての理解を深めていただいた。				
実施日	7月22日	主催者	岩手県企業局	推進員	高橋 良和
		対象	公募の施設見学会参加者午前と午後の2回開催。10名×2 合計20名		
研修会		岩手県企業局施設見学会(岩洞湖)			
テーマ		再生可能エネルギー			
内容(推進員より)	午前と午後の2回開催。いずれも再生可能エネルギーの概略説明を主に担当。小2もいるので、子どもに環境にやさしい行動を何かしているのかを聞き、環境への親しみを持たせた。 解説として、 ①再生可能エネルギーとは⇒自然の力で補充されていく(再生可能な)エネルギー全般のことで、太陽・風力・水力などがある。 ②化石燃料エネルギーとは⇒石油や石炭、天然ガスなど限りがあるエネルギーのこと。CO ₂ の排出量が多く枯渇の恐れがある。大量に化石燃料を使い続けると地球温暖化につながる。 ③全参加者には、今、どのような環境行動をすればいいのか考えてもらう⇒具体的に、電気や熱などのエネルギーを節約し、使用量を減らすことです。つまり「省エネルギー行動をとること」と話す。県が主導する再生可能エネルギー発電について、私たちはそれを応援し、例えば再生エネ電力購入に切り替えることもできる。しかし最も必要な行動は、「省エネ」の生活を常に心がけ実行し続けることが大事であると伝えた。				
実施日	7月25日	主催者	川前学童保育クラブ	推進員	高橋 功
		対象	学童保育クラブ利用の小学生40名 施設職員3名 合計43名		
研修会		環境・エネルギー教室			
テーマ		環境・エネルギー			
内容(推進員より)	温暖化について学ぼう！「わくわくエネルギー教室」と題し、温暖化のしくみをはじめ、エアコン、照明器具、テレビ、冷蔵庫など、手づくりの道具に触れるなどしながら、省エネルギーについて考えていただいた。 また、エコなあそびとして、エアカーリングをつくって遊んでいただいた。				
実施日	7月28日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 良和
		対象	事業所のエコスタッフ39名		
研修会		令和5年度 エコスタッフ養成セミナー(奥州市)(県南広域振興局 保険福祉環境部)			
テーマ		エコドライブ			
内容(推進員より)	①エコドライブの講演では、省エネ活動の考え方やポイントを、日常事例にまで範囲を広げ、省エネ活動の必要性を伝える。また、燃費改善で満足することなく、健康や楽しみを伴った温暖化防止活動を行い、これが持続可能な活動になると、自身の体験事例を伝えた。 ②グループ討議では、各グループに入り、関連する助言や質問を受ける。 ③討議発表会では、自身の経験をもとにできるだけ具体的な講評を心掛けた。今後参加者が会社で行動する場合、各種環境データを基にした提言の大切さを伝える。最後に、グループ内で名刺交換等を行い、後日良い繋がりが持てるよう、この講習会活用の意義を伝える。				

実施日	8月1日	主催者	ひかりの森学童保育クラブ	推進員	高橋 功
		対象	ひかりの森学童保育クラブ利用の児童40名 施設職員4名 合計44名		
研修会			環境・エネルギー教室		
テーマ			環境・エネルギー		
内容(推進員より)			温暖化について学ぼう!「わくわくエネルギー教室」と題し、温暖化のしくみをはじめ、エアコン、照明器具、テレビ、冷蔵庫など、手づくりの道具に触れるなどしながら、省エネルギーについて考えていただいた。 また、エコなあそびとして、エアカーリングをつくって遊んでいただいた。		
実施日	8月3日	主催者	みんなの家	推進員	若生 和江
		対象	小学生とボランティア22名		
研修会			みんなの家 特別企画 夏のわくわくクッキング2023		
テーマ			エコクッキング		
内容(推進員より)			・「夏野菜で夏ごはん」旬・ロスを減らすには… ・安心、おいしい調理のポイントを学びおうちで作ってみるにつなげる。 ・「SDGs」について日本に生まれた事自分自身の存在の大切さに気付く。 ・そこから、他者の気持ちを考えたり持続可能について考える。		
実施日	8月7日	主催者	いわて生協にのへコープ	推進員	花澤 淳
		対象	生協関係者6名		
研修会			うちエコ診断講座		
テーマ			家庭のエコ診断WEB		
内容(推進員より)			「うちエコ診断講座」として、各自のスマートフォンで「うちエコ診断WEBサービス」を利用して家庭のエコ診断を実施した。最初にうちエコ診断について簡単に説明した後、参加者とともにWEB診断を進めていった。電気代やガス代、灯油代、ガソリン代から、自分が平均と比較してどれだけエネルギーを消費しているかを見える化し、家庭のどこからどれくらいのCO ₂ が出ているかを認識してもらい、その後に、分野を絞って対策を選択していった。最後に、参加者全員に診断結果を簡単に発表してもらい、それぞれ選んだ対策等を共有した。		
実施日	8月7日	主催者	NPOいわて総合支援センター風の子くらぶ	推進員	高橋 功
		対象	クラブを利用の小学生1年～6年迄19名・関係者5名 合計24名		
研修会			知ろう!学ぼう!体験しよう!地球温暖化～楽しく作って遊んでみよう～		
テーマ			地球温暖化・エネルギー		
内容(推進員より)			温暖化について学ぼう!「わくわくエネルギー教室」と題し、温暖化のしくみをはじめ、エアコン、照明器具、テレビ、冷蔵庫など、ダンボールでつくった手づくりの道具に触れるなどしながら、省エネルギーについて考えていただいた。 また、エコなあそびとして、エアカーリングをつくって遊んでいただいた。		
実施日	8月11日	主催者	株式会社柴田産業	推進員	柴田 弥優羽
		対象	30名		
研修会			社内安全大会		
テーマ			バイオマスエネルギーについて		
内容(推進員より)			カーボンオフセットについての説明 ・植林活動によって吸収された二酸化炭素の量が人間何人分の排出した二酸化炭素になるか。(柴田産業の植林面積のデータを事前にいただきました) ・製材に固定された二酸化炭素の量が人間何人分の排出した二酸化炭素になるか。(同じく年間製材立方数のデータを事前にいただきました)		
実施日	8月11日	主催者	七時雨山荘	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般8名		
研修会			星を見る会		
テーマ			星空観察・星空環境・光害・温暖化防止		
内容(推進員より)			参加者には岩手および八幡平市の夜空の素晴らしさを県内外の方に知っていただくことができました。		

実施日	8月17日	主催者	大東ポールウォーキング倶楽部	推進員	佐々木 勝裕
		対象	22名		
研修会	大東ポールウォーキング倶楽部				
テーマ	気候変動と私たちの生活				
内容(推進員より)	<p>初めに:身の回りで起きていること 1:2023年7月15日～16日、秋田市街地での浸水被害 2:気象災害から身を守るには 3:地球を冷やすためには 結び:人新世(アントロポセン)とはの予定に加え、直前の沿岸部に発表された記録的短時間大雨情報</p>				
					
実施日	8月27日	主催者	岩手県立県北青少年の家	推進員	吉田 偉峰
		対象	公募84名		
研修会	令和5年度「プラネタリウム感謝デー①」				
テーマ	夏の星座についての解説				
内容(推進員より)	<p>コロナ感染対策の緩和により、今年度は上限各回50名の定員で実施した。夏の星や星座の見つけ方、その星座にまつわる神話等をお話しいただいた。また、カシオペア連邦の名前の由来のお話や現在の地球環境温暖化の影響が星を見にくくし、星空の観察に与える影響を与えているなど、普段なかなか知ることのできないたくさんのお話をいただいた。専門的なお話をどの世代にも分かりやすく説明していただき、参加者は、とても満足していた。</p>				
実施日	8月29日	主催者	岩手県県南広域振興局保健福祉環境部 一関保健福祉環境センター	推進員	櫻井 則彰
		対象	いわい地域流域協議会会員4名 関連する役所職員12名 合計16名		
研修会	令和5年度いわい地域流域協議会及び連携交流会				
テーマ	グリーントランスフォーメーション(GX)について				
内容(推進員より)	<p>・グリーントランスフォーメーション(GX)について (1) 近年注目されているグリーントランスフォーメーション(GX:グリーンエネルギー(太陽光発電や風力発電等)への変換を目途とした取組)に関する情報提供、(2) 流域基本計画の根幹となる森川海の保全とグリーントランスフォーメーション(GX)を並行して進めていく際のポイント等について ・PPTを用いGXの動向、これに関わる課題を伝達。世界のエネルギー事情が緊迫する中、脱炭素、GXはどの国も最重要課題となる。わが国もGX推進法、GX脱炭素電源法が今年5月に成立した。推進にかかる各種課題を伝達。</p>				
実施日	8月30日	主催者	盛岡市立大慈寺小学校	推進員	高橋 功
		対象	小学校4年生21名 先生1名 合計22名		
研修会	地球温暖化を防ごう隊事前学習				
テーマ	地球温暖化				
内容(推進員より)	<p>地球温暖化を防ごう隊員ノートと、手づくりのビック本やダンボールで作った道具を使い、温暖化のしくみをはじめ、照明器具、テレビ、冷蔵庫などの節電対策についてお話させていただきました。 また、これから台風シーズンに入ることから、倒木などで「切れた電線には絶対触らない」ことについて、手づくりの道具を使った“実験を通して”理解を深めていただいた。</p>				
					
実施日	8月30日	主催者	花巻市シニア大学	推進員	川邊 弥生
		対象	高齢者大学くらしコース11名 スタッフ2名 合計13名		
研修会	花巻市シニア大学修学院選択学習(暮しコース)				
テーマ	レジ袋削減「エコ風呂敷活用」講座				
内容(推進員より)	<p>SDGsとは?パワーポイントで紹介しました。17のゴールと169のターゲットについて。生活の中で私たちにできること。また、身近なごみについては県のごみ速報値より現状を紹介し、ごみを減らすための分別やりサイクルについて。休憩の後で風呂敷の講座・包み方の実践を行いました。</p>				

実施日	9月4日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	推進員	若生 和江
		対象	奥州市立稲瀬小学校 5学年9名、教諭1名 合計10名		
研修会	奥州市環境学習事業(学習会)				
テーマ	地球温暖化・エネルギー				
内容(推進員より)	SDGsとは?パワーポイントで紹介しました。17のゴールと169のターゲットについて。生活の中で私たちにできること。また、身近なごみについては県のごみ速報値より現状を紹介し、ごみを減らすための分別やりサイクルについて。休憩の後で風呂敷の講座・包み方の実践を行いました。				
					
実施日	9月4日	主催者	岩手県美容業生活衛生同業組合 北上支部	推進員	薄井 信次
		対象	12名		
研修会	美容業におけるSDGs				
テーマ	地球温暖化防止の重要性・美容業におけるSDGs				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・美容室の情報発信機能 ・MDGsからSDGsへ ・地球温暖化の現状と経過そして未来 ・美容業として地球温暖化対策を考える ・新型コロナが県内で再燃している現状から簡単に説明した ・データや現状を伝え実際の対策はシンキングタイムを設け自分で考え発表してもらった ・それぞれ経営者なので「自分で考え、実行する」ことを目標とした。他人の意見も含め対策が見えてきたと思う。 ・規定以外の時間で問題になっている「不当要求防止」について知らせた 				
					
実施日	9月5日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	林 俊春
		対象	会場33名(うち事務局6名、講師随員4名、Zoom39名)		
研修会	第1回職員のための脱炭素セミナー				
テーマ	事業所及び家庭における脱炭素化のポイント、				
内容(推進員より)	<p>令和5年の夏の現状と温暖化防止活動推進員こぼれ話などを含め、温暖化の歴史的な背景とパリ協定及び日本の脱炭素宣言、いわて非常事態宣言などを含め、2030年までの炭素の削減割合及び2050年までの二酸化炭素排出量削減のロードマップの必要性、並びにISO14001,IES,エコアクション21の岩手県内の認証取得事業の割合は全事業者の0.466%でしか無い事の説明をした。</p> <p>現行の環境マネジメントシステムは要求事項が多すぎて、脱炭素経営に特化されたものでなく、環境全般(法令、廃棄物、化学物質、環境性能の向上へのサービスや活動、脱炭素の計算と減少目標とその実績評価)を求めており、事業者にとって多くの負担を強いている為、普及頭打ち及び減少傾向をたどっている事。</p> <p>「いわて地球にやさしい事業所」は上記の環境経営システムを求めているために、この認証事業所の87%は環境経営システムを認証・登録している会社に限定されており、この制度に脱炭素経営を求めることには限界がある事。</p> <p>個人の脱炭素の環境経営には、世界の人は、現在日本人は7トン、2030年には3トン、2050年には1トンの二酸化炭素の排出が求められるが、どのような行動をすると、ここに至ることができるのかをグラフや図を用いて説明した。</p> <p>脱炭素活動は何のためにするのかを問い、「死の経済」活動を回避し「命の経済」に向かう為であることを強調し、そのカギとなるのがグリーン経済の移行と「ゼロカーボン」行動である。</p>				
					
実施日	9月7日	主催者	八幡平市立大更小学校 4学年	推進員	川邊 弥生
		対象	児童43名 保護者 43名 先生3名 合計89名		
研修会	環境に関する講話				
テーマ	ごみ問題・海洋プラスチック				
内容(推進員より)	環境学習は「ごみをへらそう・リサイクルしよう！」をテーマに紙芝居方式で説明。SDGsはごみやりサイクルでは9つの目標に関連しており、改めてごみを見なおして減らすことが重要と説明。家庭から出るごみの種類や分別の方法。自然環境や限りある資源、生態系の保全にはごみを減らすことが大切で、地球温暖化の原因になる二酸化炭素の削減にもつながること。ごみ減量の3Rについて。「混ぜればごみ！分別すれば資源！」で、皆さんが住んでる八幡平市をどんな町にしたいか考えて、「ハチドリのひとつ」のように勇気を持ち行動しましょう！と説明しました				

実施日	9月8日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 功
		対象	事業所のエコスタッフ21名		
研修会	令和5年度エコスタッフ養成セミナー(大槌会場)				
テーマ	エコドライブ、事業所における省エネ活動のポイント、省エネ等に係るグループ討議				
内容(推進員より)	午前、DVDを見て頂きながらエコドライブのポイントについて、午後は「職場のエコは家庭から」というサブタイトルで、電気・事務所(住宅)・自動車について、エコのポイントや県内企業が取り組んでいる事例、そして5年前北海道で発生した大停電(ブラックアウト)を教訓に、エコスタッフとして知っておいてほしい点について、手作りの道具を使った実験等交えながらお話しさせていただきました。				
実施日	9月9日	主催者	紫波町	推進員	櫻井 則彰
		対象	環境マイスター養成講座受講者3名+役場環境課職員2名 合計5名		
研修会	令和5年度紫波町環境マイスター養成講座「地球温暖化現象にかかる講座」				
テーマ	地球温暖化現象、身近にできるCO ₂ の削減				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を含むスライドにてSDGsが始まるに至った背景、世界のさまざまな困難な事象を解説。 ・特に地球温暖化、プラスチックの海洋汚染、人口増、エネルギー消費の増大による環境の悪化が重大な課題であることを知らせる。 ・温暖化に対しては適応策が重要であることを話す。 ・エネルギーを大量消費する私たちの暮らしを見直す必要性を解説。 				
実施日	9月11日	主催者	久慈市立小袖小学校	推進員	櫻井 則彰
		対象	3~6年生21名+職員4名 合計25名		
研修会	地球温暖化を防ごう隊事前学習				
テーマ	地球温暖化の仕組みや影響と私たちができる事				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・電気はどうやって作るのか?さまざまな方法があることを伝える。 ・電池とモーター、発電機とモーターの関係、電力会社の発電機はどんな方法で回しているのか。水力、風力、バイオマス、火力発電、日本は火力発電が多くを占めるためCO₂が発生する。 ・私たちの便利な暮らしの中でもエネルギーの大量使用によりCO₂が発生する ・電力会社が作る電気は私たちが使う電気の5%程度多い量を発電している。節電を多くの人が実施すればCO₂の発生が抑えられることを認識させる。 ・各種発電キットにより自分で電気エネルギーを作ってみる。 ・手回し発電機による発電、発電機を2台繋いだ時のエネルギー損失の理由。 ・各種動画をみせ、かつ実験キットを適宜使用し、電気を作ることの大変さ、節電をどのように取り組むのか、その仕組みを伝える。 ・防ごう隊員ノートの解説の記入方法を解説。 				
					
実施日	9月11日	主催者	北上市立飯豊小学校	推進員	川邊 弥生
		対象	4学年児童 83名 先生3名 合計86名		
研修会	総合環境教育「人にやさしい町北上」				
テーマ	環境について				
内容(推進員より)	環境教育「人にやさしい町 北上」をテーマに「ごみをへらそう・リサイクルしよう!」と題してスライドで説明しました。ごみやリサイクルはSDGsの9つの目標に関連しており、ごみを見なおして減らすことが重要と説明。家庭から出るごみの種類や分別の方法。自然環境や限りある資源、生態系の保全にはごみを減らすことが大切で、地球温暖化の原因になる二酸化炭素の削減にもつながること。ごみ減量の3Rについて。県のごみ排出量の北上市の現状を知り、今後のごみ減量につなげることや、北上市の「うきうき わくわく するまち北上」の魅力を紹介。				
実施日	9月11日	主催者	一戸町金融団(東北銀行、盛岡信用金庫、岩手銀行)	推進員	柴田 弥優羽
		対象	10名		
研修会	脱炭素について知ろうの会				
テーマ	脱炭素				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の脱炭素化の推進のため、地域主要産業 製材業との関連 ・脱炭素化について説明、一戸町ができる脱炭素化について考える、林業と脱炭素化のかかわり 				
					

実施日	9月12日	主催者	盛岡市立見前中学校	推進員	櫻井 則彰
		対象	3学年生徒6クラス200名		
研修会	SDGsの17ゴールを自分事としてとらえよう！				
テーマ	SDGs				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を含むスライドにてSDGsが始まるに至った背景、世界のさまざまな困難な事象を解説。 ・特に地球温暖化、プラスチックの海洋汚染、人口増、エネルギー消費の増大による環境の悪化が重大な課題であることを知らせる。 ・再生可能エネルギーの可能性。 ・化石燃料に多額の補助金が出ていることの課題。 ・若い人たちが地球環境の課題を解決する主役になることの重要性。 ・エネルギーを大量消費する私たちの暮らしを見直す必要性を訴えた。 ・SDGsトークにより中学生自身が各種課題に対する意見を交換した。 				
実施日	9月16日	主催者	北上市地域女性団体協議会 北上支部	推進員	川邊 弥生
		対象	北上市地域女性団体協議会 北上支部 会員10名		
研修会	北上市地域女性団体協議会 北上支部研修会				
テーマ	ごみ減量と省エネ、リサイクル				
内容(推進員より)	<p>【地球温暖化最新情報・お得に暮らすために】をテーマに「2100年未来の天気予報」をスライドで説明しました。温暖化の現状や今後の影響・農作物への影響・適応策と緩和策・効果的な省エネや節電の工夫について等。最後にハチドリのひとつの勇気を持って行動することの大切さを紹介。</p> <p>スライドのポイントを資料として配布。</p> <p>今年の猛暑から、未来の地球の気温上昇に興味を持って聞いていました。</p> <p>世界の年平均気温は2011～2020年では1.09度上昇で、私たちの体温と比較することで参加者の気づきがありました。クールチョイスクイズはお得になると好評でした。温暖化することで様々な影響があることを知り、最後に全員から「できることから始めたい」と感想を頂きました。</p>				
実施日	9月20日	主催者	大更コミュニティセンター	推進員	粒針 文子
		対象	町民25名		
研修会	大更婦人学級 第3回講座				
テーマ	自然災害における避難行動について				
内容(推進員より)	<p>①世界各地で起きている自然災害について</p> <p>②温暖化が原因とされる状況で普段の暮らしから見直すべき点について</p> <p>③災害時の避難や備え、いざという時の行動の仕方について</p> <p>①～③を311当時の回想を交えながら、自分の命の守り方について一緒に考えてもらいました。自助、共助、公助の中で自助が最も大切です。</p>				
					
実施日	9月21日	主催者	二戸中央コミュニティセンター	推進員	吉田 偉峰
		対象	おとな塾にこらな教室 定期会員31名		
研修会	おとな塾講演会「宮沢賢治の見た星空」				
テーマ	賢治の見た星空や当時の環境について				
内容(推進員より)	宮沢賢治の文学から読み解く、当時の岩手の星空環境宮沢賢治作品を通して、星空環境について理解を深めた。身近な街明かりの環境影響について、意識する機会となった。				
実施日	9月22日	主催者	JAIわて花巻女性部花巻地域支部	推進員	川邊 弥生
		対象	JA女性部花巻地域支部員 26名 職員2名 合計28名		
研修会	SDGs講習会				
テーマ	ごみの分別について				
内容(推進員より)	<p>SDGsとは？についてパワーポイントで説明。17の目標に向けて現状を紹介しながら世界や日本の具体的な取り組みについて説明。生活の中で私達に出来ることを紹介。身近なごみ問題として県のごみ速報値より現状を見ながら、ごみを減らすための3Rについて説明。ごみ分別やリサイクルの簡単にできる方法や花巻のごみ分別アプリの活用について。3マイ運動について。みんなのメダルプロジェクトについて。</p> <p>休憩の後で風呂敷の講座を実施。風呂敷の歴史や活用法を説明した後で、包み方の実例として簡単にできるエコバックやお弁当包みなど紹介しました。</p>				

実施日	9月27日	主催者	岩手県北広域振興局保健福祉環境部	推進員	櫻井 則彰
		対象	久慈東高等学校1学年生徒131名 教師5名 合計136名		
研修会		令和5年度久慈東高校環境セミナー			
テーマ		地球温暖化の現状と再生可能エネルギーの必要性			
内容(推進員より)		<p>・県北振興局との合同による環境セミナーで15分の時間枠を与えられ動画を含むPTTを用い地球温暖化の現状、今後の動向、CO₂排出の増大により産業革命以降の世界平均気温の上昇が1.2℃になり、パリ協定の2.0℃、できれば1.5℃に抑えたいとする目標が困難になりつつある。同時に生物多様性の喪失、プラネタリーバウンダリを超えた人間の事業活動による影響が地球環境を悪化させている。これらを是正する意味で2015国連がSDGsを採択した。SDGsの眼目、Transform our Worldであり、世界の変革とが求められている。担い手は、あなたたち若い人であることを訴えた。</p>			
実施日	9月29日	主催者	北上市 生活環境部 環境政策課	推進員	川邊 弥生
		対象	市職員34名		
研修会		地球温暖化防止に関する研修会			
テーマ		地球温暖化防止について			
内容(推進員より)		<p>【地球温暖化の最新情報・未来の地球と私たちの暮らし】と題して「2100年未来の天気予報」をスライドで説明しました。地球温暖化は、環境だけでなく農業、健康、自然災害などに影響が出ています。地球温暖化対策の適応策と緩和策について紹介しました。効果的な省エネや節電の工夫。地球温暖化防止について県や国で取り組んでいることを7分野に分けて説明しました。最後にハチドリの一とずくの勇気を持って行動することの大切さを話した。</p>			
実施日	10月2日	主催者	岩手県立宮古高等学校	推進員	櫻井 則彰
		対象	宮古高等学校第2学年154名		
研修会		総合的な探究の時間「SDGsゲーム」			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		<ul style="list-style-type: none"> ・動画を含むスライドにてSDGsが始まるに至った背景、世界のさまざまな困難な事象を解説 ・特に地球温暖化、プラスチックの海洋汚染、人口増、エネルギー消費の増大による環境の悪化が重大な課題であることを知らせる ・再生可能エネルギーの可能性 ・化石燃料に多額の補助金が出ていることの課題 ・若い人たちが地球環境の課題を解決する主役になることの重要性 ・エネルギーを大量消費する私たちの暮らしを見直す必要性を訴えた。 ・SDGsトークにより高校生自身が各種課題に対する意見を交換した。 			
実施日	10月3日	主催者	盛岡市立杜陵小学校	推進員	高橋 良和
		対象	5学年児童44名 教師2名 校長 合計47名		
研修会		総合的な学習の時間			
テーマ		地球温暖化の現状及び対策			
内容(推進員より)		<p>学校の要望の地球温暖化に関する原因と問題点の説明(20分)と児童からの質問への解りやすい回答(30分)をする。また、児童は、これまで総合学習の中で「中津川の魅力を未来へ！」をテーマに学習した結果、中津川のサケの回帰数が温暖化の影響を受け激減していることを知り、地球温暖化について学び始めた。そのため、特に本質的な原因の解説と回答を心掛けた。児童の質問には、単純な回答でなく、私の企業でのスキルやノウハウを盛り込み、児童が、持続性をもちながら、今後も環境に親しみをもって接することが出来るように心がけた。更に、各自の「環境力」を、高めるような内容を工夫し伝えた。更に、環境にやさしいとは何かを、実際に私が気づいた製品を提示して理解を深めてもらった。</p>			
実施日	10月4日	主催者	岩手県立沼宮内高等学校	推進員	櫻井 則彰
		対象	第1学年生徒34名		
研修会		総合的な探求の時間			
テーマ		SDGsについて			
内容(推進員より)		<ul style="list-style-type: none"> ・動画を含むスライドにてSDGsが始まるに至った背景、世界のさまざまな困難な事象を解説 ・特に地球温暖化、プラスチックの海洋汚染、人口増、エネルギー消費の増大による環境の悪化が重大な課題であることをつたえた。 ・再生可能エネルギーの可能性 ・化石燃料に多額の補助金が出ていることの課題 ・若い人たちが地球環境の課題を解決する主役になることの重要性 ・エネルギーを大量消費する私たちの暮らしを見直す必要性を訴えた。 ・SDGsトークにより高校生自身が各種課題に対する意見を交換した。 			



実施日	10月6日	主催者	盛岡市立杜陵小学校	推進員	鳥山 和夫
		対象	児童44名 教師3名		
研修会		総合的な学習の時間			
テーマ		地球温暖化の現状及び対策			
内容(推進員より)		<p>地球温暖化の原因 地球温暖化により起きている現象(問題) 児童の学習テーマである中津川におけるサケの遡上の減少について ①児童を飽きさせないためアルゼンチンの子供の環境活動の様子を紹介 ②児童による寸劇を実施、そのための役割を表すヘッドギアを準備、児童は率先して役割を引き受けた ③後半はクイズを8問準備し、児童とのやり取りを積極的に取り入れた..</p>			
					
実施日	10月7日	主催者	七時雨山荘	推進員	吉田 偉峰
		対象	県内外の星愛好家13名		
研修会		星を見る会			
テーマ		星空観察・星空環境・光害・温暖化防止			
内容(推進員より)		参加者には岩手および八幡平市の夜空の素晴らしさを県内外の方に知っていただくことができました。			
実施日	10月10日	主催者	奥玉市民センター	推進員	若生 和江
		対象	食べて健康コース受講生9名、市民センター職員1名 合計10名		
研修会		令和5年度せんまや里山塾「食べて健康コース」			
テーマ		旬の食材を使って無駄なく使い切りクッキング			
内容(推進員より)		材料の準備を若生さんにしていただき、郷土料理なども取り入れながらテーマに沿った内容で献立も考案いただきました。都度調理方法なども教えていただき、調理から盛り付け、試食までスムーズに行うことができ、調理中も作り方の指導のほか参加者の皆さんと質問や意見交換なども交えながら行うことができました。			
実施日	10月14日	主催者	久慈市生活福祉部生活環境課	推進員	川邊 弥生
		対象	久慈市産業まつりににおける環境課ブース来場者559名		
研修会		環境講座			
テーマ		ごみ問題・リサイクル			
内容(推進員より)		<p>久慈地方産業祭りの生活環境課様ブースで、新聞エコバック作りや封筒バック作りを来場者に体験して頂きました。子供さんからお年寄りの方まで興味を持っていただき作成のお手伝いをしました。手軽に出来て、丈夫なエコバックが出来たので喜んで頂きました。エコバックとして活用したり、野菜や果物を入れたり、冷蔵庫の野菜室の整理にもなると好評でした。若い親子連れやご夫婦など来場者が多かったです。久慈市生活環境課様・環境学習交流センターの出張環境学習会と連携し、3Rやエコ活動のPRが出来たと思います。新聞エコバック、封筒エコバック作りや森の工作コーナー、久慈市のごみ分別クイズ、積み木で遊ぼうのコーナーなどがあり、とても人気のあるブースでした。 新聞エコバック作りでは、材料となる新聞の絵や写真を選んで頂き、お気に入りのエコバックが完成して、お家でも作ったり、地域で広めたいと言って頂きました。</p>			
					
実施日	10月20日	主催者	遠野市総務企画部経営企画課	推進員	櫻井 則彰
		対象	遠野市立土淵小学校		
研修会		学ぶ・考える・賢く使う！「エネルギー学習プログラム」			
テーマ		エネルギー			
内容(推進員より)		<ul style="list-style-type: none"> ・メインテーマ：電気は誰がどのような仕組みで作っているのか？ ・発電機とモーターの構造の違い、電池で回るモーター、逆にモーターを回すとどうなるか？手回し発電機の仕組み、手回し発電機を2個つなげた実験とエネルギーのロスとはどういうことか。さまざまな発電の方法を知る。火力発電と温暖化の関係、自然エネルギーは運転中はCO2を発生させない。遠野市が取り組もうとしている小水力発電、SDGs7番のエネルギーをクリーンにの目標に対してどうすればよいのか。節電、省エネに向けて私たちができることは何か。 ・緩和と適応の考え方と具体的な行動などを実験、画像(動画を交えて)による分かりやすく話す。 ・東北電力から拝借した手回し発電機3台を発電所3基に見立て安定した電気、継続した電気の供給が如何に難しいかを実験を通して知る体験を行う。電気エネルギーの大切さ、省エネの大切さを伝える。 			

実施日	10月21日	主催者	久慈市港湾エネルギー推進課	推進員	鳥山 和夫
		対象	山形地区総合文化祭環境学習ブース来場者21日48名・22日25名 合計83名		
研修会	再生可能エネルギー				
テーマ	地球温暖化・エネルギー・再生可能エネルギー				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・手回し発電機による白熱球とLEDの電気消費量の違い ・太陽光発電車と家屋モデルで太陽光発電に関する説明 ・水素モデルカーによる次世代自動車の説明 ・スマートメーターによる待機電力と消費電力、主電源切断の違い説明 				
実施日	10/21 10/22	主催者	久慈市港湾エネルギー推進課	推進員	高橋 功
		対象	山形地区総合文化祭環境学習ブース来場者21日48名・22日25名 合計83名		
研修会	再生可能エネルギー				
テーマ	地球温暖化・エネルギー・再生可能エネルギー				
内容(推進員より)	<p>発電体験では、ダンボールでつくった“家”の屋根に太陽光パネルを設置し、太陽に見立てた懐中電灯を照らし、光の傾きによって発電量が変化的ことや、北側では発電はするものの“量”が望めないこと。また、ハロウィンが近いことから、手回し発電機で扇風機を回し、煙突からかぼちゃに見立てた風船を出し、電気をつくる大変さを、楽しみながら理解を深めて頂いた。また、省エネに向けた取り組みとしては、“LED電球”と“白熱電球”の違いを手回し発電機を使って体験していただいた。</p>				
実施日	10月23日	主催者	矢巾町立不動小学校	推進員	高橋 功
		対象	小学校5年生27名 担任の先生1名 計28名		
研修会	令和5年度矢巾町環境学習				
テーマ	地球温暖化				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化を防ごう隊員ノートと、手づくりのピック本やダンボールで作った道具を使い、温暖化のしくみをはじめ、照明器具、テレビ、冷蔵庫などの節電対策について。 ・これから台風シーズンに入ることから、倒木などで「切れた電線には絶対触らない」ことについて、手づくりの道具を使った“実験を通して”理解を深めていただいた。 				
実施日	10月25日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	林 俊春
		対象	事業所のエコスタッフ50名		
研修会	令和5年度エコスタッフ養成セミナー盛岡				
テーマ	エコドライブ、事業所における省エネ活動のポイント、省エネ等に係るグループ討議				
内容(推進員より)	<p>「職場の脱炭素削減のために、知っておきたい事」として講演をした中で、当社から排出される炭素の計算方法を会得しなければならないこと。また、炭素を減らすための大きな成果を上げられた事業者を例に取り上げ、炭素を削減する具体的な手法について解説した。(その内容は、①見える化、②背伸び、③社員への教育と情熱)なお、2050年までに、個人としての二酸化炭素の排出量をどのくらいにすると、炭素中立(カーボンニュートラル)目標に到達できるかの値を具体的に示し、どのような生活スタイルが求められているかを解説した。</p> <p>事業者には、省エネの時代では無く「創エネ」に時代が到来しており、自ら電力を創る時代が到来し、岩手県でも次々とエネルギーの高騰により、国の助成金を活用し(岩手県に申請)、工場の屋根に太陽光パネルや蓄電池の整備がはじまった秋田県内・岩手県内の例と各経営者の談話について解説した。</p> <p>岩手県脱炭素化経営企業等認定制度(いわて地球にやさしい事業所)はあまり多くの事業者には知られていないことを解説し、もっと多く事業者が活用するためにPRをして欲しい旨を伝えた。</p>				
実施日	11月7日	主催者	JAIいわて花巻女性部本部	推進員	川邊 弥生
		対象	女性部員(花巻、北上、西和賀、遠野、大槌、釜石) 34名		
研修会	SDGs講習会				
テーマ	地球温暖化について				
内容(推進員より)	<p>SDGsの基本についてパワーポイントで説明しました。SDGsのカテゴリーである5Pについて、私たちにできる取り組みをわかりやすく紹介しました</p> <p>地球温暖化の最新情報では、2100年未来の天気予報と題してパワーポイントで説明し、暑さの影響で農作物の被害や、私たちにできる適応策と緩和策を紹介。</p> <p>暮らしの中でお得になるクールチョイスクイズは参加者にも一緒に考えていただきました。後半は、マイクロプラスチックゴミは私たちの生活から出ていることやレジ袋の削減について説明し、風呂敷活用講座として、参加者が持ち寄った風呂敷でレジ袋やリュックなどの作り方を体験してもらいました。</p>				

実施日	11月14日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	杉枝 武雄
		対象	事業所のエコスタッフ35名		
研修会	令和5年度エコスタッフ養成セミナー久慈				
テーマ	エコドライブ、事業所における省エネ活動のポイント、省エネ等に係るグループ討議				
内容(推進員より)	エコスタッフ養成セミナーにおけるエコドライブ座学講習及び事業所における省エネ活動のポイントの講師、架空オフィスの省エネ対策全体討議 結果の講評 毎年恒例のセミナーですが、昨年度よりも10名以上も参加者が多く、業種も建設業、製造業、廃棄物処理業者から美容室、ペンション経営など多岐にわたり地域の省エネをはじめとした環境への関心度の高さが感じられた。 久しぶりにグループ討議を行われ、参加者が活発に意見交換を行っていたのをうれしく思いながら参加しておりました。				

実施日	11月19日	主催者	宙詠みサークル	推進員	吉田 偉峰
		対象	20名		
研修会	岩手の星空環境2023				
テーマ	星空環境				
内容(推進員より)	「こんな話が聞きたかった」と仙台や花巻から足を運んでくれた参加者もあり、また分かりやすくユーモアのある話術でテーマも講師も大変好評でした				



実施日	11月27日	主催者	花巻市 市民生活部 生活環境課	推進員	花澤 淳
		対象	花巻市職員 52名		
研修会	環境管理推進員会議				
テーマ	職場での省エネや節電の取り組み方について				
内容(推進員より)	「地球温暖化の現状と職場での省エネの取組」というテーマで、前半に「温暖化のしくみや現状、時事的な話題」を、後半に「職場での省エネや節電の取り組み方」について話をした(依頼者の依頼に沿ったテーマ設定)。温暖化の現状については、温暖化対策の歴史や最新の知見等を含めながら、今まさに対策の瀬戸際にあることを伝え、対策の基本的な考え方を、SDGs や生物多様性を絡めて解説した。一方、省エネの取り組み方については、効果的な省エネの取り組み方を PDCAのポイントとともに解説したほか、省エネ対策の優先順位や普及の勘所などを事例を交えて話し、最後に、そのためにすべきことを個人の行動に落とし込んで伝えた。				

実施日	11月29日	主催者	盛岡市立緑が丘小学校5年2組	推進員	川邊 弥生
		対象	児童36名 教師1名 合計 37名		
研修会	環境学習				
テーマ	ごみ減量・リサイクル				
内容(推進員より)	「ごみをへらそう・リサイクルしよう！」をテーマに紙芝居方式で説明。SDGsはごみやりサイクルが9つの目標に関連しており、改めてごみを見なおして減らすことが重要と説明。家庭から出るごみの種類や分別の方法。自然環境や限りある資源・生態系の保全にはごみを減らすことが大切で、地球温暖化の原因になる二酸化炭素の削減にもつながること。マイ箸・マイボトル・マイバックの3マイ運動について。 「混ぜればごみ！分別すれば資源！」の重要性。更に「ハチドリの一としづく」のクリキンディのように勇気を持ち行動しましょう！と説明。				

実施日	12月2日	主催者	株式会社 板宮建設	推進員	林 俊春
		対象	職員60名		
研修会	(株)板宮建設 令和5年度 第2回安全衛生大会				
テーマ	建設業界における SDGsへの取り組みについて				
内容(推進員より)	「基本から学ぶSDGs」として講演するが、地球温暖化問題とSDGsの関係を明確にし、エコアクション 21 を認証・登録そのものがSDGsの基本部分を実行していることを説明した。「SDGs」は英語で良く分からない言葉であるが、日本語にして翻訳すると「永久に続く、明るい未来を創るための目標」であることを説明し、SDGsを国連で決議したことで、世界全体に普及しなければならない世界の状況について解説した。 SDGsが突然出てきたのではなく、MDGsの発展されたものであり、MDGsの8目標に地球温暖化関連の9目標が付加され、SDGsになったことを説明し、「1 貧困をなくそう」が基本であり、そのことをよく理解し、SDGsのバッジには寄付行為が含まれており、そのことも理解してほしいことを伝えた。具体例として、地球の温暖化の結果、魚類が自己の適温を求め北へ北へと移動し、自己の命を守るために移動を始めたことを説明した。九州ではフグが取れなくなり、北海道で多くフグやブリの漁獲量が増え、サツマイモなども良く北海道では取れるようになり、北海道の農業者は喜んでることを伝え、参考になればと思い例として上げた。 なお、SDGsのカードとツリーモデルの関係を説明し、そのモデルと日本語での対応を解説した。(自然界の保全の上に成り立つ国家・地域の保全、経済の持続性、家族の幸福を)またSDGsの17枚のカードを用いて、具体例を上げ、身近な問題から考える個人の課題を捉えるSDGsの例として、「3 すべての人に健康と福祉を」については、「晩酌の量を控える生活」は大腸がんのリスクを下げることを例を上げ、極めて身近な問題として話させて頂いた。なお、17枚のカードから、建設業の目指すところを組み合わせ、「12 つくる責任、つかう責任」、「17 パートナリシップで目標を目指そう」で行政や協力企業との協働で「住み続けるまちづくりを」として結んだ。				



実施日	12月2日	主催者	浄土ヶ浜ビジターセンター	推進員	吉田 偉峰	
		対象	22名			
研修会		浄土ヶ浜星空観察会				
テーマ		星空観察・光害				
内容(推進員より)	季節の星空と星空環境の基礎知識、浄土ヶ浜の星空環境の現状。身近な星空環境の現状と保全について、座学や実際の星空観察を通じて理解を深めた。					
実施日	12月16日	主催者	盛岡市 環境企画課	推進員	吉田 偉峰	
		対象	32名			
研修会		盛岡市環境学習講座「もりおか冬の夜空を観察しよう」				
テーマ		星空観察・光害				
内容(推進員より)	地域の星空環境と季節の星々・光害と地域のエネルギー消費等の相関 夏～冬の星空と当日の夜空の暗さ・星空環境調査の進捗報告 小雨ではあったが、屋外での観察の時間も取り、盛岡の夜の明るさを実感して頂いた。県内の調査事例も紹介し、星空環境への理解を深めた。					
実施日	12月23日	主催者	特定非営利活動法特定非営利活動法人いちのへ文化・芸術NPO	推進員	吉田 偉峰	
		対象	10名			
研修会		縄文の星空観察会～冬～				
テーマ		星空観察・光害				
内容(推進員より)	地域の星空環境と季節の星々・光害と地域のエネルギー消費等の相関 夏～冬の星空と当日の夜空の暗さ・縄文時代と現代の星空環境 曇天ではあったが、日没後から薄明終にかけての夜空の暗さの変化を観察しながら、縄文時代と現代の夜の環境について理解を深めた。					
実施日	1月6日	主催者	NPO法人ワーカーズコープ北上笑いのたね事業所	推進員	若生 和江	
		対象	20代～60代25名			
研修会		わたたね食堂				
テーマ		エコクッキング				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の食材で、簡単で、体が温まる料理を一緒に作って食べる。 ・料理を作ることが、楽しい…と思えるようなクッキングの時間に ・食材選び、調理の工程で、自分にも環境にも良いことが沢山あることに気づききっかけを届ける。 ・これらのことに、一緒につくりながら、食べながら気づいてもらう時間に… 					
実施日	1月6日	主催者	盛岡ガス工業株式会社	推進員	杉枝 武雄	
		対象	職員34名			
研修会		いわて地球環境にやさしい事業所として社内啓蒙活動				
テーマ		省エネのすすめかた				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の現状と未来(動画とスライドによる説明)・エコドライブ講習(動画とスライドによる説明) ・企業の省エネ活動取組事例と取組のポイント(スライドによる説明) 6 感想 昨年度『いわて地球環境にやさしい事業所』の認定を受けた企業で、これから取組を進めていくための社内啓蒙活動としての研修会でした。都市ガス配管工事が主な業務で、自身の建設業での取り組みが少しでも参考にして頂けたと思えました。 					

実施日	1月11日	主催者	二戸市社会福祉協議会 御辺地児童クラブ	推進員	柴田 弥優羽
		対象	小学生14名 大人3名 計17名		
研修会		地球温暖化防止！僕たちの将来のために今何ができるのか！			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		<p>小学生(主に低学年)に向け、地球温暖化についてわかりやすく将来のために楽しく学びたいとのことでしたので、SDGsかるたを行いました。</p> <p>最後には、木質チップをお土産にしてバイオマス発電とはなにか地球温暖化防止の観点から聞いていただきました。</p> <p>はじめて、子供向けにお話をしました。皆さん小学校の行事で勉強したことがあるようで、とても元気に反応をくれました。カルタに書いてある題材について、なんでこういうことが起こるのか疑問を会話しながら行いました。皆さん思い思いに考えを話してくれて、とても真剣な様子でした。大人よりも子供のほうが地球温暖化防止についてずっと身近に考えていて、考えさせられる思いでした。</p>			
					

実施日	1月20日	主催者	八幡平市公衆衛生組合連合会	推進員	田鎖 みよ子
		対象	40代2名 50代2名 60代13名 70代4名 無回答1名 合計58名		
研修会		八幡平市公衆衛生組合連合会主催研修会 「令和5年度 八幡平市ごみ減量化を考える市民の集い」			
テーマ		身近なことから実践できる地球温暖化防止活動			
内容(推進員より)		<p>ゴミ排出量ワーストワン脱却するための片づけの具体的な手順と心に伝わる実際の成功例をbefore after写真を使って伝えた。</p> <p>温暖化防止の種まきが出来た手ごたえがあった。</p> <p>受講者の反応:アンケートから、片づけてゴミワーストワン脱却する決意が多く書かれていた。</p> <p>講演での工夫:高齢者の参加者にも解り易いようパワーポイントに動きをつけて飽きさせない工夫をした。難しい内容を解り易い言葉で伝えた。女性が多いと予想して少し可愛いイラストをつかった。掴みが大事なので最初の挨拶に親近感もてるよう工夫した。講師らしい服装、メイク、身だしなみ、持物に努力した。数字が多いパワーポイントなので、パンフレット・小物をつかって集中力がきれないようにした。</p> <p>聴いて良かったで終わらせないように、実行したい目標を参加者と決めた。</p>			
					

実施日	1月24日	主催者	花巻市 メーカーレディース花巻	推進員	川邊 弥生
		対象	JA女性部会員 JA職員 議員 合計41名		
研修会		SDGs研修会			
テーマ		SDGs			
内容(推進員より)		<p>SDGs講習会として気候変動に焦点を当てて「2100年未来の天気予報」をパワーポイントで説明く未来の天気予報・私たちに出来ること・適応策と緩和策>二酸化炭素を出さない生活はクイズ形式で皆さんと考えました。例えば冷蔵庫の節約で効果が大いなのは「空けている時間を少なくする?物を詰め込みすぎない?」では意見が分かれましたがクールチョイスなのは物を詰め込みすぎないことで年1,180円の節約になるなど実際に金額を見ると参考になったようです。脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後も紹介。</p>			

実施日	1月26日	主催者	新日本婦人の会奥州金ヶ崎支部	推進員	若生 和江
		対象	12名		
研修会		食の安心安全学習会			
テーマ		食の安全安心			
内容(推進員より)		<p>食品、農作物などの生産のための安全対策や課題</p> <p>国の食糧自給率向上に向けた課題</p> <p>私たち自身が実践できること</p> <p>常日頃から問題意識をもって食や環境について自ら学んでいる方が多く現在の状況をどう読み解くのか、ひとりひとりがまずは知ろうとすることその上で、選択し行動に移していくことの大切さを共有することが出来た。</p>			
					

実施日	2月10日	主催者	岩手県立県北青少年の家	推進員	吉田 偉峰
		対象	11名		
研修会		県北青少年の家実技研修「天体望遠鏡の操作の仕方について」			
テーマ		光害について・天体望遠鏡の操作の仕方について			
内容(推進員より)		<p>星空観察指導に関する基礎知識・星空観察指導に関する環境教育・地域の星空環境と光害・星空環境保全とSDGs施設職員向けの研修会として、星空観察を通じたエネルギー問題や身近な環境保全への啓発について、理解を深めて頂いた。</p>			
					

実施日	2月11日	主催者	岩手県立県北青少年の家	推進員	吉田 偉峰
		対象	180名		
研修会	令和6年2月11日(日)開催予定の事業「プラネタリウム感謝デー②」				
テーマ	冬の星座についての解説				
内容(推進員より)	地域の星空環境と季節の星々・光害と地域のエネルギー消費等の相関二戸地域の星空スポットと星空環境保全プラネタリウムでの星空観賞を通して、星空環境について理解を深めた。身近な街明かりの環境影響について、意識する機会となった。				
					
実施日	2月18日	主催者	岩手県キャンプ協会	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般10名		
研修会	第49回キャンプインストラクター養成講習会④				
テーマ	野外活動指導・環境教育・温暖化				
内容(推進員より)	地球温暖化に関する基礎知識・日本の気候の特徴・自然体験活動におけるSDGs 自然体験活動指導者向けの研修会として、自然観察を通じた地球温暖化や身近な環境保全への啓発について、理解を深めて頂いた。				
実施日	2月23日	主催者	多面的活動組織東沢目集落	推進員	若生 和江
		対象	会員13名		
研修会	「河川の水質改善研修会」				
テーマ	「地球温暖化と水にまつわる環境」について～ひとりひとりが アースキーパー～				
内容(推進員より)	<p>「河川の水質改善研修会」「地球温暖化と水にまつわる環境」について・「地球温暖化」と「SDGs」について・持続可能な水環境の保全に関わること・地域での取り組み・一人一人ができる事「江刺梁川地区における地域活動としてのEM活用とその効果について。</p> <p>小学校での水質生物調査や生き物を指標とした確認について等、今までの取り組みが地域における水環境改善に繋がっている事について共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭で使用する洗剤の種類についてそれぞれの特性を知ることから購入、使用につなげる提案が実例を示しながらできた。 ・家庭で使用しながら最終的に下水や水路を通じて河川の浄化につながるEM活性液の使い方など参加者からの実体験も交えて話せてよかった。 ・河川の環境維持だけでなく、農業や家庭生活のいろいろな場面で、化学物質の使用を減らす工夫、次世代につなぐ環境保全について一緒に考えるきっかけとなったのではと思う。 				
実施日	3月8日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	林 俊春
		対象	県内事業者48名		
研修会	脱炭素経営スキルアップセミナー				
テーマ	事業所における省エネ活動のグループ討議時にアドバイスを行う				
内容(推進員より)	<p>グループ討議のファシリテーターとしての役割。</p> <p>話題提供企業の内容がよく分からない参加者もあったようにも思われるた。しかし、脱炭素については、各参加者にとっては、共通のテーマであったことから、かみ砕いた説明をファシリテーターから提供すること及び省エネルギー診断の結果確認と改善のポイントをアドバイスすることで、話が進行した。</p>				
グループ討議 (Dグループ)					
					
実施日	3月8日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	岩井 信光
		対象	県内事業者48名		
研修会	脱炭素経営スキルアップセミナー				
テーマ	事業所における省エネ活動のグループ討議時にアドバイスを行う				
内容(推進員より)	<p>グループ討議のファシリテーターとしての役割。</p> <p>県内取り組み事例、(株)アマタケ、伸和光機様発表省エネ取り組み、脱炭素の取り組み発表</p> <p>(株)アイオー精密の取り組みと社内の脱炭素の取り組みおよび課題</p> <p>この内容に伴い4搬に分かれてグループ討議改善提案の発表とアドバイス</p> <p>電気使用量が圧倒的多い、建物設備が太陽光設備を設置できない構造</p> <p>製造上設備レイアウトが頻りに変わり区切り等ができにくい大きな空間がる</p>				
グループ討議 (Bグループ)					
					

実施日	3月8日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 良和
		対象	県内事業者48名		
研修会	脱炭素経営スキルアップセミナー				
テーマ	事業所における省エネ活動のグループ討議時にアドバイスを行う				
内容(推進員より)	<p>グループ討議のファシリテーターとしての役割。 セミナー後半のグループ討議に、ファシリテーター役で参加。 ①リーダーの進行補佐と質問対応。 ②担当のグループ発表後の補足説明と講評。 ③担当グループ5名に、修了書を手渡す。この際、討議中発言で、気になる内容へのフォローや会社に戻ってからの活動への激励も付け加える。また、討議中は、通常の問題の大事と思われることも伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社へ環境提言をする場合、日頃の数値データを使って説明する。 ・討議の中で、環境対策車の購入とあったが、単に車を買って終わりではなく、その性能を引き出す使い方や改善まで気を配ること。 ・空気は最大の断熱材であり、一般的に冬季は出来るだけ空気を逃がさない工夫、夏季は出来るだけ空気を逃がす工夫の必要性を伝える。 ・アイオー精密さんのレジメにある「原単位、の説明が略されたので、売り上げが増えれば、使用電気量も増えるとの疑問に、自社に合理的な単位当たりの電気使用量(原単位)の比較で、売上高に依らない比較ができる事を説明。 				<p>グループ討議 (Cグループ)</p> 

実施日	3月8日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	花澤 淳
		対象	県内事業者48名		
研修会	脱炭素経営スキルアップセミナー				
テーマ	事業所における省エネ活動のグループ討議時にアドバイスを行う				
内容(推進員より)	<p>グループ討議のファシリテーターとしての役割。 脱炭素経営スキルアップセミナーのグループ討議において、ファシリテーターとして意見を引き出す、助言を行う等の補助を行うとともに、グループ発表に対して講評を行った。話題提供の講演に対して改善提案を検討するグループ討議であり、議題に挙がっていたのが設備の危機効率の向上や設備更新、再エネ施設の設置といったハード面での対策が主であったため、従業員のモチベーションやエンゲージメントの向上、AIやRPAの活用といったソフト面の考察を促すとともに、バックカスティングの意義や学校教育への積極関与などの間接的手段についても助言を行った。</p>				<p>グループ討議 (Aグループ)</p> 

実施日	3月9日	主催者	平泉ユネスコ協会	推進員	徳谷 喜久子
		対象	小中学生と大人27名		
研修会	平泉ユネスコ協会研修会				
テーマ	SDGsとはなにか？				
内容(推進員より)	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者からの希望である「SDGsとは何か」に沿って、MDGsからSDGsの変遷と17の目標の説明。 ・日本が今後も取り組まなければならない項目を中心に、詳細を説明。 ・クイズを挿みながらポイントを抑える。 				

● 森のゼミナール



- 森林環境学習会 -

実施期間	令和5年6月8日～令和5年11月20日	対象：県内小中学校生
活動内容	樹木観察等・学校林活用・森のクラフト体験	

【取組の状況】

県民を対象に森林・林業の役割、生態系の有用性等の普及啓発を図るため以下の事業を実施した。

小学校等30校、計784名の児童・生徒を対象に、森林インストラクター等の指導者による森林環境学習会を開催。

森林環境学習会の実施場所は、教室、校庭、学校林、学校周辺の山林等で、樹木観察、植物観察、森林内散策、木登り、植物・木の実等を使った創作活動等、各学校等に派遣された講師の指導の下、多様な活動が展開された。

森林環境学習会を依頼した学校等から得たアンケート結果では、大変良い25校、良い5校と概ね好評であり、実施校の多くが、今後も森林環境学習会の継続を希望していた。

【実施校から寄せられた意見】

- ・たくさんの材料、丁寧で分かりやすい説明、一人ひとりの思いを認めて作品作りに取り組みことができました。どの子も自分と友達の作品のそれぞれのよさを認めることができ、心の成長にもつながりました
- ・とても貴重な体験をさせていただきありがとうございました
- ・資料も大変興味深いものでしたし公園で遊んでいた経験を生かしながら学習を深めることができたことがとてもよかったです。講師の方に感謝いたします
- ・雨の中楽しい授業をありがとう「ございました
- ・森林インストラクターの皆さんは本校生徒の学びのため学習内容を工夫されプレゼントもたくさん用意してくださいました。生徒の感想からその思いをしっかりと感じ取り森林を大切にしたいという決意が見えました。大変有意義な活動になりました。ありがとうございました



- 森林環境学習会 -

児童・生徒をはじめ広く県民を対象に、森林・林業に対する理解を深めていただく機会を提供することを目的に、「森林環境学習会」等を開催。

No.1	実施日	6月8日	実施校	大船渡市立綾里小学校	講師	千田永久代氏、千田耕基氏
			対象	5年生12名		
内容			植樹体験			
No.2	実施日	6月22日	実施校	奥州市立衣里小学校	講師	菅原民子氏、阿部永宏氏
			対象	5年生10名		
内容			自然観察			
No.3	実施日	6月29日	実施校	葛巻町立江刈小学校	講師	川村晃寛氏
			対象	全校生徒23名		
内容			木のトランプ、森のクラフト体験等			
No.4	実施日	7月5日	実施校	盛岡市立下橋中学校	講師	川村晃寛氏、川村冬子氏
			対象	1年生70名		
内容			盛岡城跡公園樹木観察等			
No.5	実施日	7月7日	実施校	認定NPO盛岡ユースセンター	講師	川村晃寛氏
			対象	小中学生15名		
内容			つどいの森キャンプ、野外炊事の基礎を学ぶ			
No.6	実施日	7月12日	実施校	花巻市立大迫小学校	講師	川村晃寛氏
			対象	4年生17名		
内容			樹木観察等			
No.7	実施日	7月20日	実施校	九戸村山根小学校	講師	中野雅之氏、松尾亨氏、鹿糠隆氏
			対象	2・3・4年生9名		
内容			森の役割、木の葉のカルタ			
No.8	実施日	8月16日	実施校	下太田児童センター	講師	川村晃寛氏
			対象	4年生27名		
内容			森林学習			
No.9	実施日	8月30日	実施校	西和賀町立湯田小学校	講師	阿部永宏氏、川田昌代氏
			対象	4年生10名		
内容			樹木観察・木の実のクラフト・ネイチャーゲーム			
No.10	実施日	8月31日	実施校	宮古市立山口小学校	講師	中澤勤
			対象	5年生25名		
内容			学校林の歴史・森の大切さ			
No.11	実施日	9月8日	実施校	洋野町帯島小学校	講師	中野雅之氏、松尾亨氏、貳又功氏、山内七恵氏、鹿糠隆氏
			対象	16年生13名		
内容			森林学習、体験			
No.12	実施日	9月13日	実施校	北上市立和賀西小学校	講師	菅原民子氏、高橋扶和氏
			対象	4年生8名		
内容			樹木観察等			
No.13	実施日	9月20日	実施校	奥州市立胆沢愛宕小学校	講師	菅原民子氏、高橋扶和氏
			対象	5・6年生13名		
内容			樹木観察、落ち葉や木片を使った工作			
No.14	実施日	9月21日	実施校	盛岡市立玉山小学校	講師	浜津 ミサノ氏
			対象	1～4年生8名		
内容			校庭の樹木観察、木の実の工作等			
No.15	実施日	9月26日	実施校	盛岡市立羽場小学校	講師	川村晃寛氏 川村冬子氏
			対象	2年生30名		
内容			身近な森の自然観察			
No.16	実施日	9月26日	実施校	大船渡市立赤崎小学校	講師	千田永久代氏、千田耕基氏
			対象	5年生11名		
内容			森林の役割、里山の役割、五感を使った自然体験			
No.17	実施日	9月28日	実施校	八幡平市立安代中学校	講師	高橋修氏、矢神光政氏、近藤修三氏
			対象	全校生徒47名		
内容			学校林観察、森の役割等			

No.18	実施日	9月28日	実施校	大船渡市立越喜来小学校	講師	千田 永久世氏 千田 耕基氏
			対象	3年生13名		
内容			川の始まりを見つける探検、森川海のつながりを知る、ふるさとの宝探し			
No.19	実施日	10月3日	実施校	盛岡市立大慈寺小学校	講師	高橋修氏、成澤朋紀氏
			対象	3年生20名		
内容			樹木観察、自然のものを使ったクラフト			
No.20	実施日	10月4日	実施校	久慈市立夏井小学校	講師	中野雅之氏、松尾亨氏、貳又功氏、山内七恵氏、鹿糠隆氏
			対象	1～4年生6名		
内容			樹木観察等			
No.21	実施日	10月6日	実施校	宮古市立崎山小学校	講師	石塚勇太氏、荒谷寿峰氏、平塚喬氏、中村日香
			対象	1年生24名		
内容			ネイチャークラフト、臼木山自然観察会			
No.22	実施日	10月6日	実施校	二戸市立浄法寺小学校	講師	川村晃寛氏
			対象	4年生18名		
内容			身近な素材のクラフト体験			
No.23	実施日	10月10日	実施校	雫石町立七ツ森小学校	講師	大堀拓氏
			対象	3年生13名		
内容			七ツ森探検、森の役割二酸化炭素吸収酸素発生			
No.24	実施日	10月10日	実施校	一関市立赤荻小学校	講師	千田典文氏
			対象	2年生、教員50名		
内容			森のクラフト体験			
No.25	実施日	10月20日	実施校	奥州市立真城小学校	講師	高橋扶和氏、小沢宗氏、伊藤富美子氏
			対象	1年生34名		
内容			木の実や種について・木の実の工作			
No.26	実施日	10月26日	実施校	金ヶ崎町立第一小学校	講師	菅原民子氏、小沢宗氏、伊藤富美子氏、川田昌代氏
			対象	1・2年生49名		
内容			森のクラフト体験			
No.27	実施日	10月27日	実施校	一関市立大東小学校	講師	千田典文氏
			対象	5年生・教員37名		
内容			森林の役割や働き・木のクラフト			
No.29	実施日	11月8日	実施校	岩泉町釜津田小学校	講師	川村晃寛氏
			対象	全校生徒8名		
内容			学校林で樹木に親しむ・カエデの木を使った工作			
No.30	実施日	11月10日	実施校	宮古市立磯鶏小学校・高浜小学校	講師	齋藤真琴氏、石塚勇太氏、竹内寛氏、荒矢寿峰氏、北田正憲氏、平塚喬氏、中村日香氏(沿岸振興局職員)
			対象	1・2年生95名		
内容			山林の観察、木工工作			
No.31	実施日	11月20日	実施校	遠野市立鱒沢小学校	講師	川村晃寛氏
			対象	全校生徒18名		
内容			身近な木の実の工作(箱庭作り)			

－ 森林環境学習指導者研修会 －

実施日	①指導者研修: 令和5年9月30日 ②情報交換会: 令和6年1月27日
活動内容	講義、実習等
対象	・県内各地域で森林環境学習の活動を実践するリーダー、スキルアップを希望する者 ・リーダー相互の連携を図る

【取組の状況】

①指導者研修

県内各地域において森林環境学習の活動を行うリーダーのスキルアップを図るため、森林環境学習推進手法や安全管理等について講義等により開催。

開催場所: 盛岡市都南つどいの森

- ・自然の多様性、生態圏における森林の意義、安全管理等を講義
- ・森林の中で参加者に気づきを促す各種活動の紹介

17名の参加



②情報交換会

開催場所: 盛岡市遺跡の学び館

- ・各団体活動理念、活動手法、活動事例の発表
- ・充実した森林環境学習を実施するための意見交換等

10名の参加





特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて

〒020-0124 岩手県盛岡市厨川5丁目8番6号

TEL:019-681-1904 FAX:019-681-1906

環境学習交流センター

岩手県地球温暖化防止活動推進センター

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1 アイーナ5F

TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753

E-mail:eco@aiina.jp(環境学習交流センター宛)

iccca@aiina.jp(岩手県地球温暖化防止活動推進センター宛)

